

倉吉市
こども・若者・子育てに関するアンケート
報告書

令和7年11月
倉吉市健康福祉部子育て支援局

目次

I. 調査概要

- 1 調査目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 調査種別、調査方法、調査期間、配布・回収数・・・・・・・・ 1
- 3 結果の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 調査結果

- 1 こども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童の保護者対象）・・・・・・ 3
- 2 こども・子育て支援に関するニーズ調査（小学校児童の保護者対象）・・・・・・ 40
- 3 こどもの意見を聞くためのアンケート調査・・・・・・・・・・・・・・ 64
- 4 若者の意見聴取アンケート調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77

- III. おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97

I. 調査概要

1 調査目的

本調査は、「倉吉市子ども計画」を策定するにあたり、市内に住む子どもや若者、保護者に向けて、現在のライフスタイルの把握や希望する施策など、現状把握や意見聴取を目的に実施しました。

2 調査種別、調査方法、調査期間、配布・回収数

以下の4つの調査を実施しました。

(1) 倉吉市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童の保護者対象）

調査対象	市内に住む就学前児童を持つ保護者
対象者数	600人 ※調査対象からランダムに抽出
調査方法	市内の保育園・認定子ども園を通じて依頼・調査票の配布を行い、郵送又はWebによる回答 ※市内の保育園、認定子ども園を利用していない調査対象については郵送による調査票の配布
調査期間	令和7年9月1日～9月30日
回収数	配布数：600人 回収数：408人（郵送：258人、Web：150） 回収率：68.0%

(2) 倉吉市子ども・子育て支援に関するニーズ調査（小学校児童の保護者対象）

調査対象	市内に住む小学校児童を持つ保護者
対象者数	600人 ※調査対象からランダムに抽出
調査方法	郵送による依頼・調査票の配布を行い、郵送又はWebによる回答
調査期間	令和7年9月1日～9月30日
回収数	配布数：600人 回収数：318人（郵送：175人、Web：143） 回収率：53.0%

(3) 倉吉市こどもの意見を聞くためのアンケート調査

調査対象	市内に住む小学5年生から中学3年生までの児童生徒
対象者数	600人程度 ※各学校各学年20人程度(20人以上も可)として各学校で対象者を判断
調査方法	市内の小中学校を通じて、依頼・調査票(QRコード)を配布し、Webによる回答
調査期間	令和7年9月1日～9月30日
回収数	配布数：－ 回収数：946人(すべてWeb回答) 回収率：－

(4) 倉吉市若者の意見聴取アンケート調査

調査対象	市内に住む15歳から39歳までの若者
対象者数	700人 ※調査対象からランダムに抽出
調査方法	郵送による依頼・調査票の配布を行い、郵送又はWebによる回答
調査期間	令和7年9月1日～9月30日
回収数	配布数：700人 回収数：218人(郵送：122人、Web：96人) 回収率：31.1%

Webによる調査・回答は、「とっとり電子申請サービス(鳥取県)」を利用しています。

3 結果の見方

- ・グラフ、表中の「n」は、集計対象者総数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を表しています。複数回答を可とした設問については、回答の合計値と合わない場合があります。
- ・回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。
- ・グラフ・表中において「未回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答判別が困難なものです。
- ・本文中の設問の選択肢は簡略化及び漢字化している場合があります。

Ⅱ. 調査結果

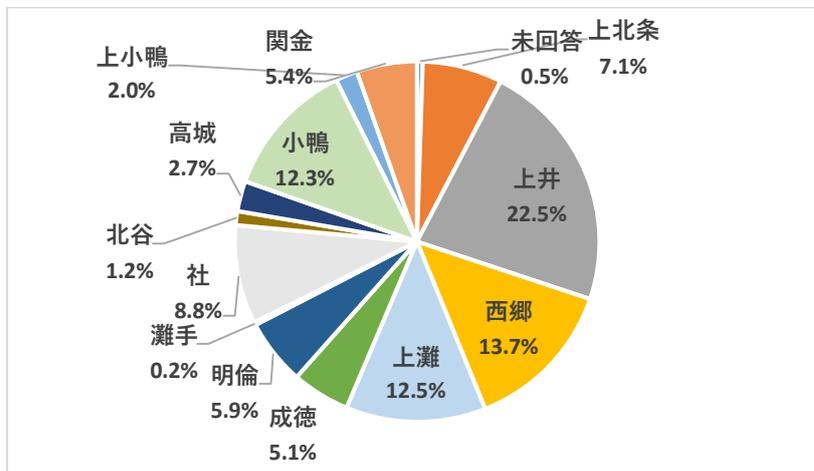
1 こども・子育て支援に関するニーズ調査（就学前児童の保護者対象）

（1）回答者の属性

問1 お住まいの地区はどこですか。

上井地区が22.5%でもっとも多く、次いで西郷地区13.7%、上灘地区12.5%となっています。

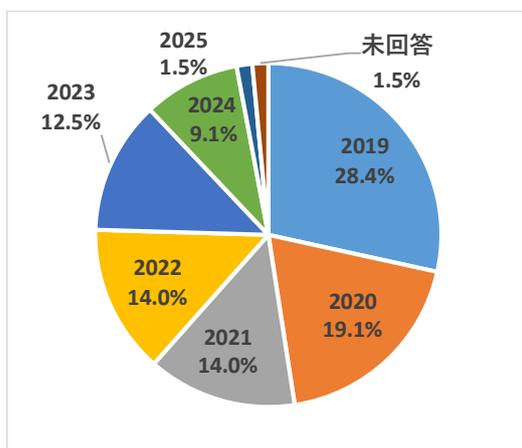
(n=408)



問2 調査対象のお子さんの生年月月についてお答えください。

2019（令和元年度）が28.4%でもっとも多く、次いで2020（令和2年度）が19.1%となっています。

(n=408)

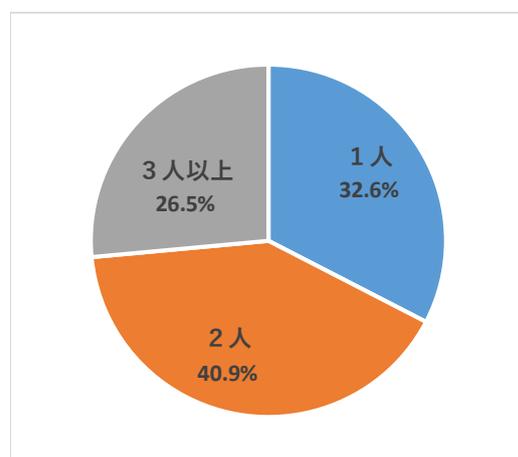


※年度別で集計しています。

問3 調査対象のお子さんを含め、お父さんは何人ですか。

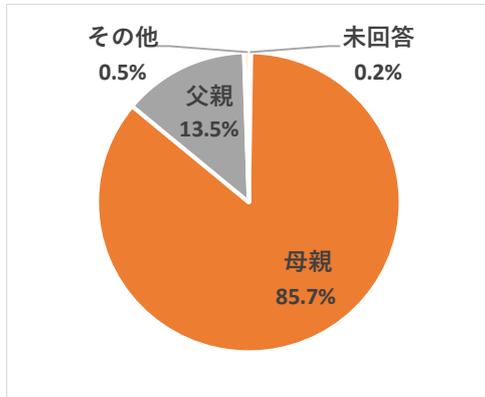
「2人」が40.9%でもっとも多く、次いで「1人」が32.6%となっています。

(n=408)



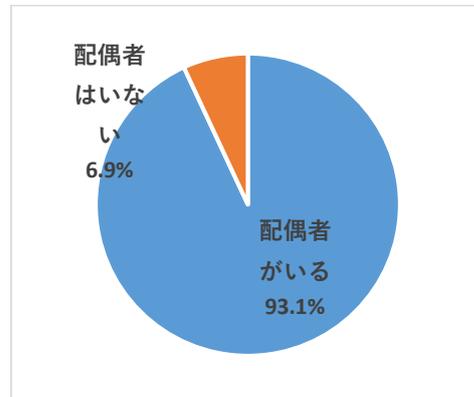
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

「母親」が85.7%でもっとも多く、次いで「父親」が13.5%となっています。
(n=408)



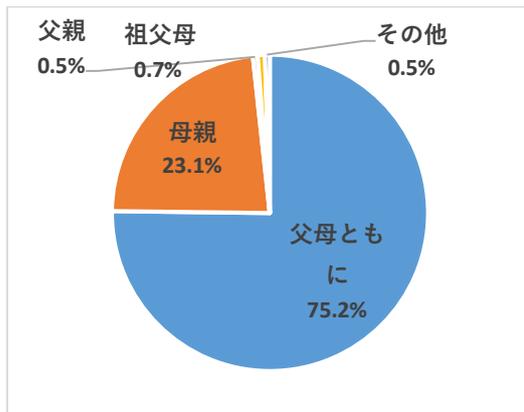
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係をお答えください。

「配偶者がいる」が93.1%、「配偶者がいない」が6.9%となっています。
(n=408)



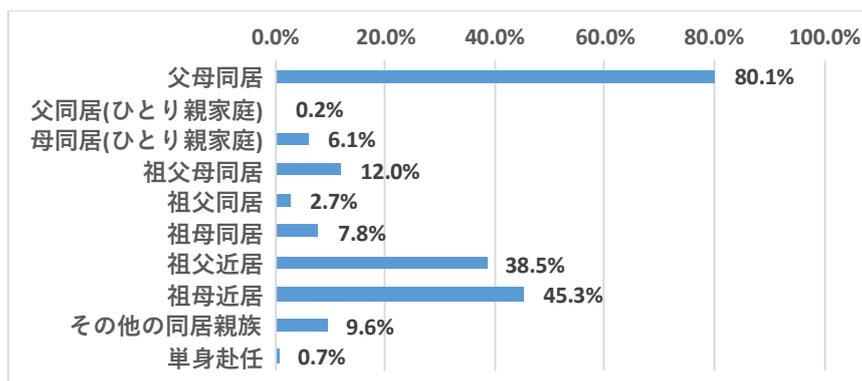
問6 調査対象のお子さんの子育てを主にしている方はどなたですか。

「父母ともに」が75.2%でもっとも多く、次いで「母親」が23.1%となっています。
(n=408)



問7 調査対象のお子さんと同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況についてお伺いします。

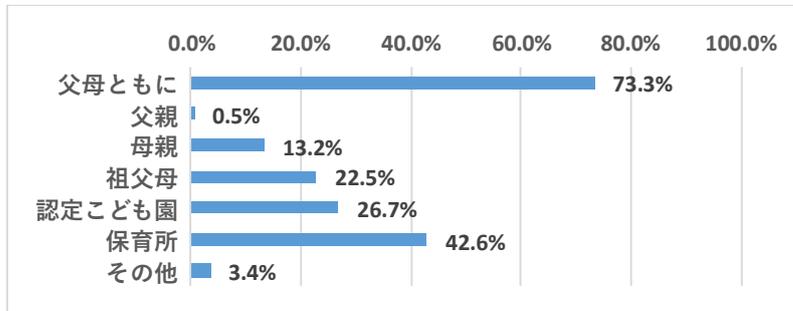
「父母同居」が80.1%でもっとも多く、次いで「祖母近居」が45.3%となっています。
(n=408)



(2) こどもの育ちをめぐる環境について

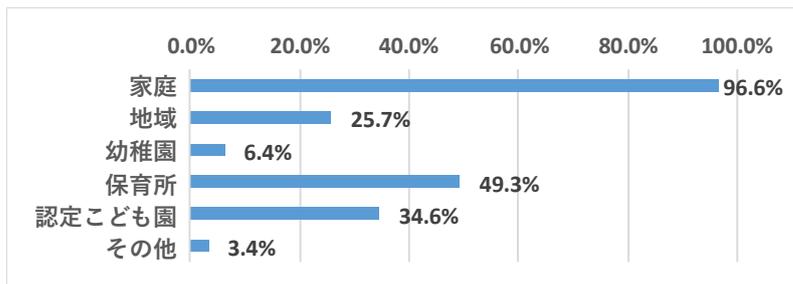
問8 調査対象のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（いくつでも）

「父母ともに」が73.3%と最も多く、次いで「保育所」が42.6%となっています。
(n=408)



問9 調査対象のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境は何ですか。（いくつでも）

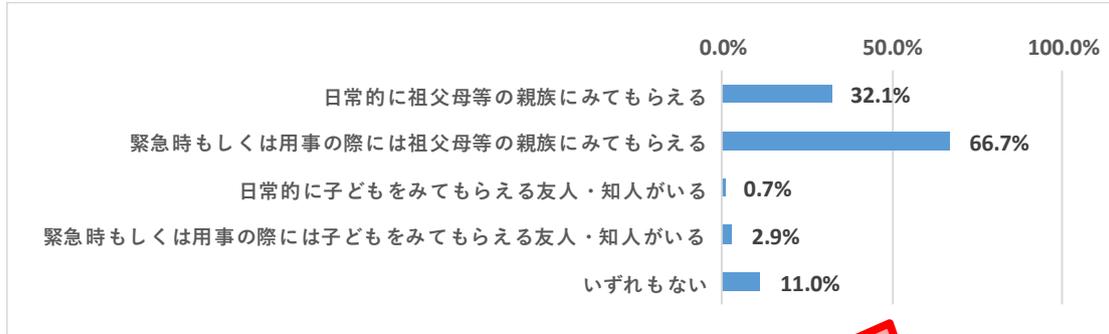
「家庭」が96.6%と最も多く、次いで「保育所」が49.3%となっています。
(n=408)



問10 日頃、調査対象のお子さんをみてもらえる人はいますか。（2つ以内）

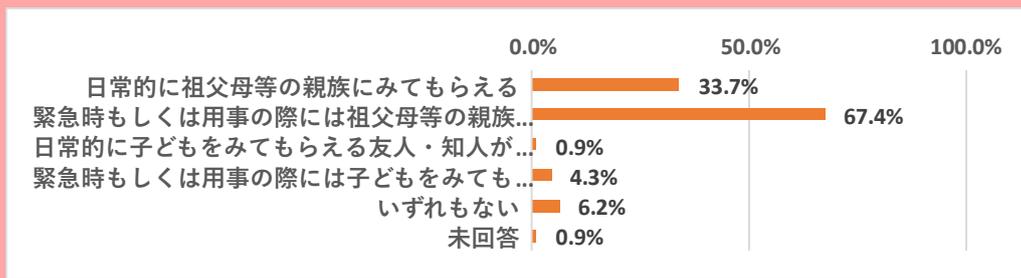
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が66.7%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が32.1%となっています。

（n=408）



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が減少しています。

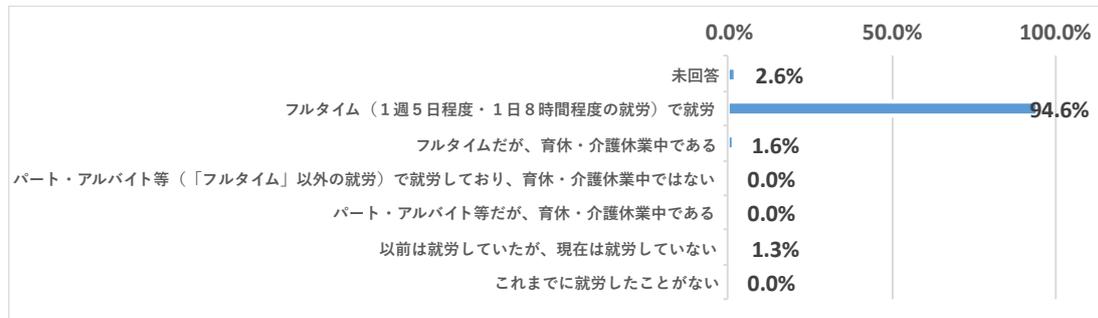


(3) 保護者の就労状況について

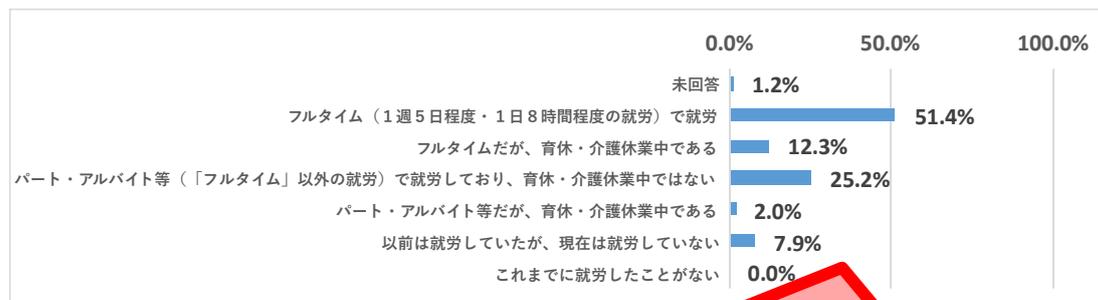
問11 現在の就労状況(自営業、家族従業者含む)についてお伺いします。
(1) お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業を含む）をそれぞれお答えください。

父母ともに「フルタイム」がもっとも多くなっています。母親については、父親と比較して「フルタイム」が少なく、「パート・アルバイト等」が多くなっています。

【父親】（n=386）



【母親】（n=405）



<参考：平成25年10月の調査結果との比較>
 母親の「フルタイム」就労が平成25年の時より増加しています。

【父親】

就業状況	割合
フルタイム	93.8%
フルタイムだが育休・介護...	0.0%
パートタイム、アルバイト等	2.0%
以前は就労していたが、現...	2.5%
これまでに就労したことが...	0.0%
未回答	1.7%

【母親】

就業状況	割合
フルタイム	36.6%
フルタイムだが育休・介護...	8.7%
パートタイム、アルバイト等	36.2%
以前は就労していたが、現...	16.2%
これまでに就労したことが...	0.5%
未回答	1.8%

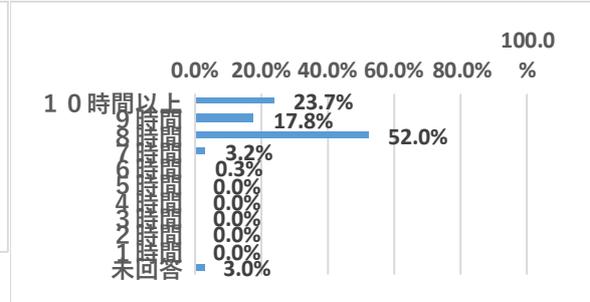
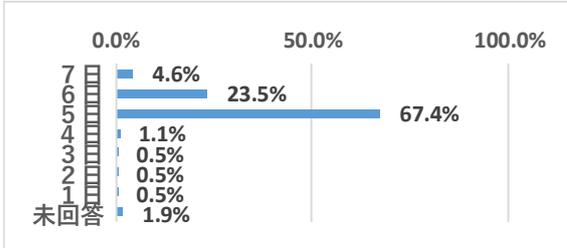
(2) (1) で「就労している」に答えた方にうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をそれぞれお答えください。

父母ともに「5日」「8時間」がもっとも多くなっています。

【父親】（n=366）

<就労日数>

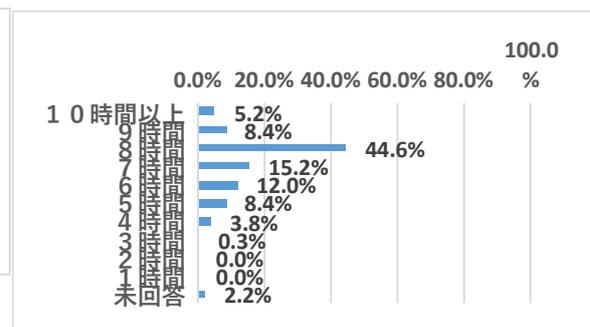
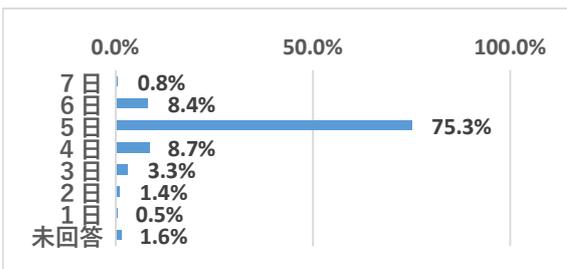
<就労時間>



【母親】（n=368）

<就労日数>

<就労時間>



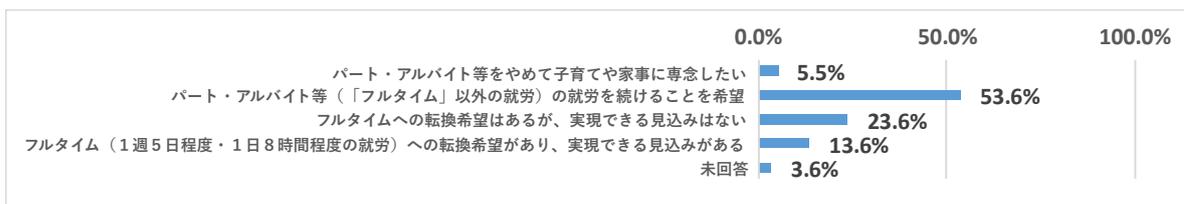
(3) (1) で「パート・アルバイト等で就労している」と答えた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望がありますか。

母親について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が53.6%でもっとも多くなっています。父親については、回答対象がありませんでした。

【父親】（n=0）

—

【母親】（n=110）



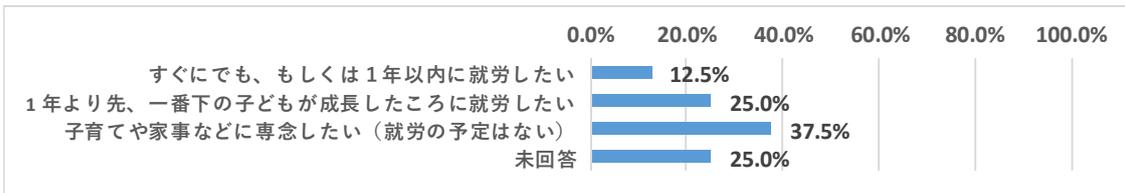
(4) (1) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」と答えた方に伺います。就労したいという希望はありますか。

母親について、「子育てや家事に専念したい」がもっとも多くなっています。父親については、回答対象数が少なく参考として記載します。

【父親】（n=5）



【母親】（n=32）

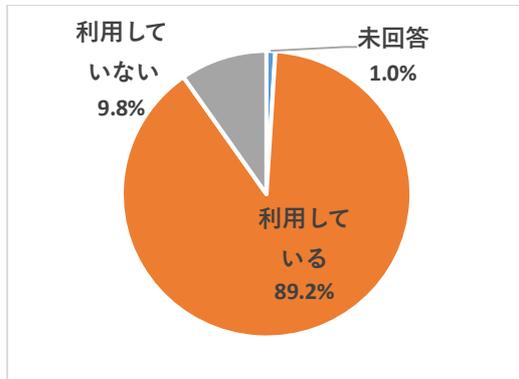


（４）保育サービスの利用状況

問１２ 調査対象のお子さんは現在、平日に保育所や認定こども園等の教育・保育事業を利用されていますか。

「利用している」が89.2%と最も多くなっています。

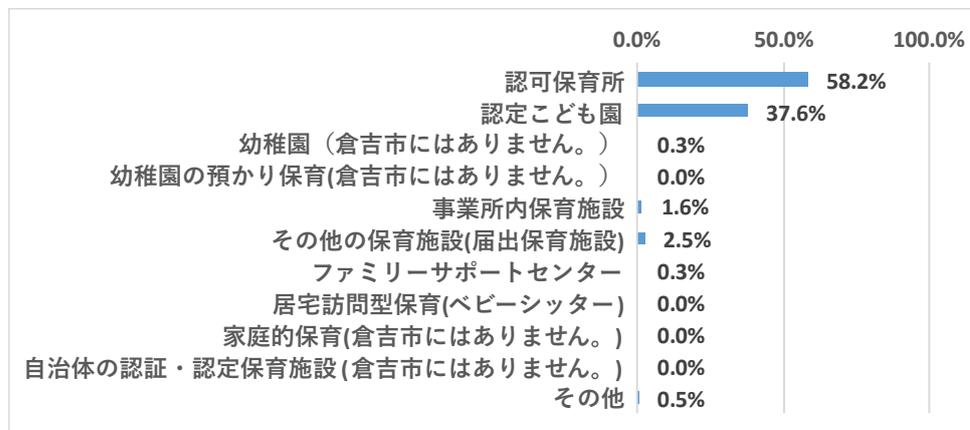
(n=408)



問１３ 利用している方は、平日にどのような教育・保育事業を利用していますか。（いくつでも）

「認可保育所」が58.2%と最も多く、次いで「認定こども園」が37.6%となっています。

(n=364)

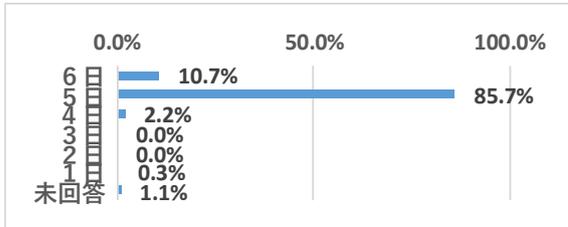


（１） 平日にどのくらい利用していますか。また希望としてどのくらい利用したいですか。

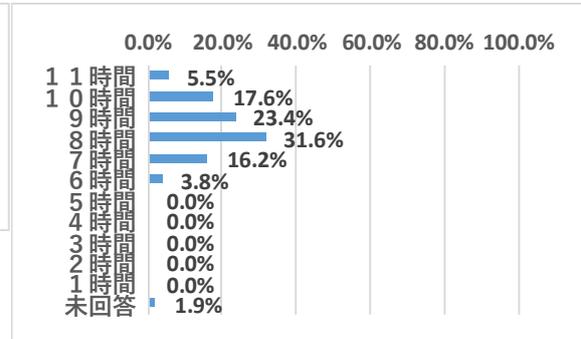
現在の利用日数は「5日」がもっとも多く、利用時間数は「8時間」がもっとも多くなっています。希望する日数、利用時間数も同様の傾向になっています。

(n=364)

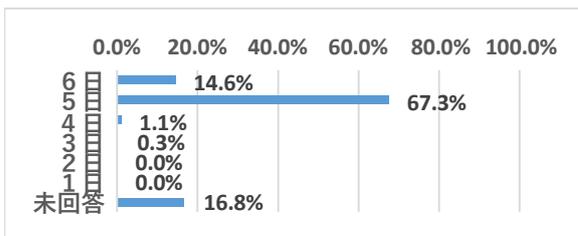
<現在の1週間あたりの利用日数>



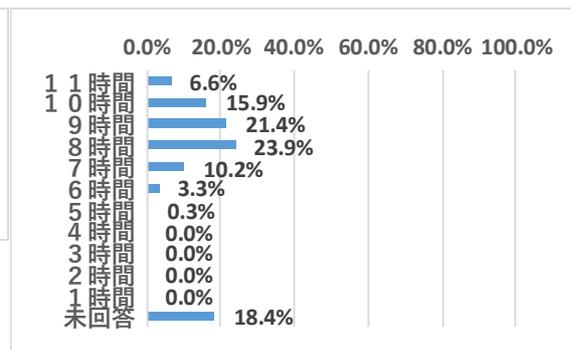
<現在の1日あたりの利用時間数>



<1週間あたりの希望日数>



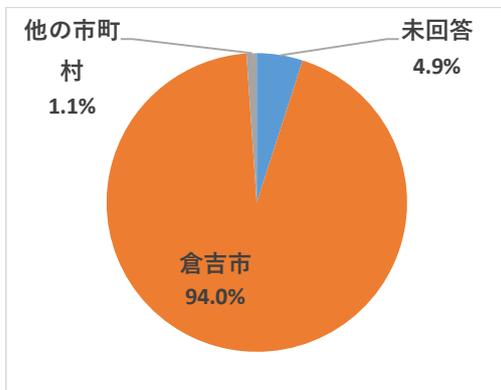
<1日あたりの希望時間数>



問14 問12で「利用している」と答えた方にうかがいます。現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。

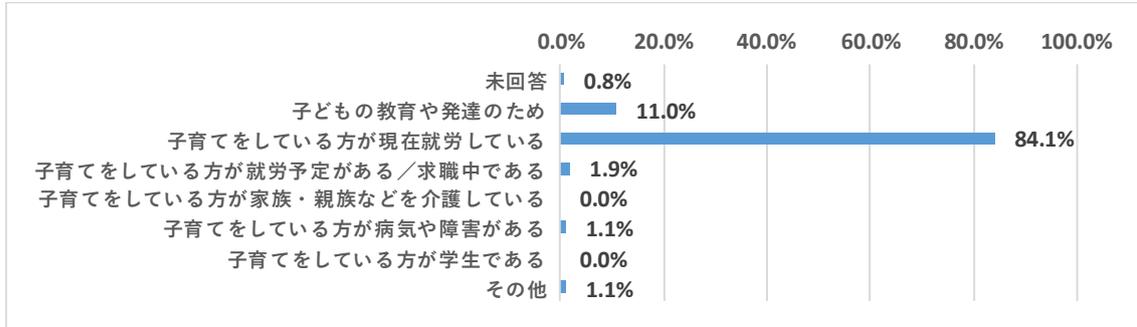
「倉吉市内」が94.0%と最も多くなっています。

(n=364)



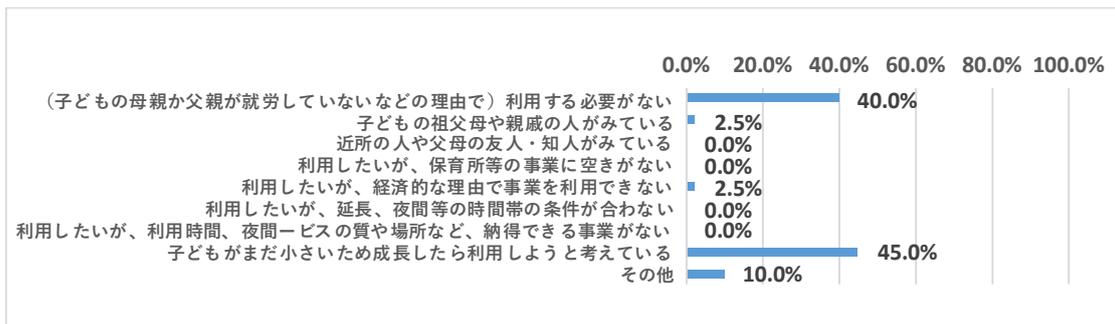
問15 問12で「利用している」と答えた方にうかがいます。平日に利用されている理由は何ですか。

「子育てをしている方が現在就労している」が84.1%でもっとも多くなっています。
(n=364)



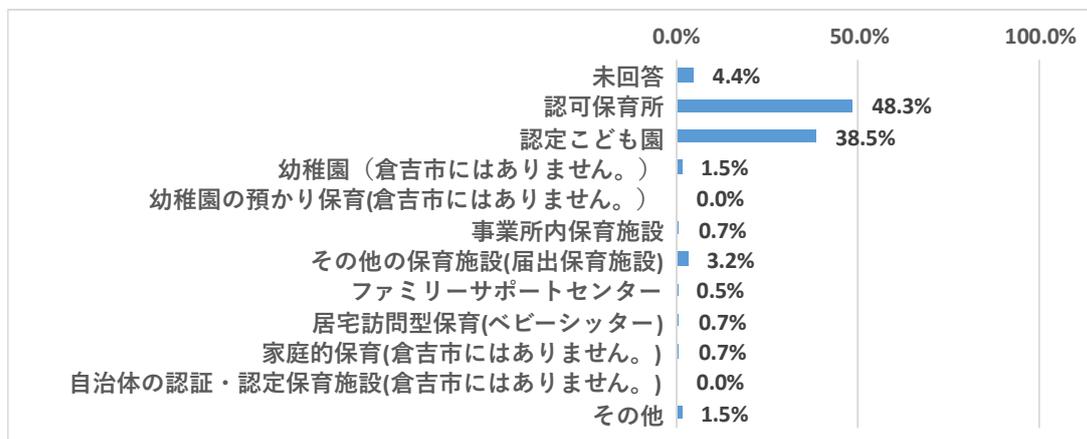
問16 問12で「利用していない」と答えた方にうかがいます。教育・保育事業を利用していない主な理由は何ですか。

「子どもがまだ小さいため成長したら利用しようと考えている」が45.0%でもっとも多くなっています。
(n=40)



問17 調査対象のお子さんに関して、現在、利用している、利用していないにかかわらず、平日に利用したいと思う教育・保育事業はどれですか。

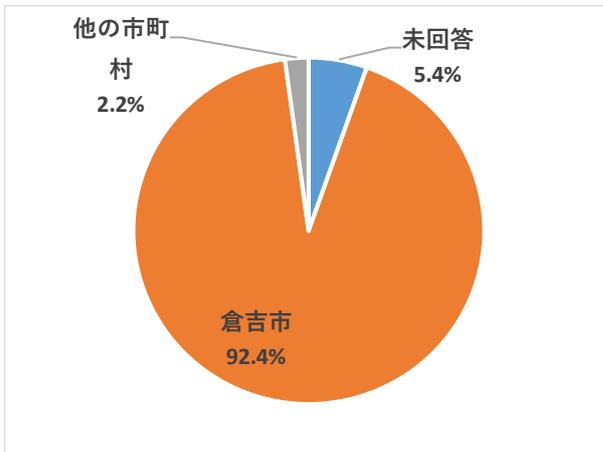
「認可保育所」が48.3%でもっとも多く、次いで「認定こども園」が38.5%となっています。
(n=408)



(1) 利用したい教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。

「倉吉市内」が92.4%と最も多くなっています。

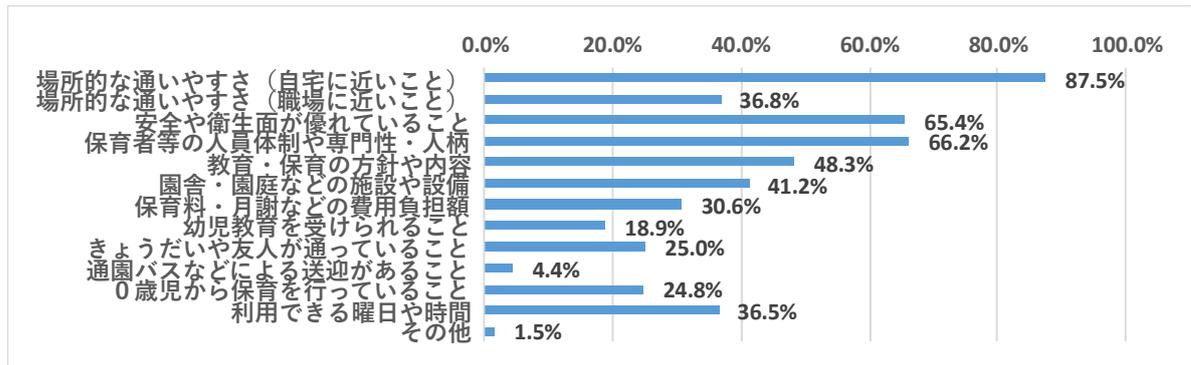
(n=408)



問18 平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視することは何ですか。(いくつでも)

「場所的な通いやすさ（自宅に近いこと）」が87.5%で最も多く、次いで「保育者等の人員体制や専門性・人柄」が66.2%となっています。

(n=408)



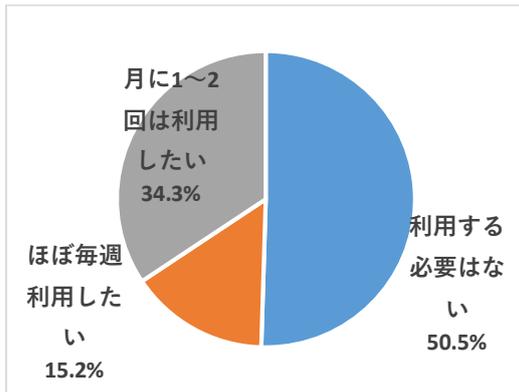
(5) 土・休日・長期休暇の保育等

問19 調査対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日や長期休暇中に、保育所や幼稚園等の教育保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

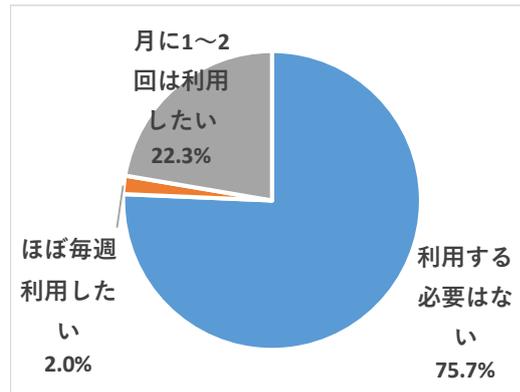
土曜日の利用については、「利用する必要はない」が50.5%でもっとも多く、日曜日・祝日については、「利用する必要はない」が75.7%でもっとも多くなっています。

(n=408)

<土曜日>



<日曜日・祝日>



「月に1~2回は利用したい」を選んだ方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（いくつでも）

「月に数回仕事が入るため」が86.2%でもっとも多く、次いで、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が45.7%となっています。

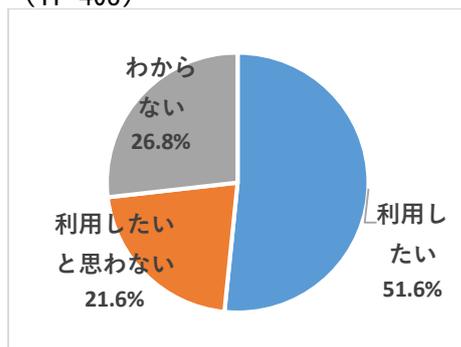
(n=138)



問20 現在、国では、保護者が仕事をしていなくても、月の一定時間までこどもを保育園等に時間単位で預けられる「こども誰でも通園制度」の事業実施に向けた準備を進めています。この制度が実施された場合には、利用を希望しますか。

「利用したい」が51.6%でもっとも多くなっています。

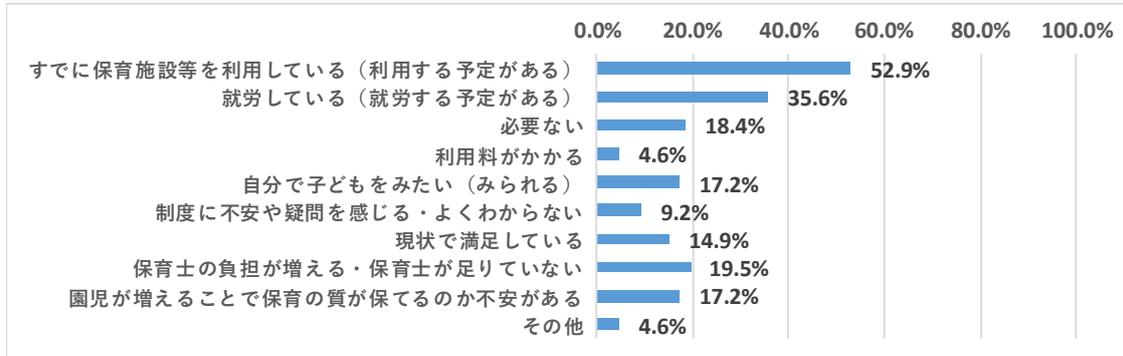
(n=408)



(1) 問20で「利用したいと思わない」と答えた方にうかがいます。「こども誰でも通園制度」を利用したいと思わない理由は何ですか。（いくつでも）

「すでに保育施設等を利用している（利用する予定がある）」が52.9%でもっとも多く、次いで「就労している（就労する予定がある）」が35.6%となっています。

(n=87)

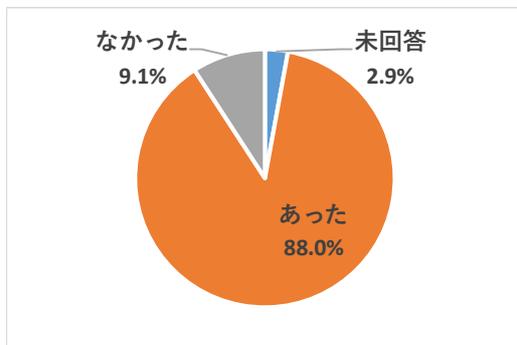


(6) こどもが病気になった時の対応（保育所・認定こども園の利用者のみ）

問21 平日に保育所や認定こども園等を利用していると答えた方で、この1年間に、調査対象のお子さんが病気やケガで休まなければならなかったことはありますか。

「あった」が88.0%ともっとも多くなっています。

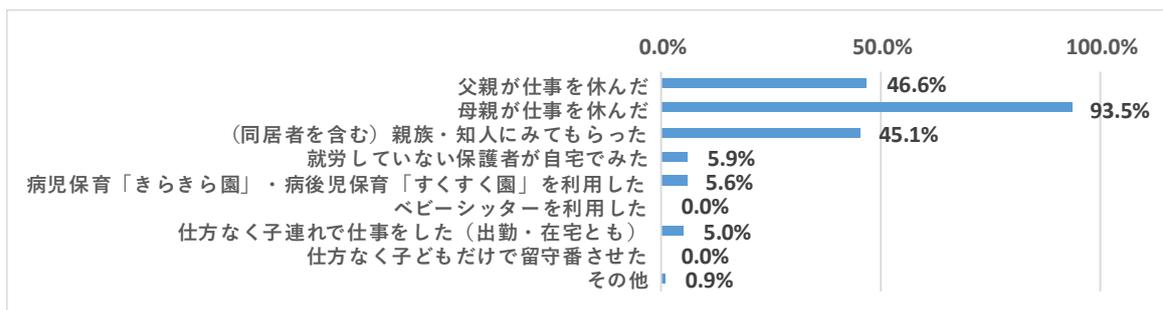
(n=364)



問22 休ませた時の主な対処方法をお答えください。（3つ以内）

「母親が仕事を休んだ」が93.5%ともっとも多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が46.6%となっています。

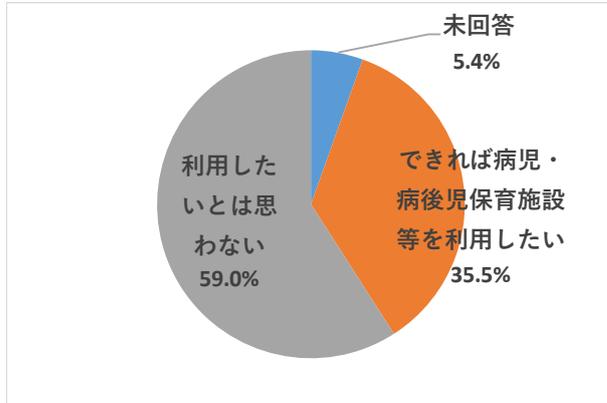
(n=337)



問23 問22で「仕事を休んだ」と答えた方で、その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

「利用したいとは思わない」が59.0%ともっとも多くなっています。

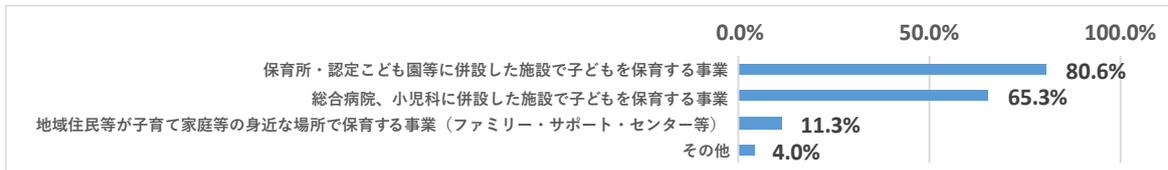
(n=349)



(1) 「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と答えた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。(いくつでも)

「保育所・認定こども園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が80.6%でもっとも多くなっています。

(n=124)



(2) 「2. 利用したいとは思わない」と答えた方にうかがいます。そう思われる理由についてお答えください。(いくつでも)

「親が仕事を休んで対応する」が62.1%でもっとも多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が43.2%となっています。

(n=206)

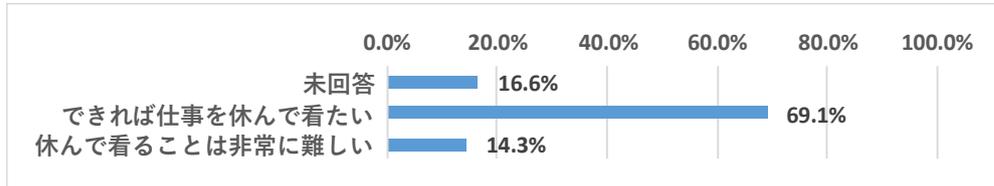


問24 問22で「仕事を休んだ」以外のいずれかに答えた方にうかがいます。

(1) 「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

「できれば仕事を休んで看たい」が69.1%もっとも多くなっています。

(n=211)



(2) (1)で「休んで看することは非常に難しい」と答えた方にうかがいます。その理由は何ですか。(いくつでも)

「その他」が44.7%もっとも多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」が36.8%となっています。

(n=38)

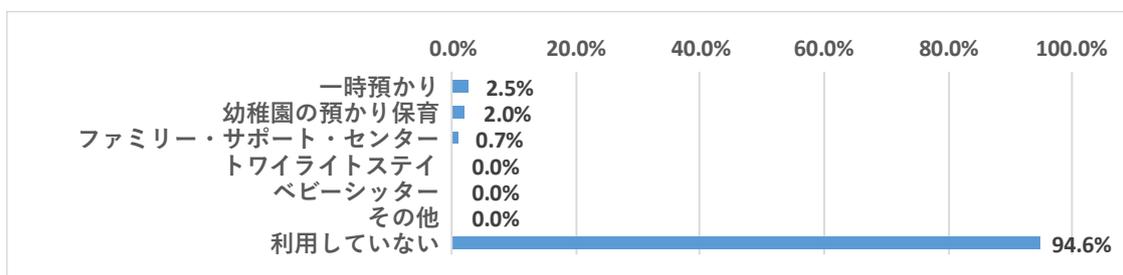


(7) 一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて

問25 調査対象のお子さんについて、この1年間に、通常の保育や病気のため以外に、私用(買物、会合、美容院など)や親の通院や不定期の就労等の目的で、不定期利用している事業はありますか。(いくつでも)

「利用していない」が94.6%もっとも多くなっています。

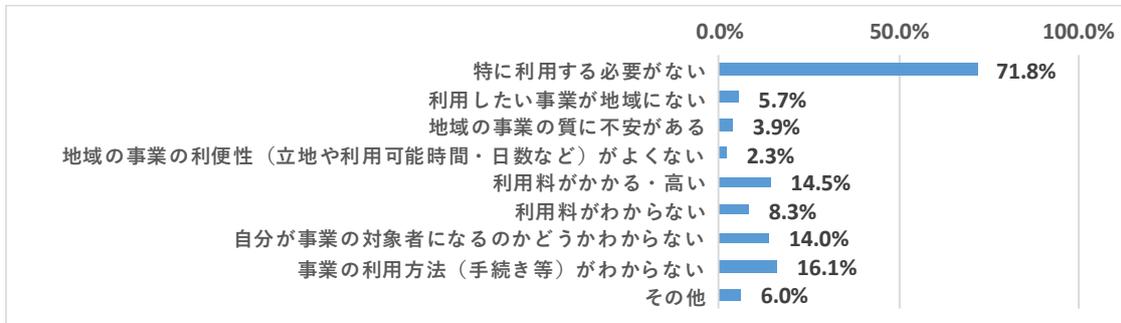
(n=408)



問26 問25で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。（いくつでも）

「特に利用する必要がない」が71.8%でもっとも多く、ついで「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が16.1%となっています。

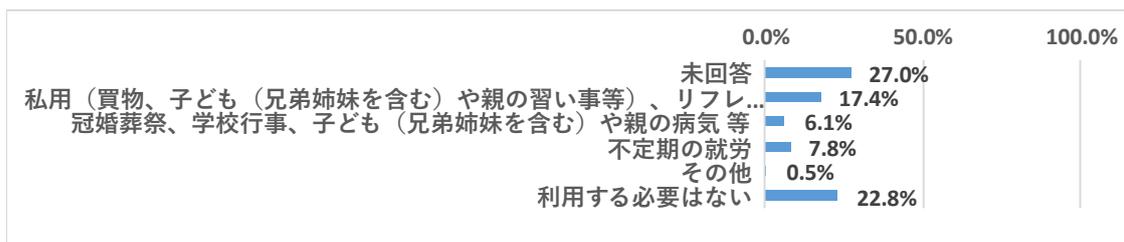
(n=386)



問27 調査対象のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、もっとも多い理由は何ですか。

利用する理由としては「私用、リフレッシュ」が17.4%でもっとも多くなっています。

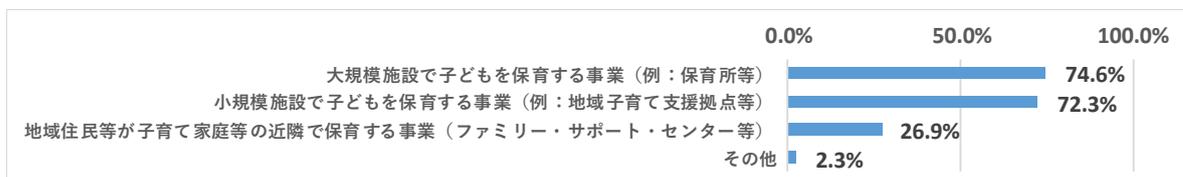
(n=408)



(1) 一時預かりなどの事業を利用するにあたって、お子さんを預ける場合、どんな事業形態が望ましいと思われますか。（いくつでも）

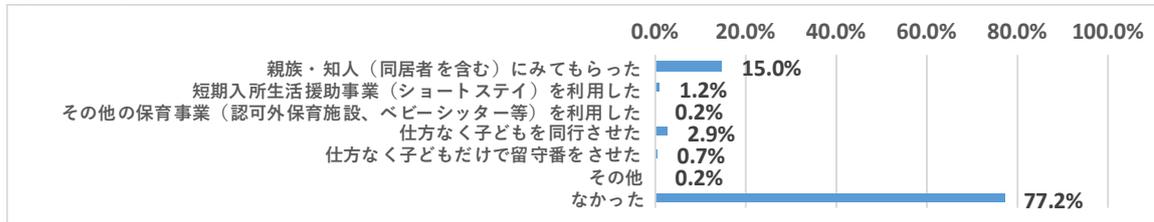
「大規模施設で子どもを保育する事業」が74.6%でもっとも多くなっています。

(n=130)



問28 調査対象のお子さんについて、この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気等）により、調査対象のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

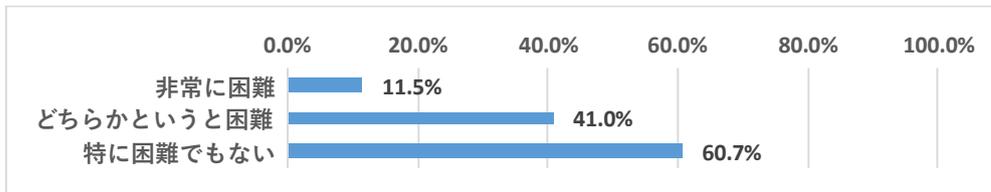
あった場合は「親族・知人にみてもらった」が15.0%もっとも多くなっています。
(n=408)



(1) 「親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。

「特に困難でもない」が60.7%もっとも多くなっています。

(n=61)



(8) 地域子育て支援事業

問29 調査対象のお子さんは、現在、地域子育て支援センターを利用していますか。
(いくつでも)

「利用していない」が78.4%もっとも多くなっていますが、利用されている場合は、「おひさま」の利用が18.4%もっとも多くなっています。

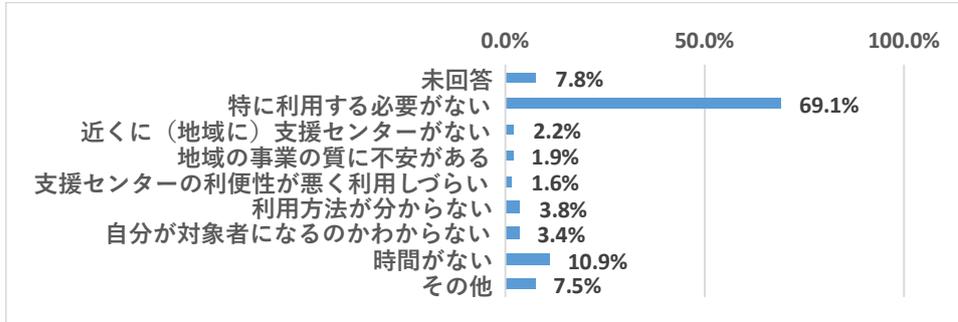
(n=408)



問30 問29で「利用していない」と回答した方にお伺いします。利用していない理由は何か。

「特に利用する必要がない」が69.1%でもっとも多くなっています。

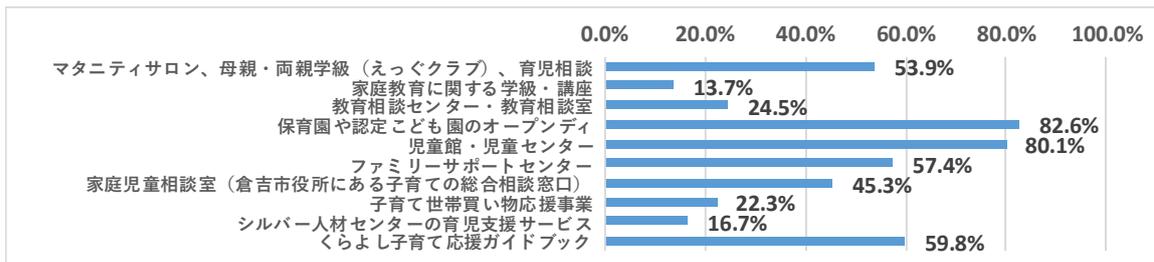
(n=320)



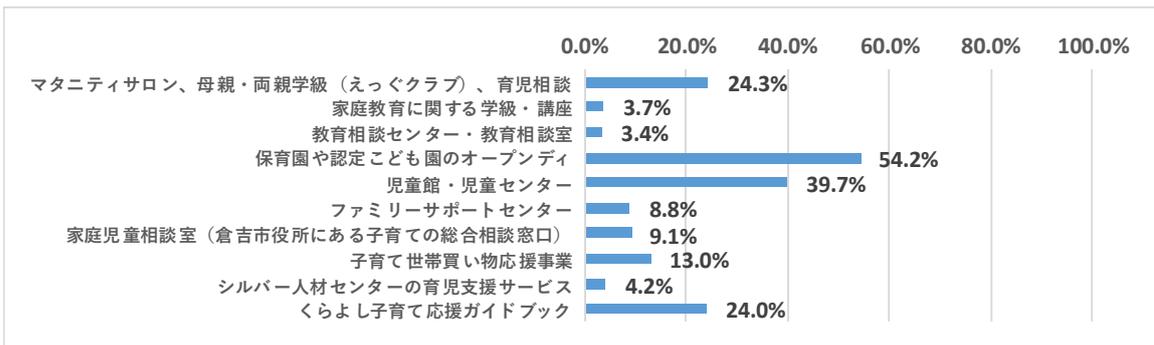
問31 地域子育て支援事業で知っているもの、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（いくつでも）

「知っている」の平均は45.6%となっています。「保育園や認定こども園のオープンデー」が82.6%でもっとも多くなっています。

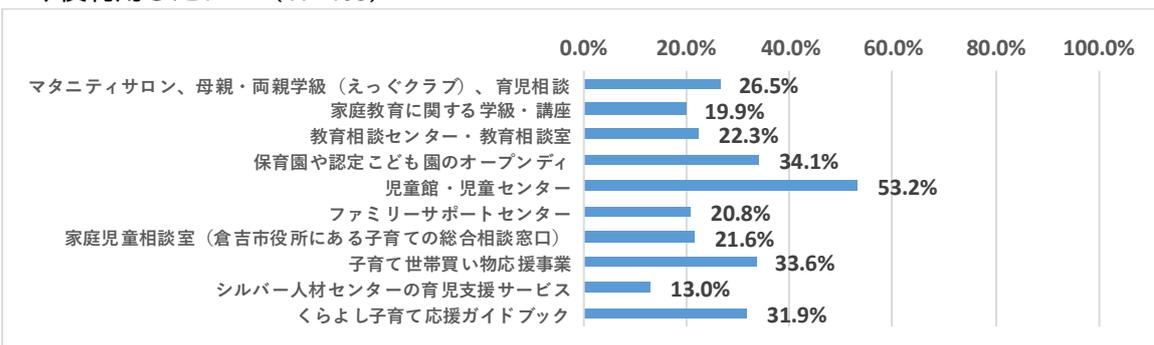
<知っている> (n=408)



<利用したことがある> (n=408)



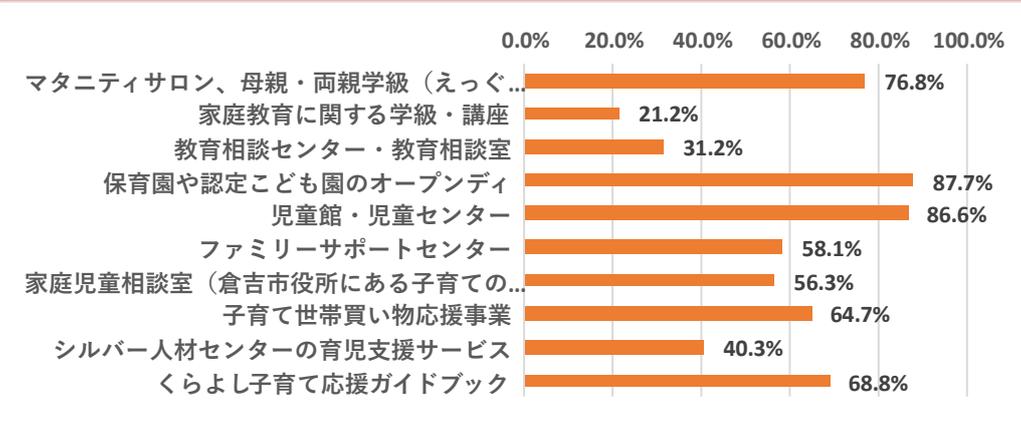
<今後利用したい> (n=408)



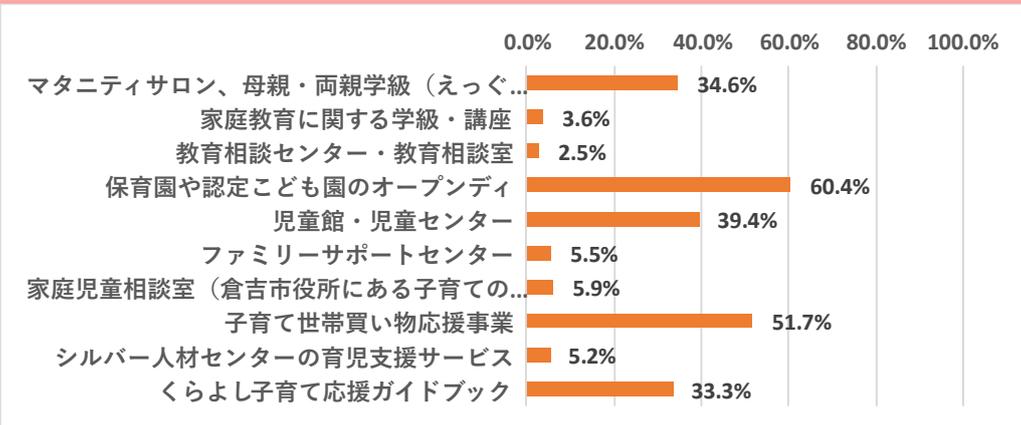
<参考：平成 25 年 10 月のニーズ調査との比較>

「知っている」は全体的に減少しています。「利用したことがある」は全体的に減少しています。「今後利用したい」は全体的に減少しています。

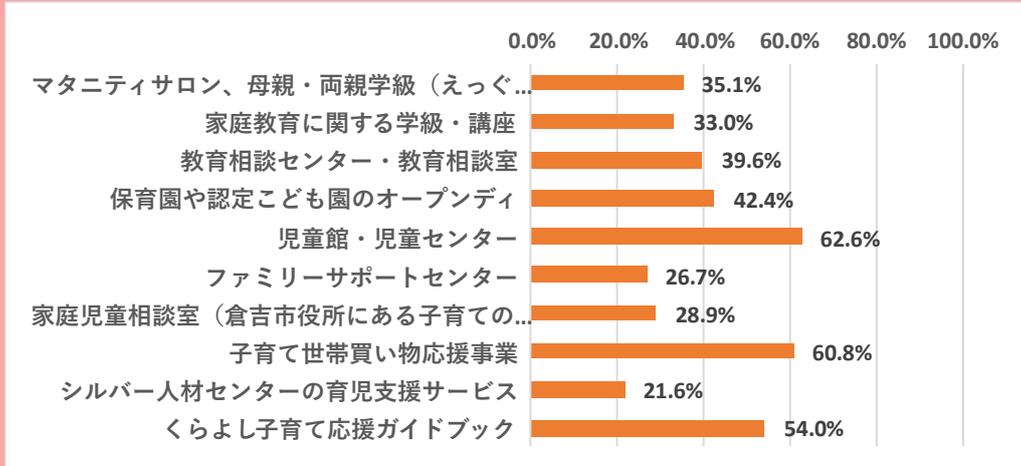
<知っている>



<利用したことがある>



<今後利用したい>

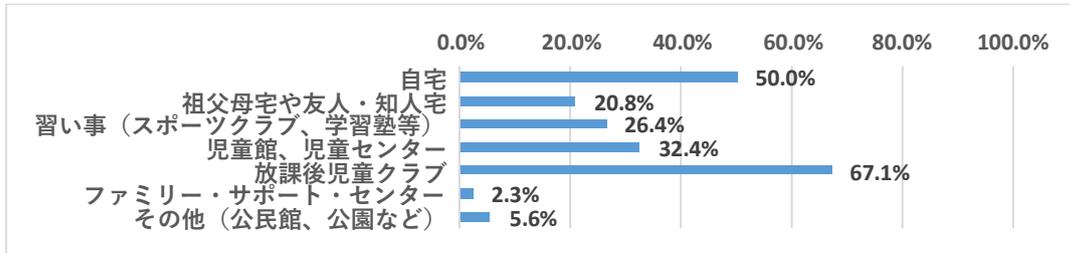


(9) 就学について（来年度就学予定のこどもの保護者のみ）

問3 2 調査対象のお子さんが、小学校になったら放課後（平日の小学校修了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（いくつでも）

「放課後児童クラブ」が67.1%でもっとも多く、次いで「自宅」が50.0%となっています。

(n=216)



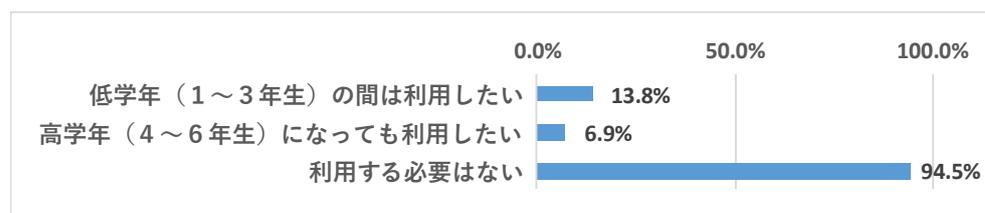
問3 3 問3 2で「放課後児童クラブ」と答えた方に伺います。調査対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日や夏休み、冬休み等の長期休暇期間の利用希望はありますか。

放課後児童クラブの利用希望として「長期休暇期間」がもっとも多くなっています。利用するこどもは、低学年（1～3年生）の間がもっとも多くなっています。

<土曜日> (n=145)



<日曜日・祝日> (n=145)



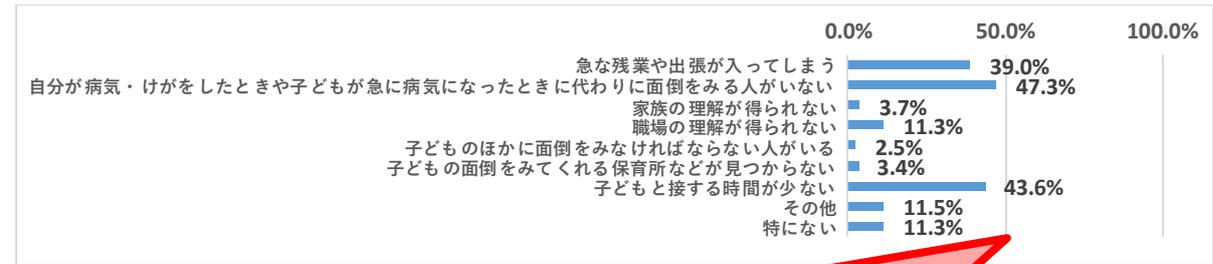
<夏休み、冬休み等の長期休暇期間> (n=145)



(10) 仕事と子育ての両立

問34 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じるのはどのようなことですか。
(いくつかでも)

「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない」が47.3%でもっとも多く、次いで「子どもと接する時間が少ない」が43.6%となっています。
(n=408)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

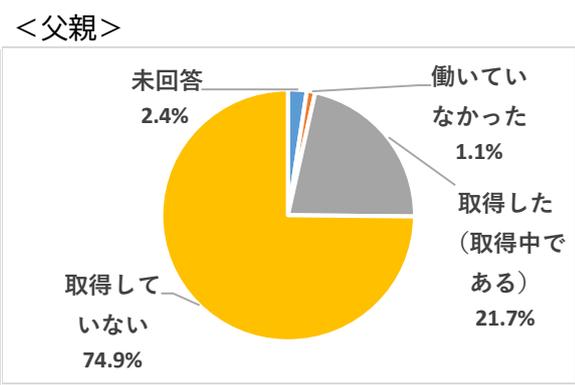
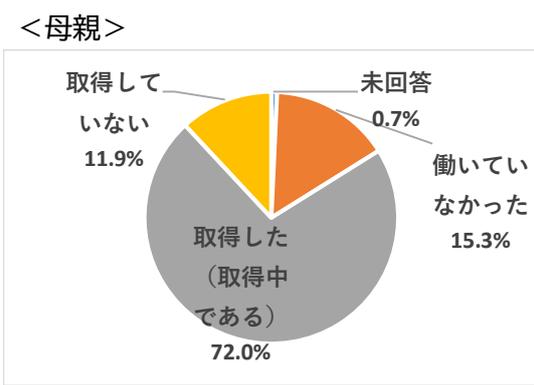
「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない」「子どもの面倒をみてくれる保育所などが見つからない」が増加しています。

理由	平成25年10月の調査	今回の調査
自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない	46.9%	47.3%
急な残業や出張が入ってしまう	45.1%	39.0%
子どものほかに面倒をみなければならない人がいる	3.4%	2.5%
子どもの面倒をみてくれる保育所などが見つからない	0.9%	3.4%
子どもと接する時間が少ない	55.6%	43.6%
家族の理解が得られない	20.0%	3.7%
職場の理解が得られない	20.0%	11.3%
その他	10.9%	11.5%
特になし	9.3%	11.3%

(11) 勤務先の育児休業制度

問35 調査対象者のお子さんについて、母親または父親が育児休業制度を取得されましたか。

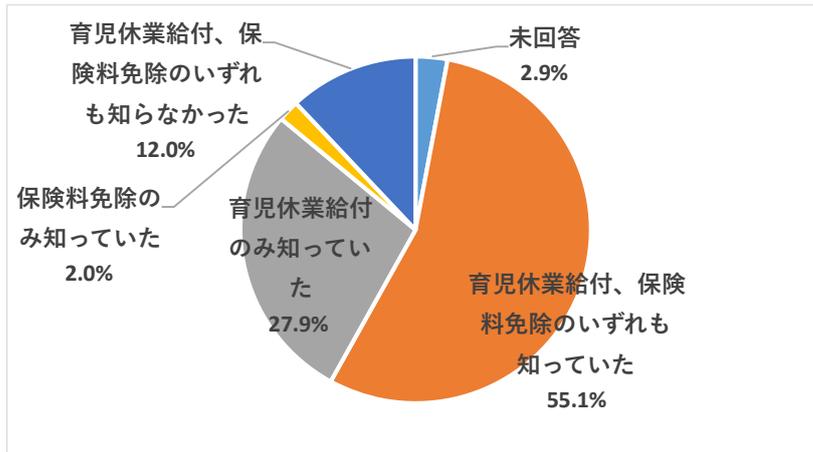
母親については、「取得した（取得中である）」が72.0%でもっとも多く、父親については、「取得していない」が74.9%でもっとも多くなっています。
(n=408)



（１）子どもが原則１歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は１歳６ヵ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満３歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業および企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

「いずれも知っていた」が55.1%でもっとも多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が27.9%となっています。

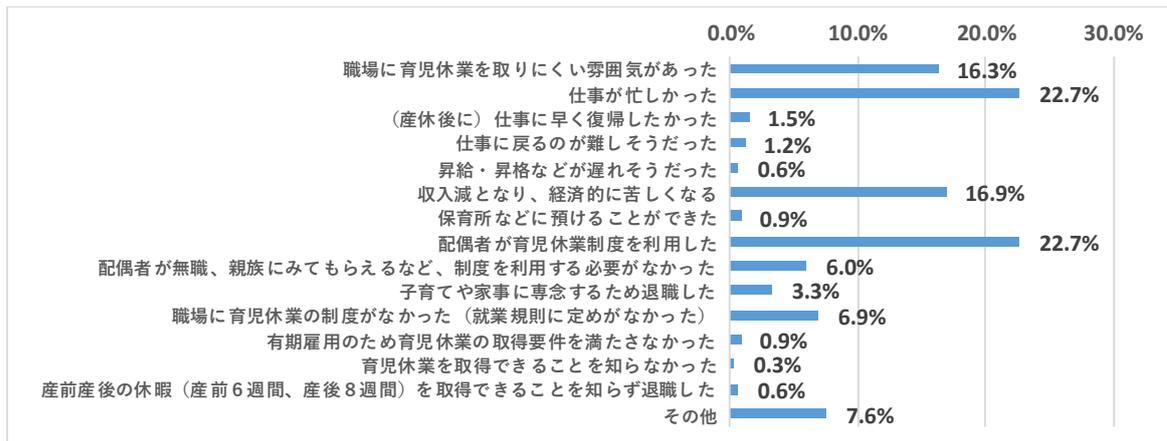
(n=408)



（２）問35で「取得していない」と答えた方にうかがいます。取得していない理由は何ですか（いくつでも）

「仕事が忙しかった」と「配偶者が育児休業制度を利用した」がともに22.7%でもっとも多くなっています。

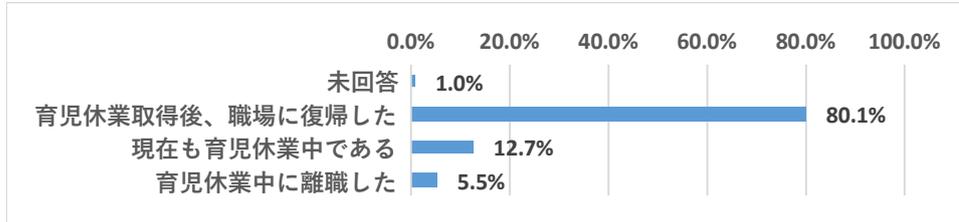
(n=331)



問36 問35で「取得した」と答えた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

母親・父親ともに「育児休業取得後、職場に復帰した」がもっとも多くなっています。

<母親> (n=291)



<父親> (n=82)

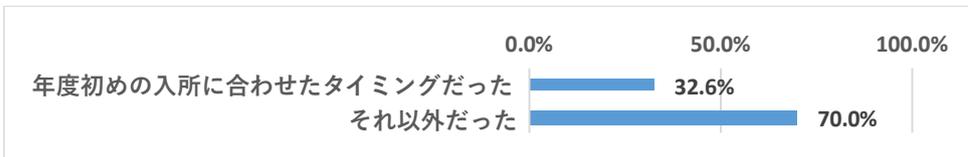


問37 問36で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

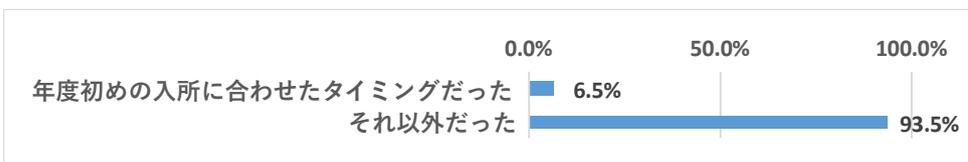
(1) 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所等入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

母親・父親ともに「それ以外だった」がもっとも多くなっています。

<母親> (n=233)



<父親> (n=77)

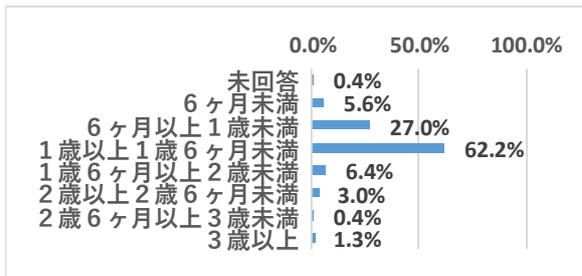


（２） 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。

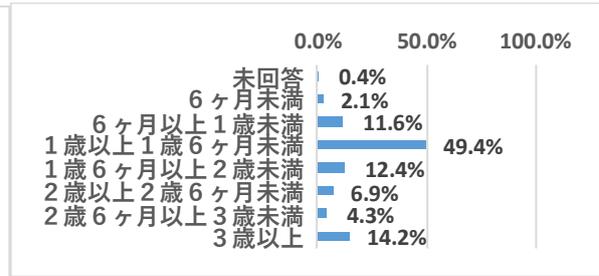
母親については、「1歳以上1歳6ヶ月未満」がもっとも多く、父親については、「6ヶ月未満」がもっとも多くなっています。

<母親> (n=233)

【実際】

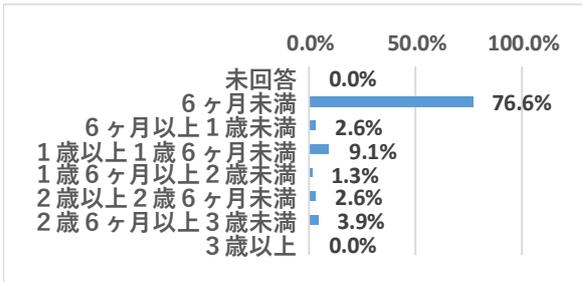


【希望】

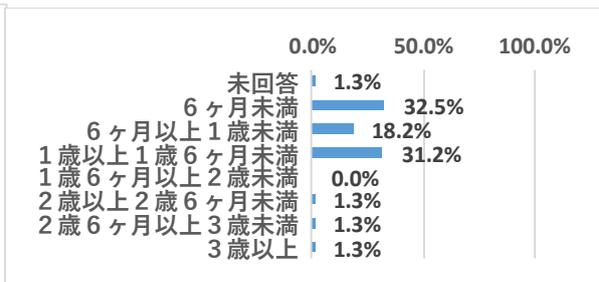


<父親> (n=77)

【実際】



【希望】

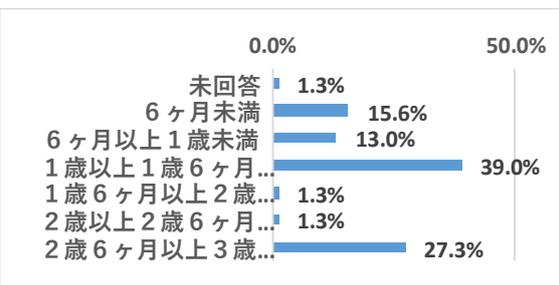
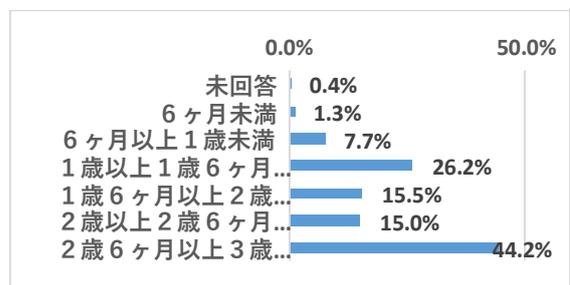


（３） 育児のための休暇を3歳まで取得できる制度があった場合、お子さんが何歳何ヶ月のときまで、取りたかったですか。

母親については、「2歳6ヶ月以上3歳未満」がもっとも多く、父親については、「1歳以上1歳6ヶ月未満」がもっとも多くなっています。

<母親> (n=233)

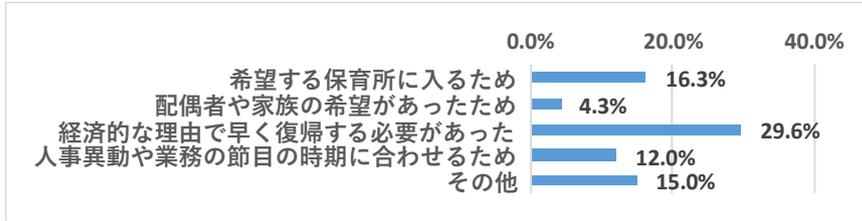
<父親> (n=77)



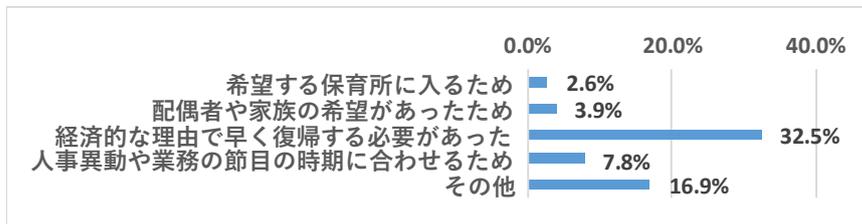
（４）実際の復帰と希望が異なった方で、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

母親・父親ともに、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」がもっとも多くなっています。

<母親> (n=233)



<父親> (n=77)



（５）育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

母親について、「利用した」と「利用しなかった」が半々となっています。父親については、「利用しなかった」がもっとも多くなっています。

<母親> (n=233)

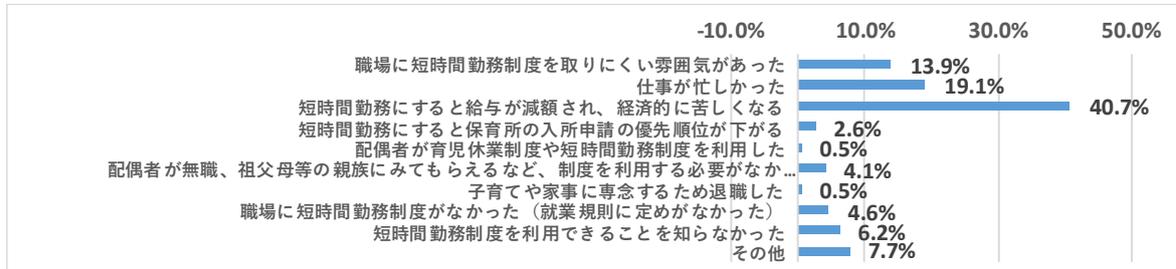
<父親> (n=77)



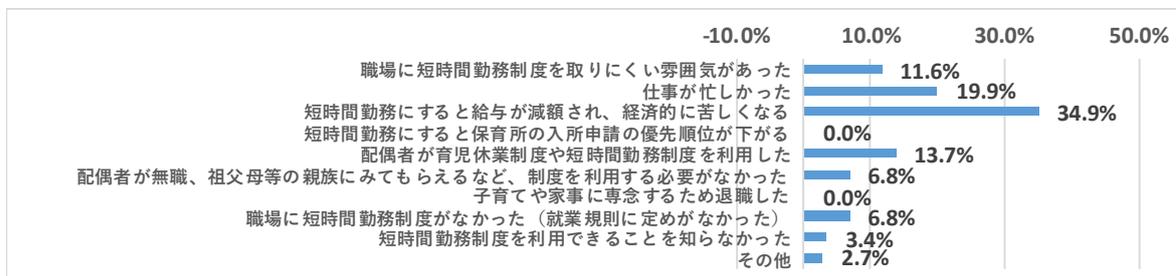
(6) (5) で「短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。（いくつでも）

母親・父親ともに、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」がもっとも多くなっています。

<母親> (n=128)



<父親> (n=96)



問38 問36で「現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。調査対象のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

母親・父親ともに、「1歳になるまで育児休業を取得したい」がもっとも多くなっています。

<母親> (n=37)

<父親> (n=10)



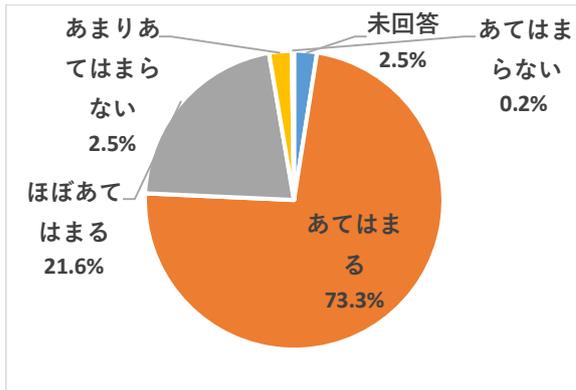
(12) 子育て全般

問39 子育てに関して普段感じていることについて、それぞれの項目で、もっともあてはまるものを選んでください。

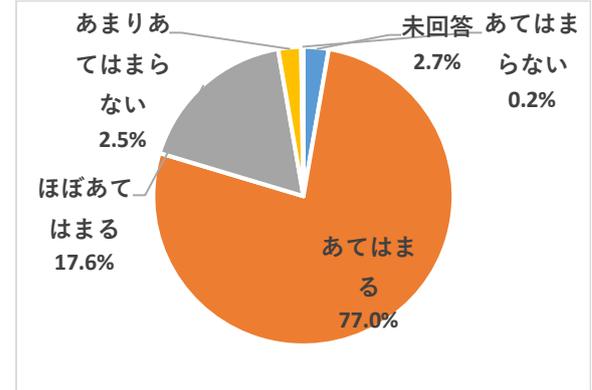
「①子どもがいると生活が楽しく豊かになる」「②子育てを通じて自分も成長すると思う」「③子どもは心のやすらぎや生きがいを与えてくれると思う」については、それぞれ「あてはまる」がもっとも多くなっています。

(n=408)

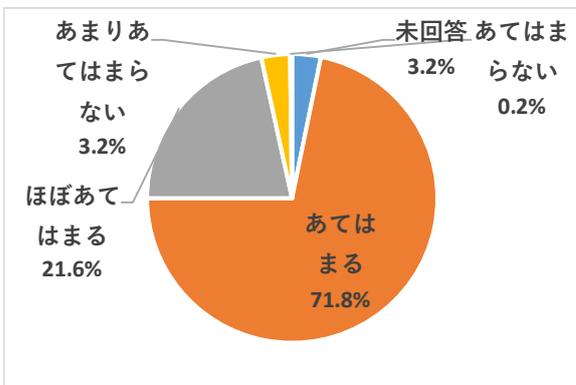
①子どもがいると生活が楽しく豊かになる



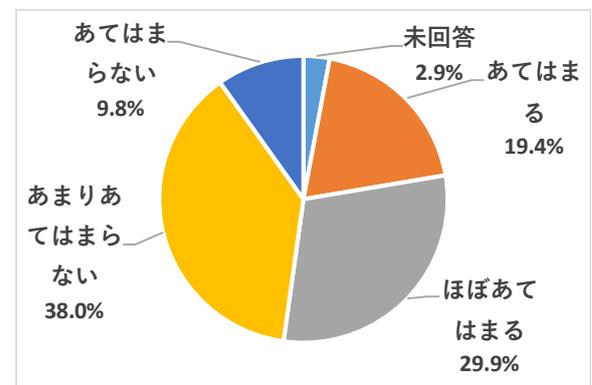
②子育てを通じて自分も成長すると思う



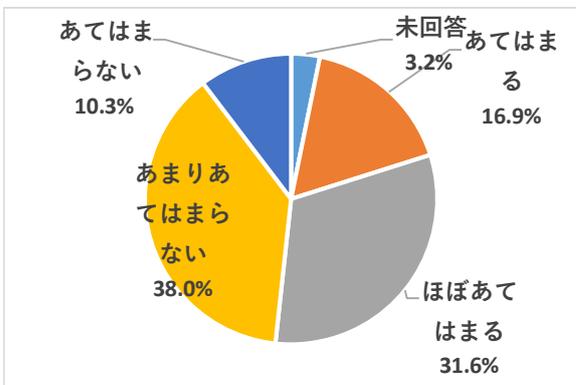
③子どもは心のやすらぎや生きがいを与えてくれると思う



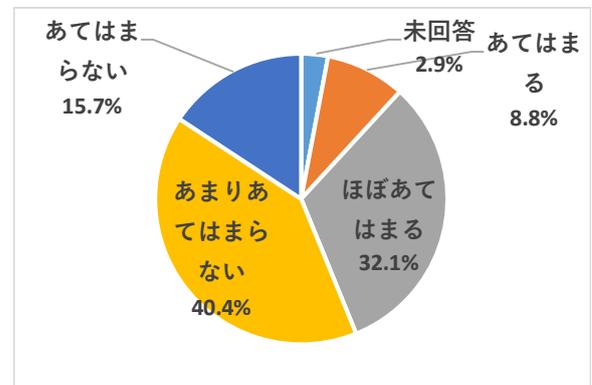
④子育てに対して不安を感じている



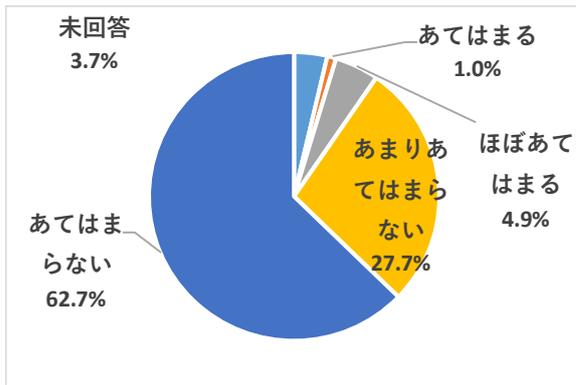
⑤仕事や自分のやりたいことができない



⑥子どもがいると生活や気持ちにゆとりがなくなる

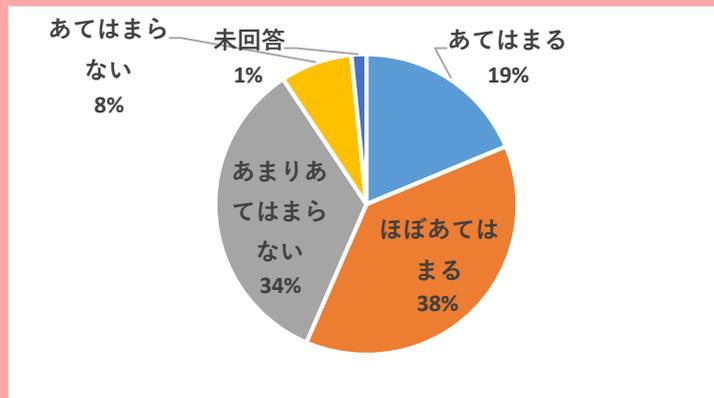


⑦子どもを虐待しているのではないかと思う



<参考：平成 25 年 10 月のニーズ調査との比較>

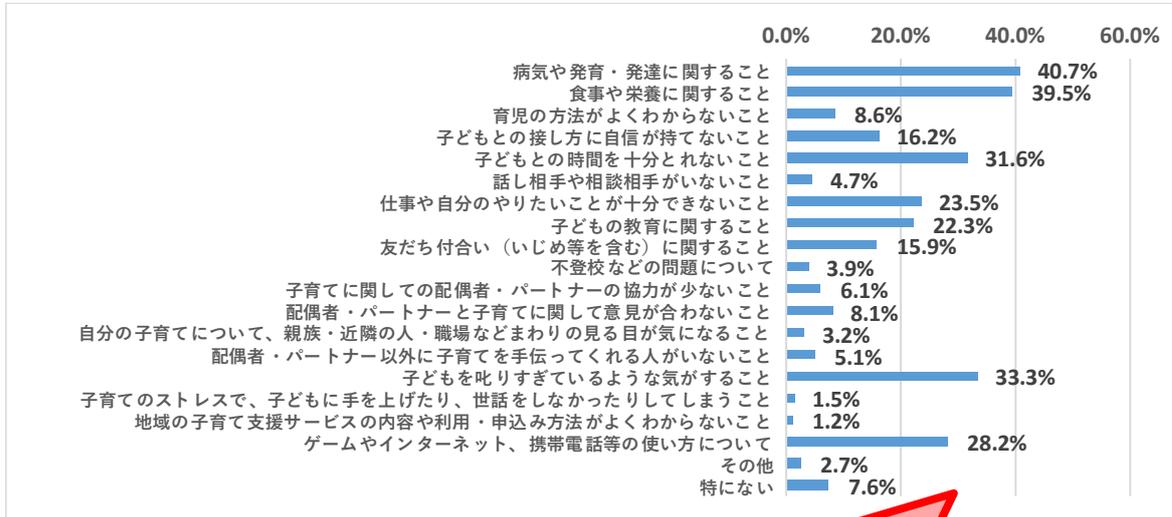
「④子育てに対して不安に感じている」は「あてはまる」「ほぼあてはまる」の合計が減少しています。



問40 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。

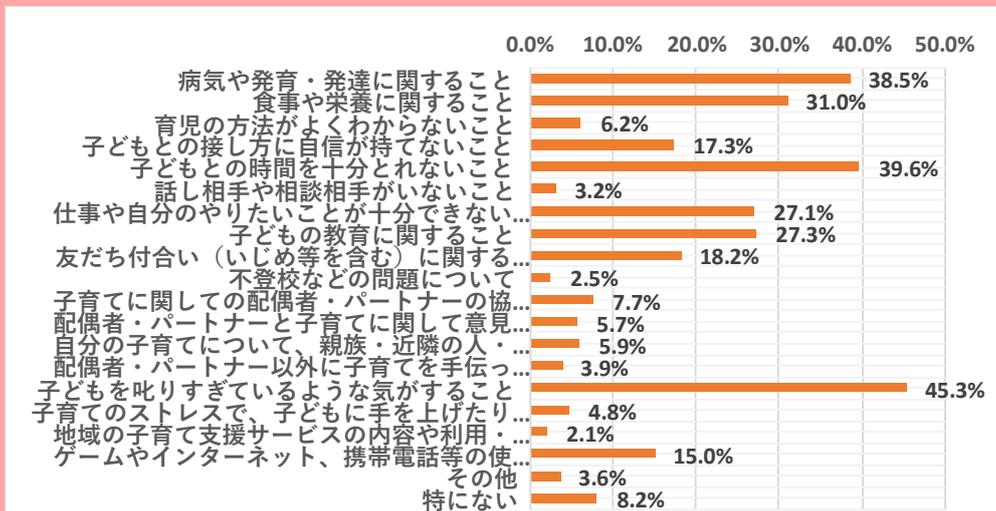
「病気や発育・発達に関すること」が40.7%と最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」が39.5%となっています。

(n=408)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

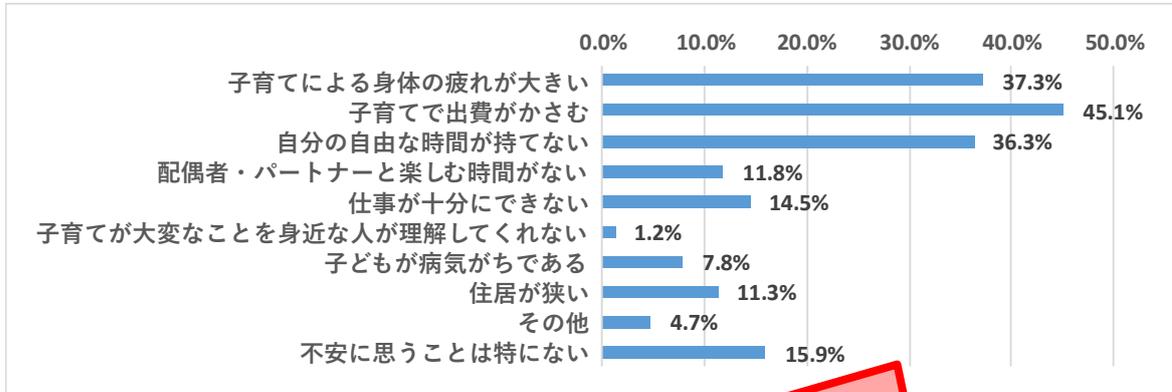
「病気や発育・発達に関すること」「食事や栄養に関すること」「ゲームやインターネット、携帯電話等の使い方」が増加しています。



問4 1 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。（3つ以内）

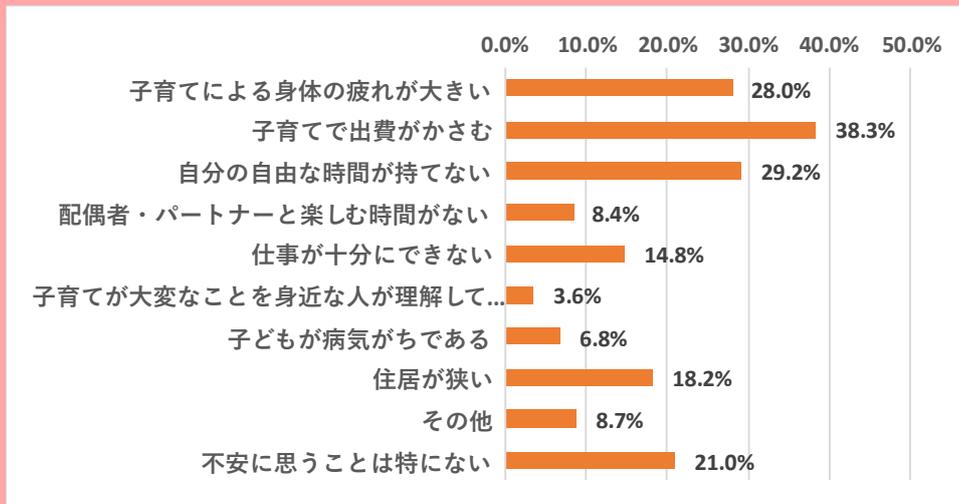
「子育てで出費がかさむ」が45.1%と最も多く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きい」が37.3%となっています。

(n=408)



<参考：平成 25 年 10 月のニーズ調査との比較>

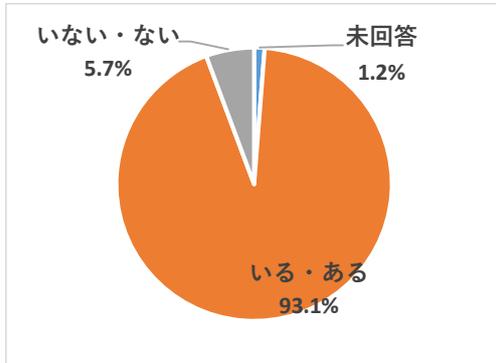
「子育てによる身体の疲れが大きい」「子育てで出費がかさむ」「自分の自由な時間が持てない」が増加しています。



問42 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人または、相談できる場所がありますか。

「いる・ある」が93.1%と最も多くなっています。

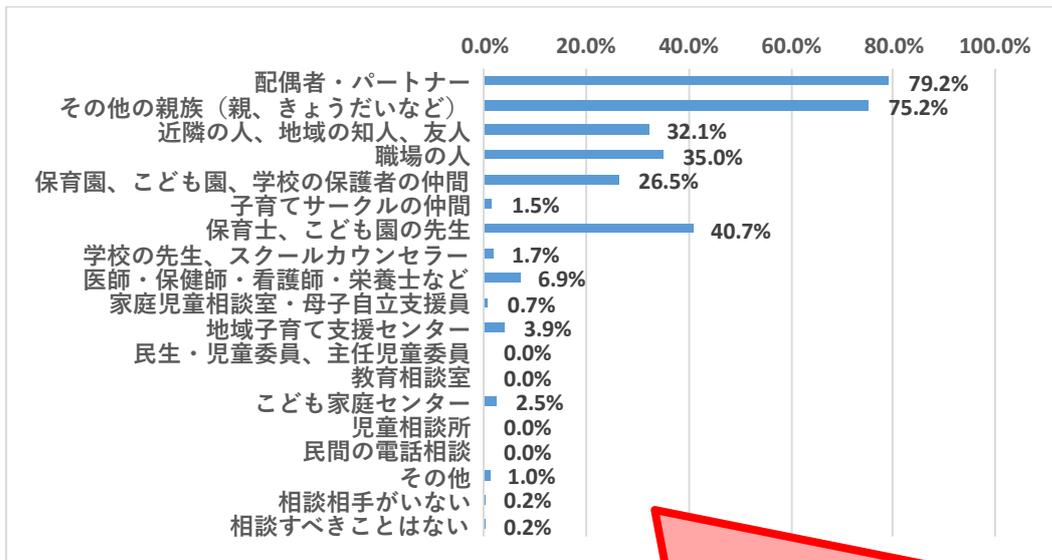
(n=408)



問43 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（5つ以内）

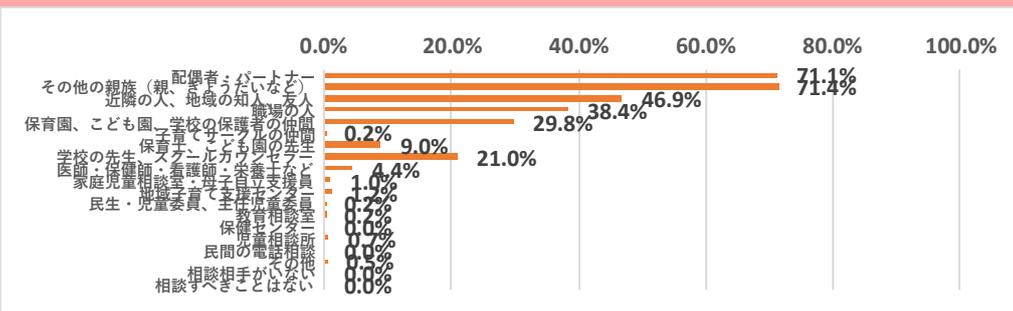
「配偶者・パートナー」が79.2%と最も多く、次いで「その他の親族（親、きょうだいなど）」が75.2%となっています。

(n=408)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

「配偶者・パートナー」「その他の親族」「保育士、こども園の先生」が増加しています。



問44 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。（自由記載）

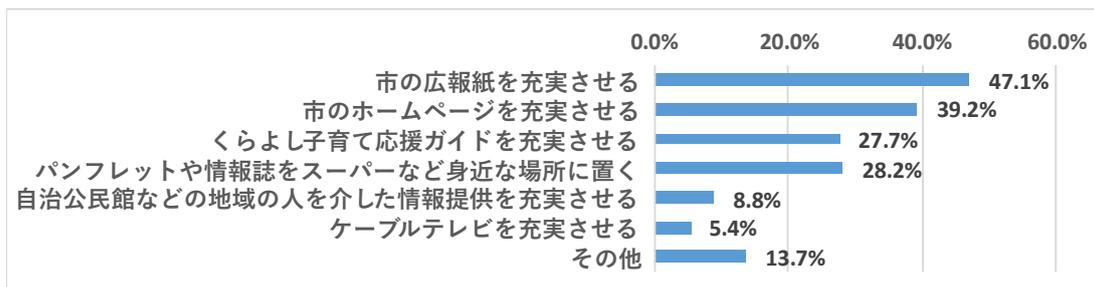
主なご意見を一部記載します。

- ・教育や子育てにかかる費用面は補助や免除されるとありがたいです。
- ・長期休時の学童等施設で給食又は弁当の注文やそれに伴う補助金が出たらありがたい。
- ・1人親で仕事で日曜日や祝日等仕事の日に見てもらえるところがあればいいなあと思う。
- ・サービス業の（片親が、両親が）家庭のために日曜等も保育してくれる所が欲しい。
- ・紙パンツやお尻拭きなど子ども用品のクーポン券などがあったら嬉しい。
- ・夜間預かってくれる事業や、ベビーシッター。
- ・子どもが安全に遊べる公園等をもっと整備してほしい。
- ・行政などももう少し気軽に相談できたらよい。
- ・病児保育をもっと気軽に受けられたらいいと思います。
- ・物価の変動に応じて柔軟に支援していただけると、安心して子育てや教育に向き合えると思います。
- ・子供参加型のイベントをもっと開催してほしい。
- ・育休中でも短時間勤務でも保育園などに預けられる時間は標準時間にして欲しい。
- ・支援センター以外にも保護者同士交流したり、ほっと一息出来るような場を提供してほしい。
- ・送迎時、体調不良の際の急な事にサポートしてくれるところがあればと思う。
- ・時々大きな声を出してしまう時があるので、そういう子もいるんだと理解してほしい。
- ・子育て支援等たくさんされているかもしれないが、その情報をどのように知ればいいのかかわからないので、情報をもっとわかりやすく手にとれるようにしてほしい。
- ・子育てに職場がもっと理解してサポートしてほしいと思いました。
- ・産後ケアホテルなどがあると良いと思う。
- ・母親や父親が少し子どもから離れ、リラックスすることのできる時間を作ってもらえるサポートがあると良いと思う。
- ・病児・病児後保育の受入れ人数が少なく、利用したくても利用出来ない事があり（特に病児）、核家族世帯が多い中でももう少し拡充することは出来ないでしょうか。
- ・子どもの習い事の送迎システム、祖父母との子どもの情報共有ができるアプリ。

問45 倉吉市の子育てに関する情報提供についてどのようにしたら届くと思われますか。（いくつでも）

「市の広報紙を充実させる」が47.1%と最も多く、次いで「市のホームページを充実させる」が39.2%となっています。

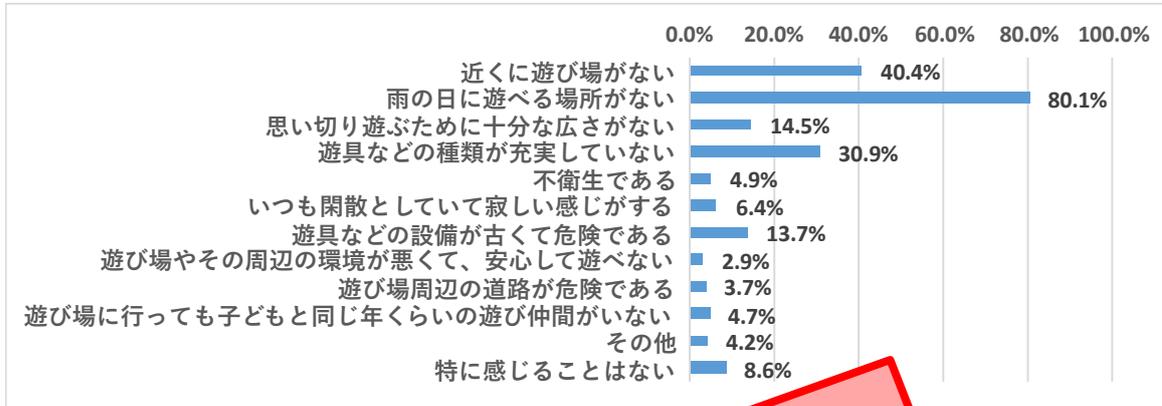
（n=408）



問46 家の近くの子どもの遊び場について日頃どのように感じていますか。（3つ以内）

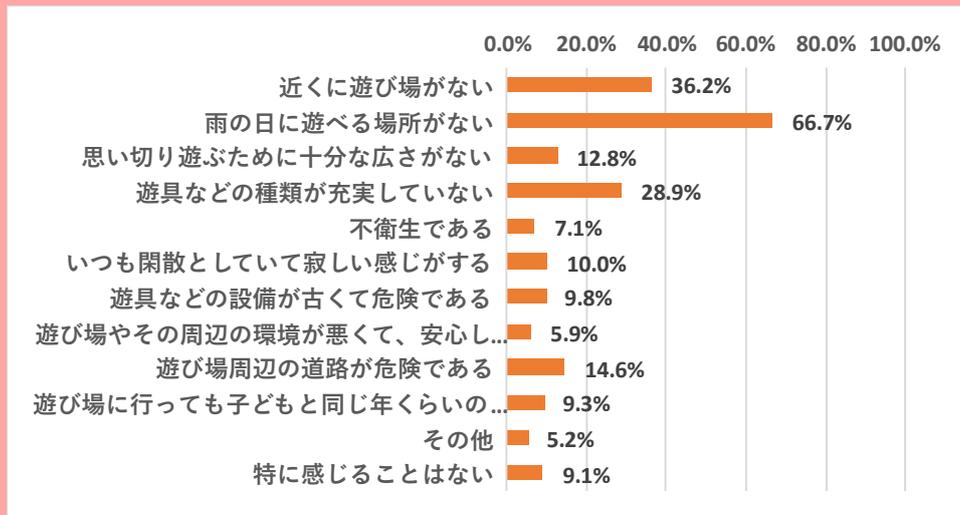
「雨の日に遊べる場所がない」が80.1%と最も多く、次いで「近くに遊び場がない」が40.4%となっています。

(n=408)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

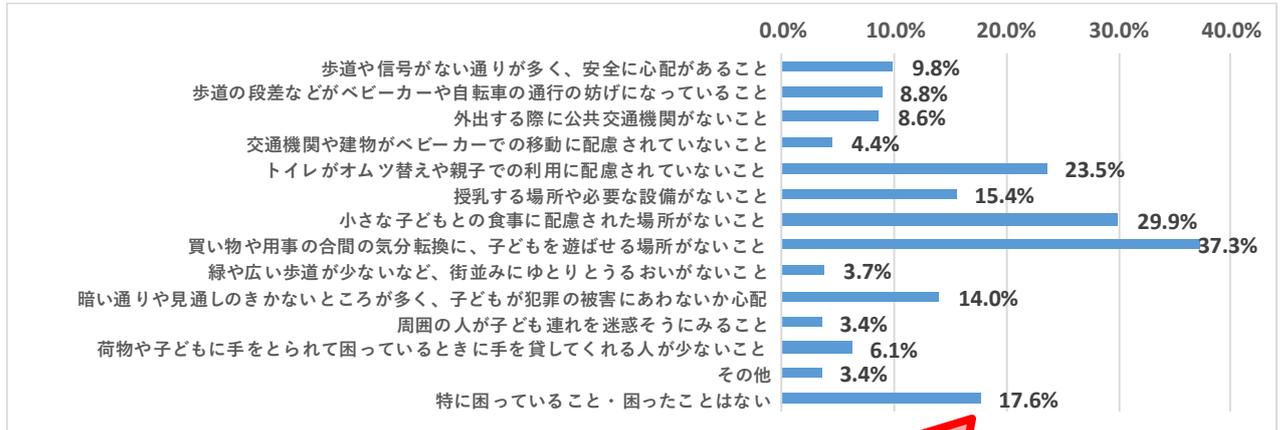
「近くに遊び場がない」「雨の日に遊べる場所がない」が増加しています。



問47 子どもとの外出の際、困ること・不安なこと・心配なことはどのようなことですか。（3つ以内）

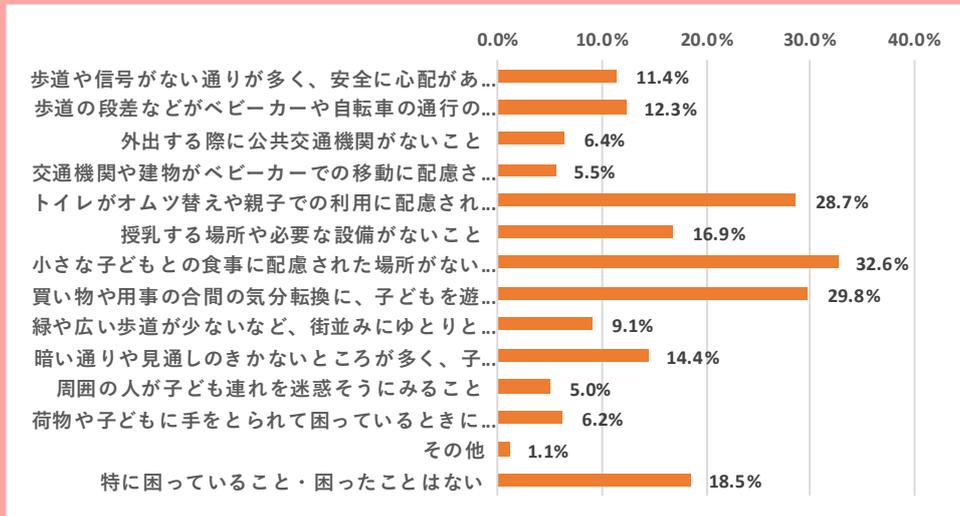
「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が37.3%と最も多く、次いで「小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと」が29.9%となっています。

(n=408)



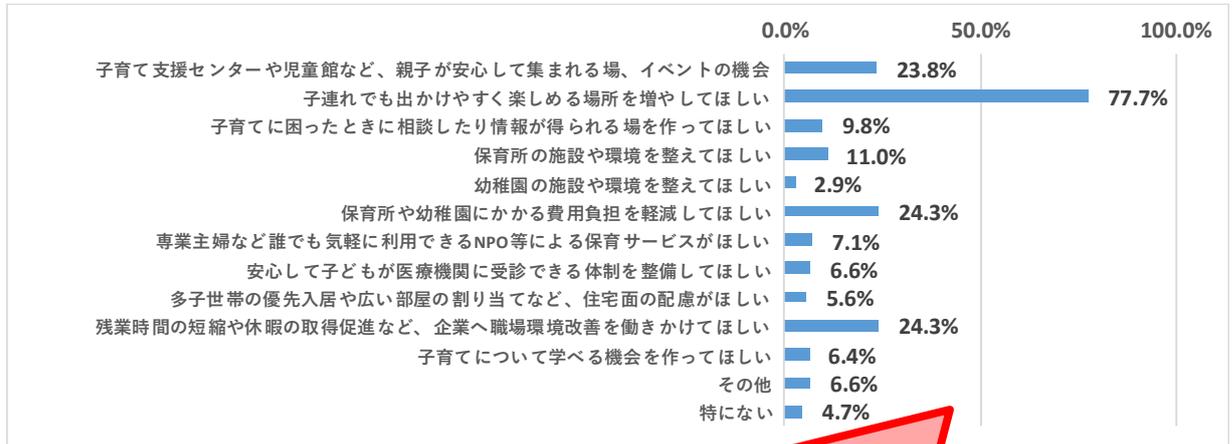
<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が増加しています。



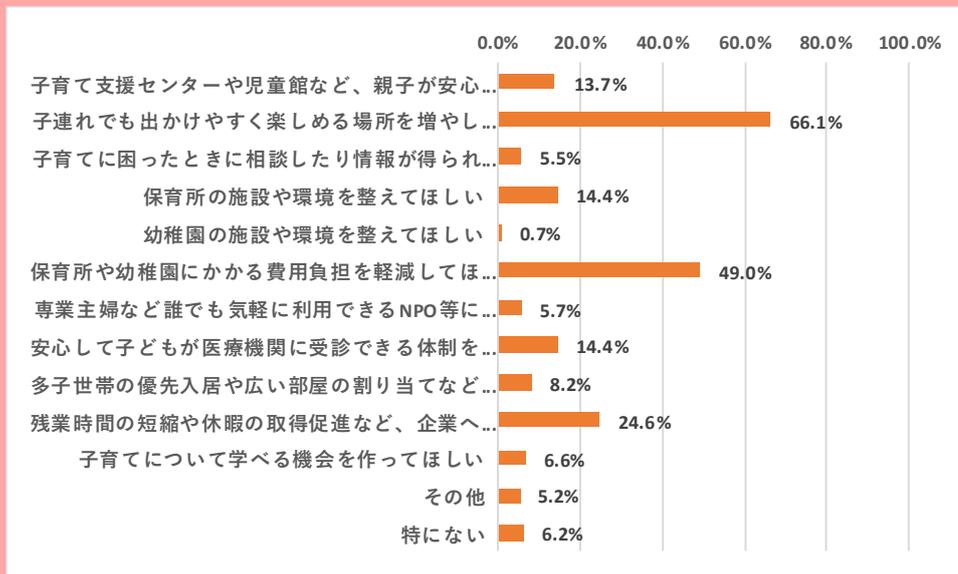
問48 倉吉市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。
(3つ以内)

「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が77.7%ともっとも多く、次いで「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業へ職場環境改善を働きかけてほしい」が24.3%となっています。
(n=408)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

「子育て支援センターや児童館など、親子が安心して集まれる場、イベントの機会」「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が増加しています。



問49 倉吉市の子育て支援等について感じていることがありましたらご自由にお書きください。

主なご意見を一部記載します。

- ・正直、あまり子育て支援がされているとは感じていない。実感できるものがなにかあれば子供も増えるのではないだろうか。
- ・医療費負担が免除され、とても喜んでいます。こどもを、育てている親への補助もあるとありがたいです。
- ・保育園の園長先生が困った事があれば相談してくださいと声かけして下さるので心強いです。支援センターの先生方も話を聞いてくださったり、子どもを見てくださったりありがたいです。
- ・成徳地区に子育て支援センターがないので、あったらいいなと思います。
- ・初めて1人目を出産した際に、保健師の方がお家を訪問してくれたのは、とてもありがたかったです。
- ・産休から育休に入ったら、保育園の預かりが短時間になってしまい、他の兄弟もいる中で赤ちゃんを見る事がとても辛くて、あっという間にお迎えの時間になり心の余裕も全くなり辛かった。
- ・子供による騒音トラブルを起こしたくないので、アパートではなく戸建に住みたいが金銭面に余裕がないという声をききます。
- ・認定こども園などに預ける費用が高い。通わせることのできる条件が厳しい。
- ・今の子育て世代の情報源は SNS かと思います。
- ・産後に宿泊したり短時間利用できる無料産後ケア事業がとても良いと感じた。
- ・倉吉市の子育て支援には感謝しています。特に保育園や学童の環境整備、子育て相談窓口の充実は心強いです。
- ・一時保育を倉吉市では断られるため三朝を利用したことがあります。一時保育をうたっているのなら、そのために人員を配置してください。
- ・倉吉市内でベビーシッターをされている方を知らないのでもしそういう方がおられたら知りたい。
- ・離乳食講習会を初期だけではなく、後期にも実施してほしい。
- ・地域の習い事や塾の情報が欲しいのですが、これが難しいです。
- ・駐車場にある“子育て応援なんとか”（ピンクのマークです、すみません名前が曖昧です）が増えればうれしいです。
- ・保育料の第2子、第3子は、同時入所であれば補助がないのを改善してほしい。年が離れて生んでも負担は同じなので。
- ・医療費が無料であること、とても助かっています。
- ・昨年家を建てて一番感じたことが、倉吉市が中部の中でも住宅に関する補助が少ないことでした。
- ・子の防犯システムについて不安があります。・監視カメラはありますか？・不審者情報の共有や、児童性愛者への対策はありますか？
- ・倉吉市の公園はどこも遊具が古く、雑草が生い茂り、近場で遊べる公園がない為、湯梨浜町や北栄町まで連れて行かないといけない。
- ・多分いろいろな制度があると思うが、浸透していない気がする。

<つづき>

- ・外食をする際、キッズスペースがある個室だと親も安心してゆっくり食事することができる。
- ・就学前児童向けアンケートであれば就学前に向けて知れるようなアンケート、情報提供してほしい。
- ・介護等休暇が無給な企業がほとんど。使っても欠勤とほとんどかわらない。
- ・産まれるまでは、エッグクラブなどがあるが、産まれてからの子育ての情報を知れるクラスなど、学べる機会がほしい。
- ・きらきら園、すくすく園が人数オーバーで利用できなかったです。
- ・未就学児が遊べる施設や遊具が少ない。日曜・月曜は雨が降ると公園で遊べないのでとても困っていた。
- ・ワンオペでゆっくりする時間がない。リフレッシュもかねて、こども園に気軽に預けやすくしてほしい。
- ・周辺の町と比較し、保育料などの負担が大きい。同じ保育所の利用であっても、市在住と市外在住で金が異なることに違和感を感じる。
- ・お金の面で負担が大きいとは思いますが、大人が倒れて親子でダメにならないように一時的やショートステイが出来る場所が倉吉にも欲しい。
- ・育児の負担よりも金銭面での負担、不安がある限り、心にゆとりは持ちにくいと感じています。
- ・子どもが小さい時は、必ず体調を崩すので、病児保育をもっと増やして欲しい。
- ・子育て支援の内容をもっと知りたいと思いました。
- ・市の検診を午後から午前中に時間を変えて欲しい。
- ・夏の暑さ（熱中症警報）で園庭で遊べなかったりプールに入れなかったりしたので日除けなどの設備を整えて欲しい
- ・ひとり親家庭ですが、所得に応じて児童扶養手当がもらえるものの、実家に住んでいるともらえないと聞いた。
- ・市西部の保育園再編にあたり、市長より“数年で使われなくなる施設を作るのは・・・”という言葉があり、確かにそうだと感じましたが、同時に子どもの為にお金を使うというのは市の未来にお金を使うことだと思った

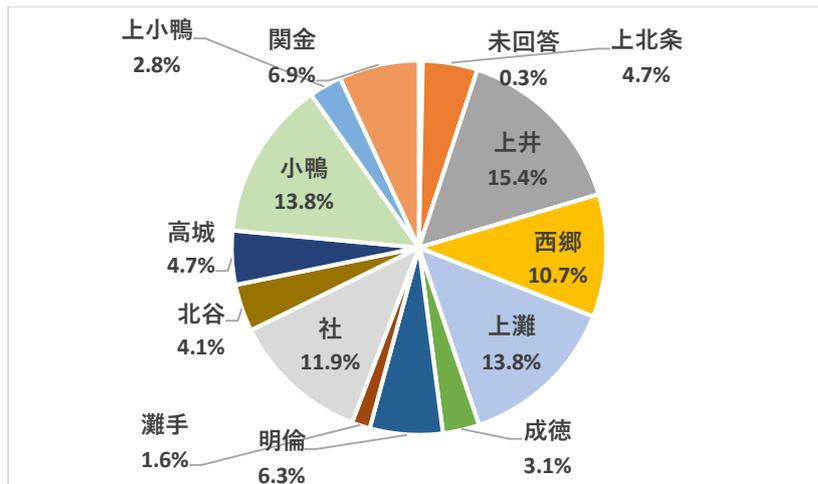
2 こども・子育て支援に関するニーズ調査（小学校児童の保護者対象）

（1）回答者の属性

問1 お住まいの地区はどちらですか。

「上井地区」が15.4%と最も多く、次いで「上灘地区」「小鴨地区」が13.8%となっています。

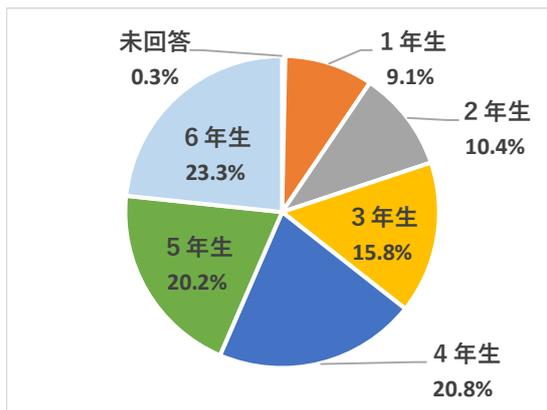
(n=319)



問2 調査対象のお子さんの学年は。

「6年生」が23.3%と最も多く、次いで「4年生」が20.8%となっています。

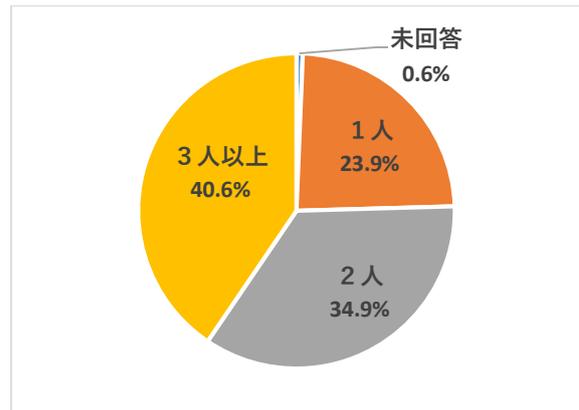
(n=319)



問3 お子さんは何人ですか。

「3人以上」が40.6%と最も多く、次いで「2人」が34.9%となっています。

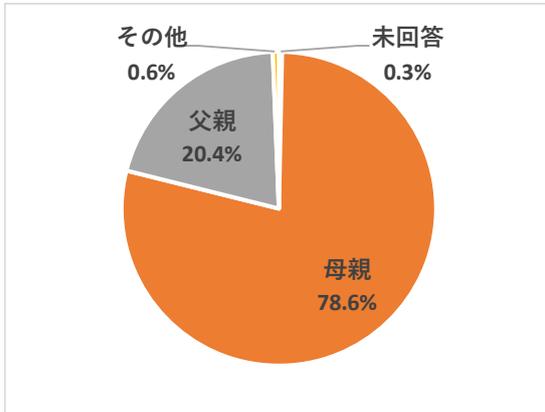
(n=319)



問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

「母親」が78.6%と最も多くなっています。

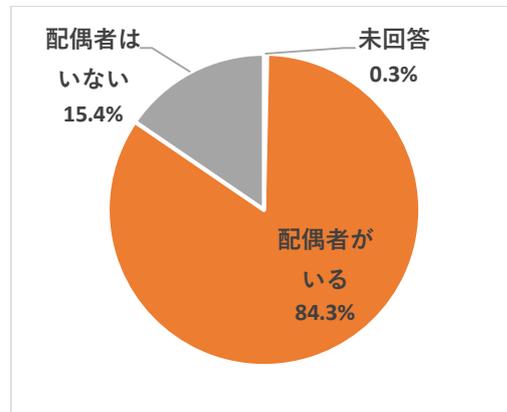
(n=319)



問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者はいらっしゃいますか。

「配偶者がいる」が84.3%となっています。

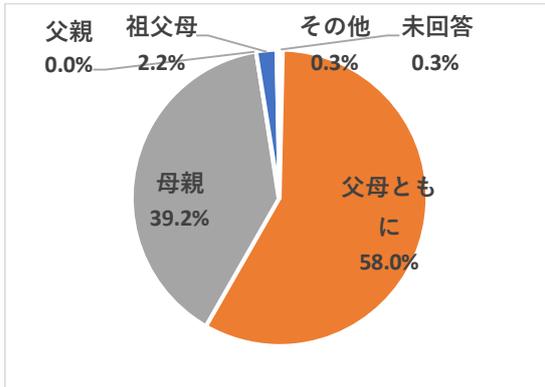
(n=319)



問6 調査対象のお子さんの身の回りの世話を主にしている方はどなたですか。

「父母ともに」が58.0%と最も多く、次いで「母親」が39.2%となっています。

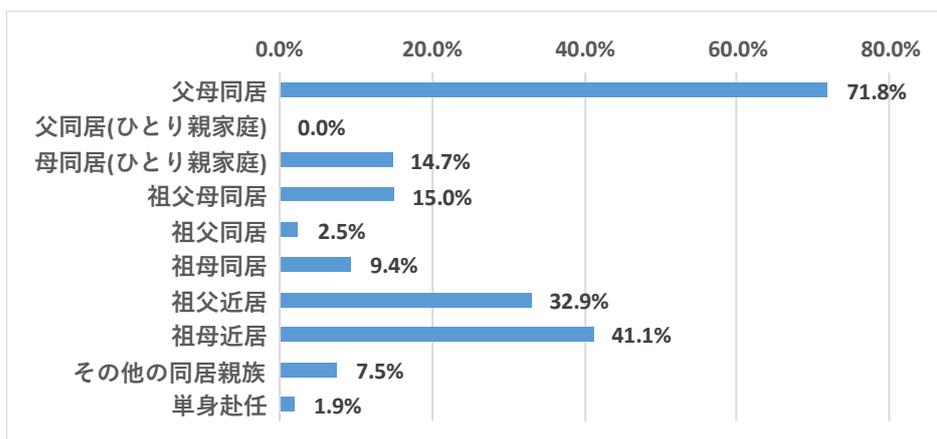
(n=319)



問7 調査対象のお子さんと同居・近居(概ね30分以内程度に行き来できる範囲)の状況についてお伺いします。(いくつでも)

「父母同居」が71.8%と最も多く、次いで「祖母近居」が41.1%となっています。

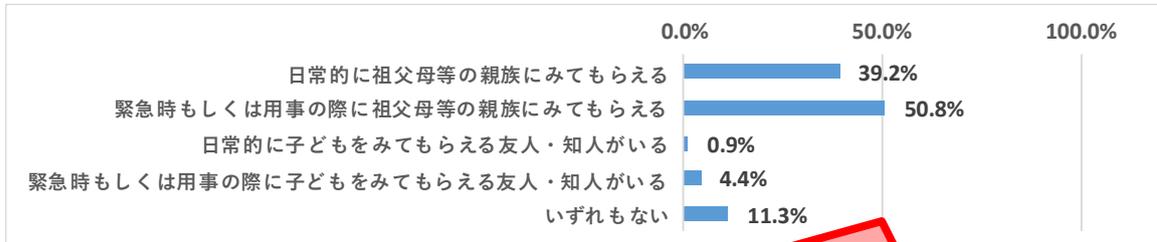
(n=319)



問8 日頃、主にお子さんをみてもらえる人はいますか。（2つ以内）

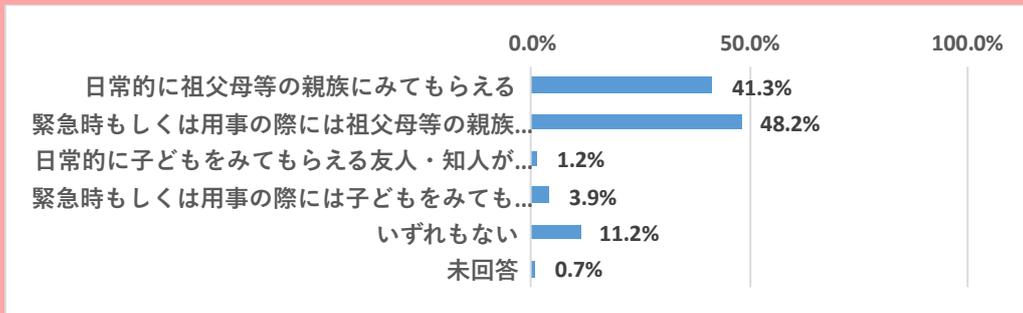
「緊急時もしくは用事の際に祖父母等の親族にみてもらえる緊急時もしくは用事の際に祖父母等の親族にみてもらえる」が50.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が39.2%となっています。

(n=319)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

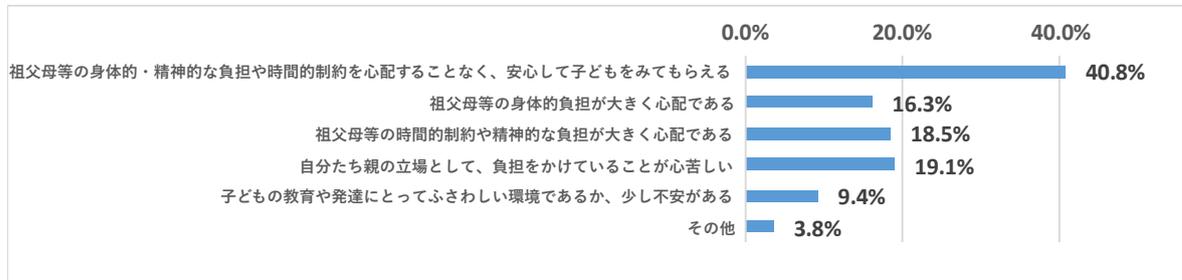
「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が増加しています。



問9 祖父母等にみてもらっている状況について、お伺いします。（2つ以内）

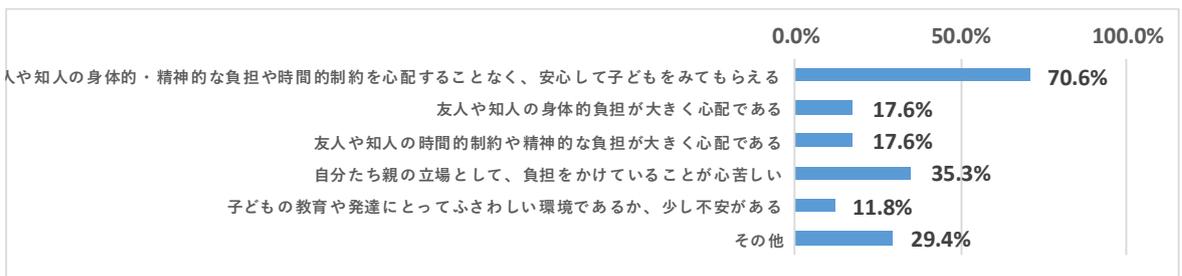
「祖父母等の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が40.8%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が19.1%となっています。

(n=319)

**問10 友人や知人にみてもらっている状況について、お伺いします。（2つ以内）**

「人や知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が70.6%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が35.3%となっています。

(n=17)

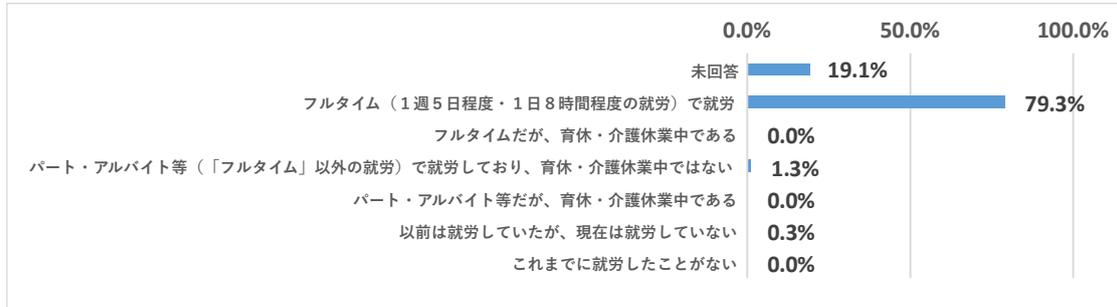


(2) 保護者の就労状況

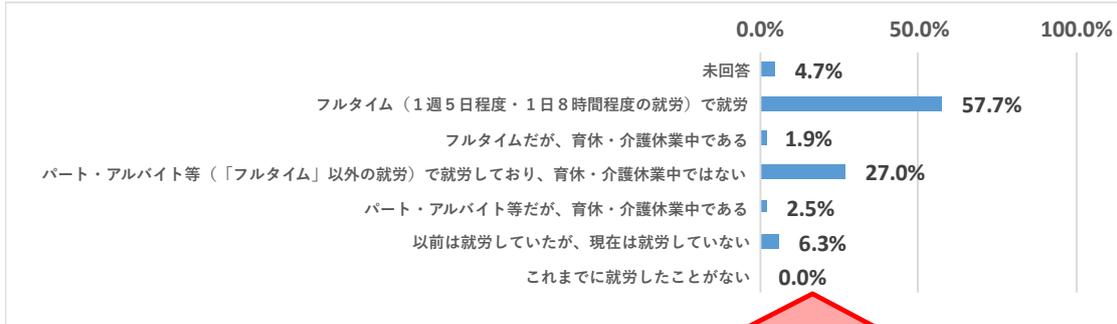
問11 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業を含む）をそれぞれお答えください。

父母ともに「フルタイム」がもっとも多くなっています。母親について「パート・アルバイト等」が父親と比較して多くなっています。

<父親> (n=319)



<母親> (n=319)



<参考：平成25年10月の調査結果との比較>

母親の「現在就労していない」が減少しています。

【父親】

【母親】

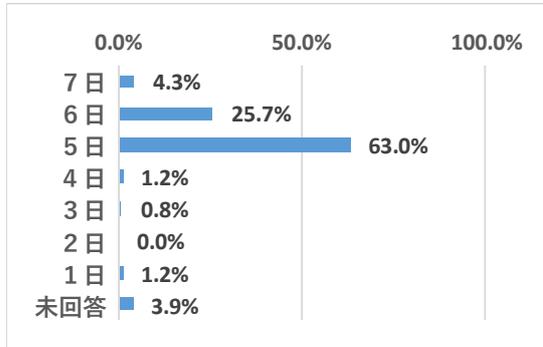


（1）「就労している」と答えた方にうかがいます。1週あたりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」と「家を出る時刻と帰宅時刻」をお答えください。

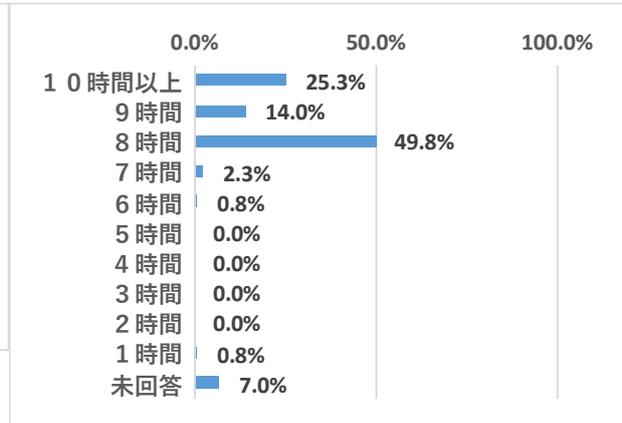
父母ともに「5日」「8時間」がもっとも多くなっています。

【父親】（n=257）

<現在の1週間あたりの利用日数>

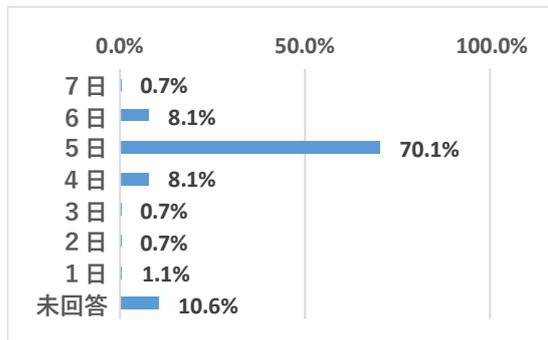


<現在の1日あたりの利用時間数>

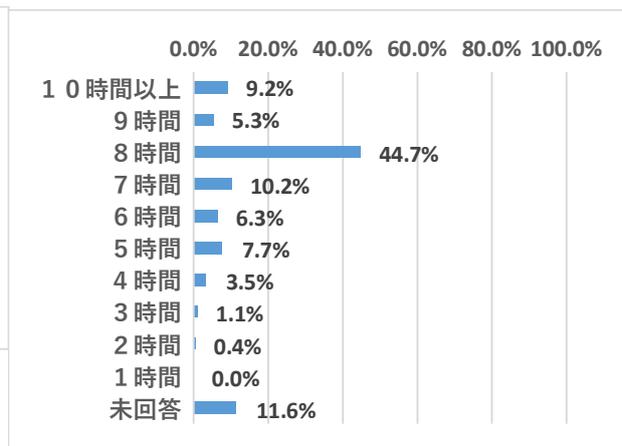


【母親】（n=284）

<現在の1週間あたりの利用日数>



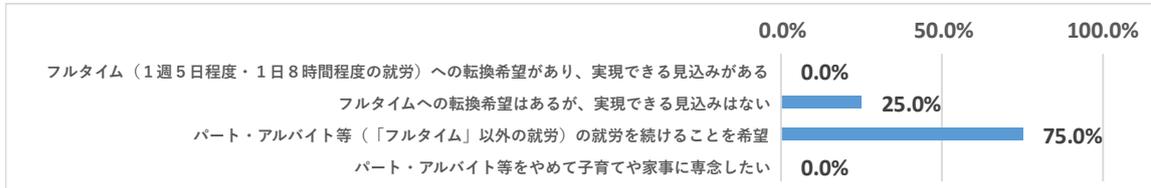
<現在の1日あたりの利用時間数>



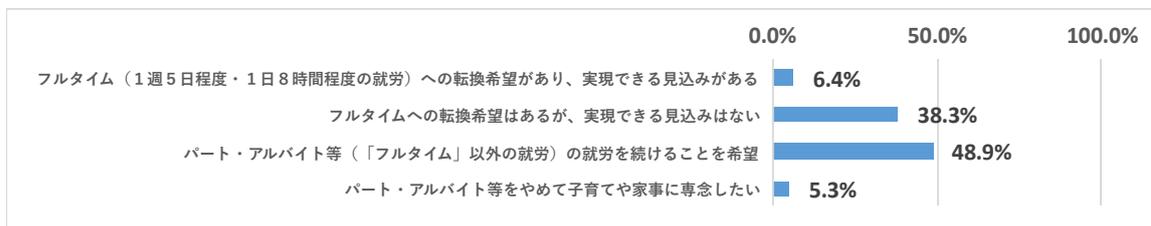
(2) (1) で「パート・アルバイト等で就労している」と答えた方にお伺いします。フルタイムへの転換希望がありますか。

母親について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が48.9%でもっとも多くなっています。父親については、回答対象数が少なく参考として記載します。

【父親】（n=4）



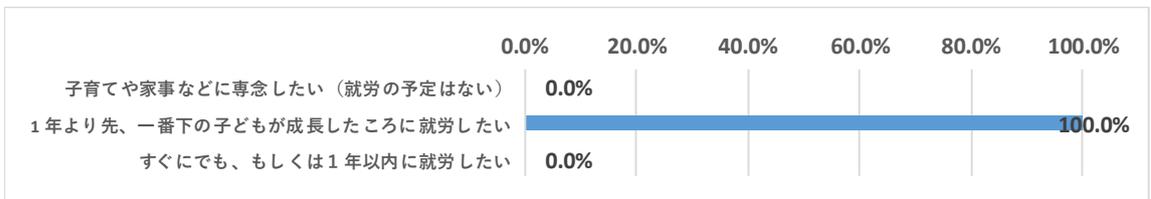
【母親】（n=107）



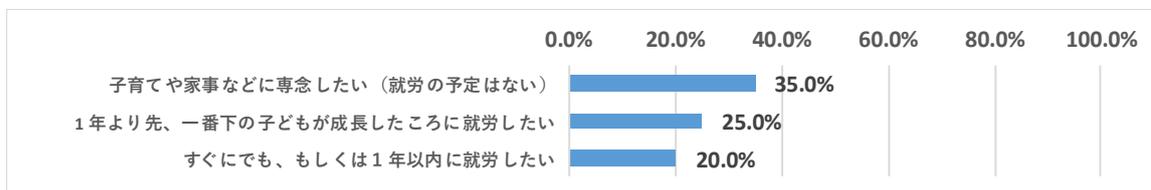
(3) (1) で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまでに就労したことがない」と答えた方に伺います。就労したいという希望はありますか。

母親について、「子育てや家事に専念したい」がもっとも多くなっています。父親については、回答対象数が少なく参考として記載します。

【父親】（n=1）



【母親】（n=24）



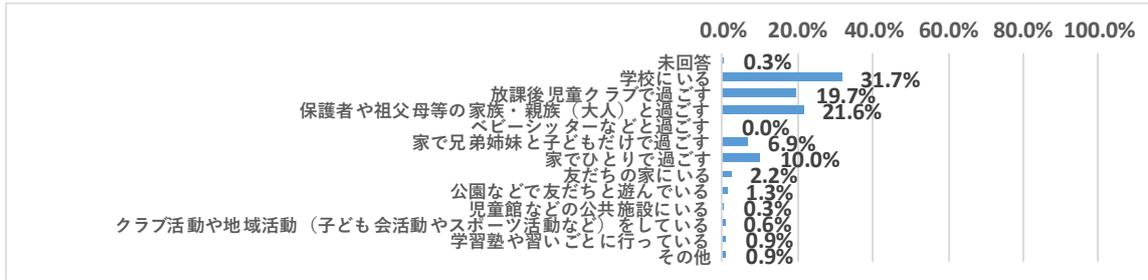
(3) 放課後の過ごし方

問12 平日の放課後の日常なお子さんの過ごし方で一番多いものについてお答えください。

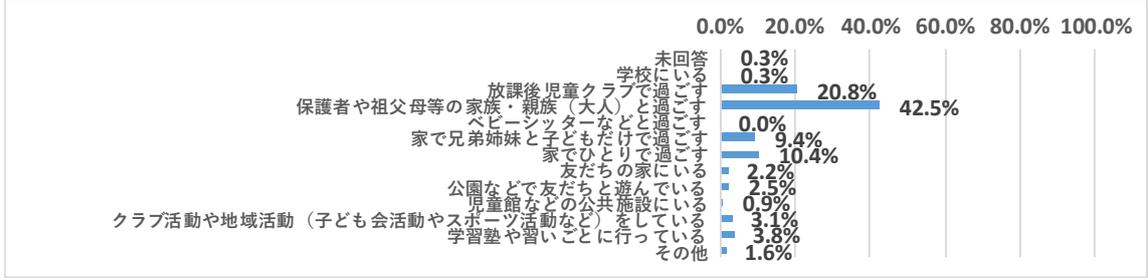
時間経過とともに「保護者や祖父母等の家族・親族（大人）と過ごす」の割合が大きくなっています。

(n=319)

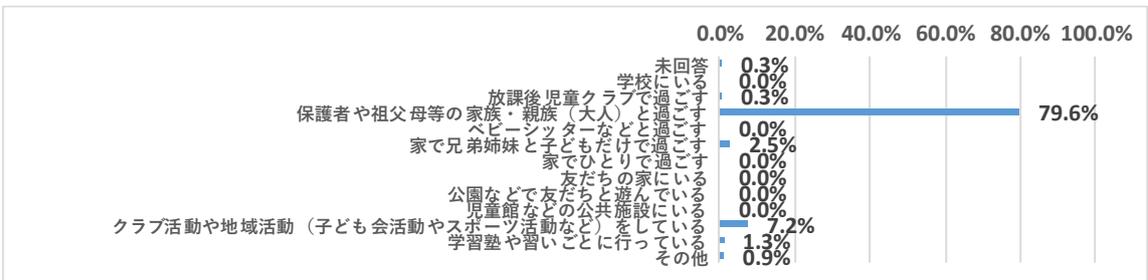
【14時～16時】



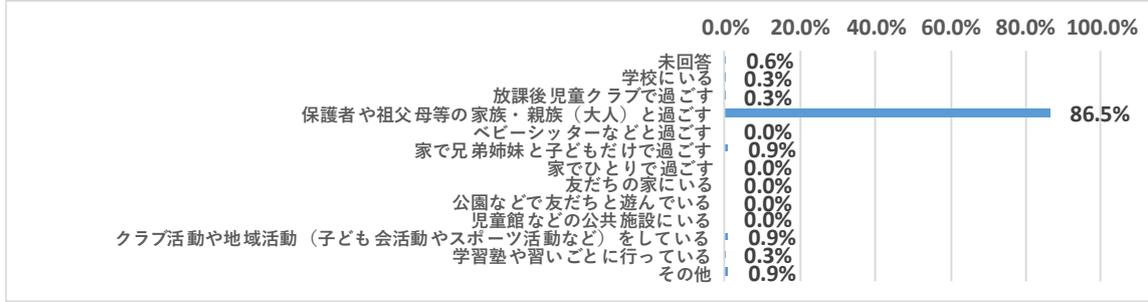
【16時～18時】



【18時～20時】



【20時以降】



問13 調査対象のお子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。

「利用している」が32.2%、「利用していない」が67.8%となっています。

(n=319)

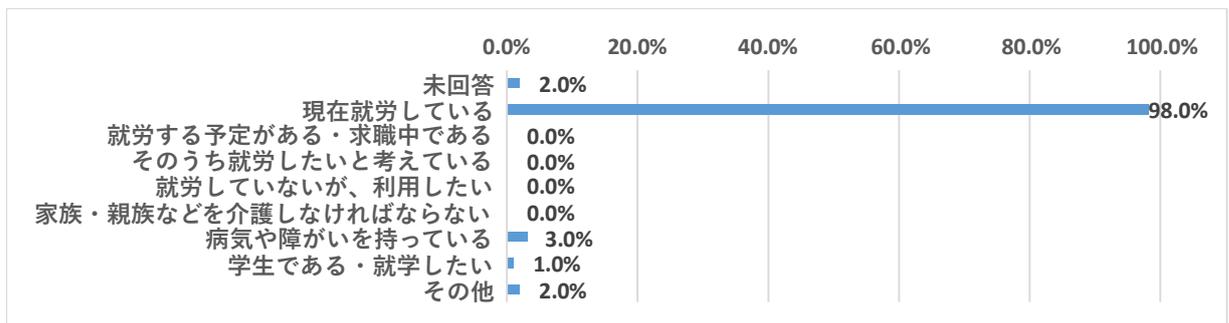


(4) 放課後児童クラブ（利用している方のみ）

問14 放課後児童クラブを利用している主な理由をお答えください。

「現在就労している」が98.0%ともっとも多くなっています。

(n=99)



問15 放課後児童クラブの利用の頻度をお答えください。

平日及び長期休暇中の利用頻度が多くなっています。

(n=99)

【平日】

【土曜日】



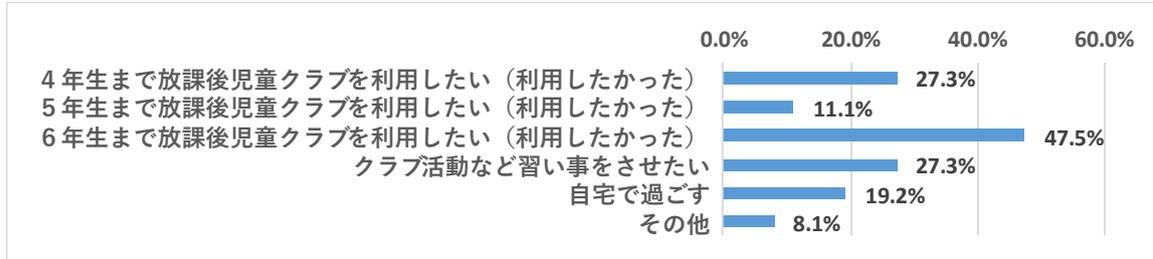
【長期休暇中】



問16 調査対象のお子さんの小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。（2つ以内）

「6年生まで放課後児童クラブを利用したい（利用したかった）」が47.5%と最も多くなっています。

(n=99)

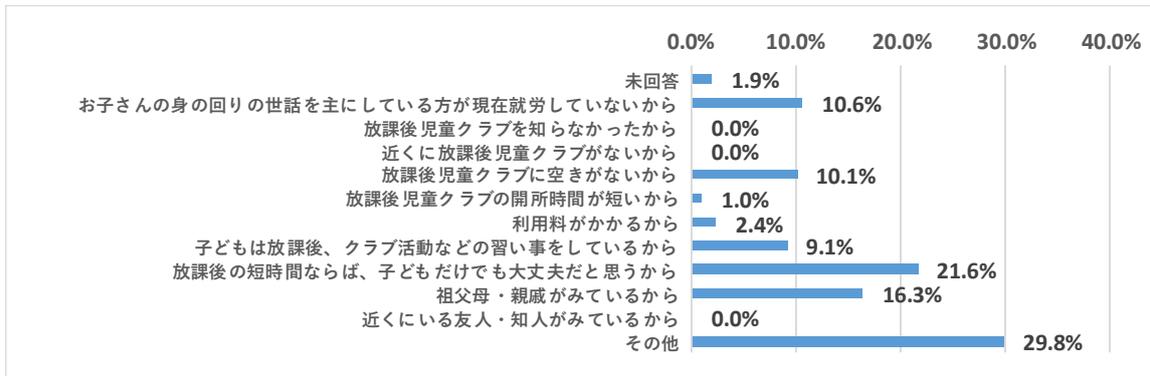


(4) 放課後児童クラブ（利用していない方のみ）

問17 放課後児童クラブを利用していない理由はなんですか。

「その他」が29.8%と最も多く、次いで「放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから」が21.6%となっています。

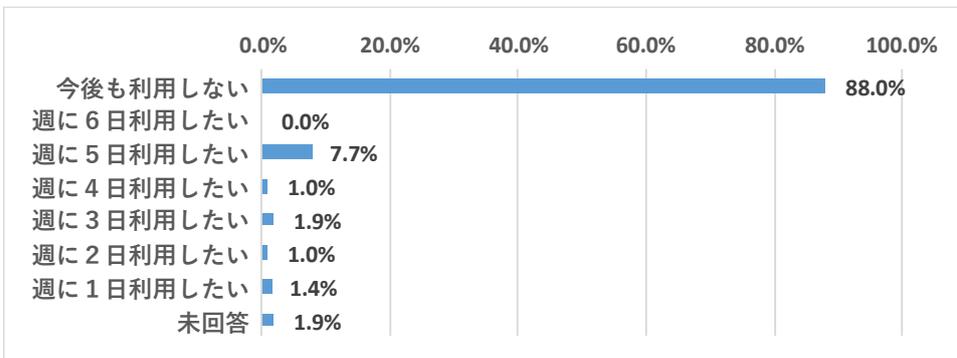
(n=208)



(1) 今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。

「今後も利用しない」が88.0%と最も多くなっています。

(n=208)



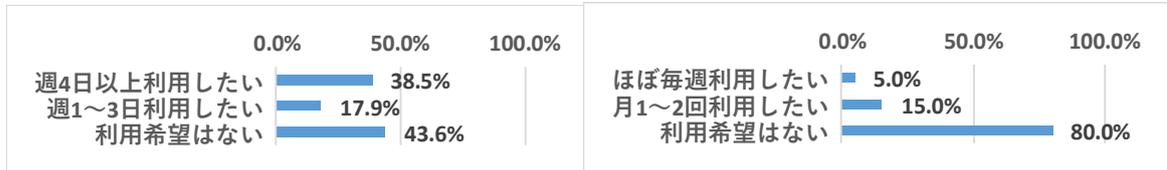
問18 問17（1）で「1. 利用したい」を答えた方に伺います。放課後児童クラブの利用希望の頻度をお答えください。

「平日」及び「長期休暇中」が多くなっています。

(n=27)

【平日】

【土曜日】



【日曜・祝日】

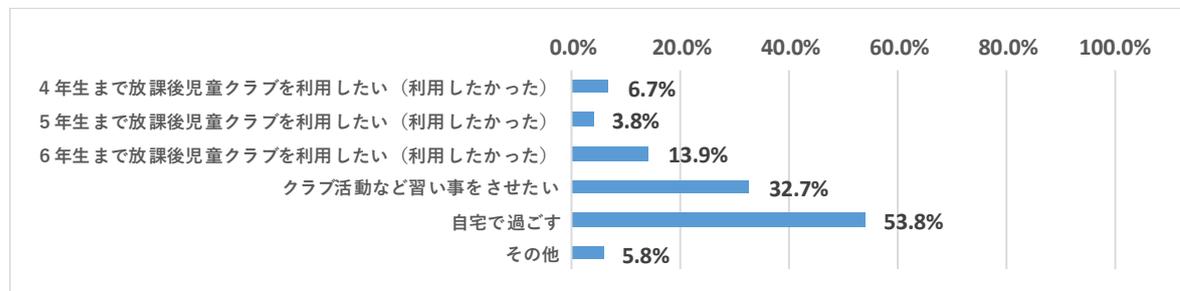
【長期休暇中】



問19 調査対象のお子さんについて伺います。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。（2つ以内）

「自宅で過ごす」が53.8%と最も多く、次いで「クラブ活動など習い事をさせたい」が32.7%となっています。

(n=208)

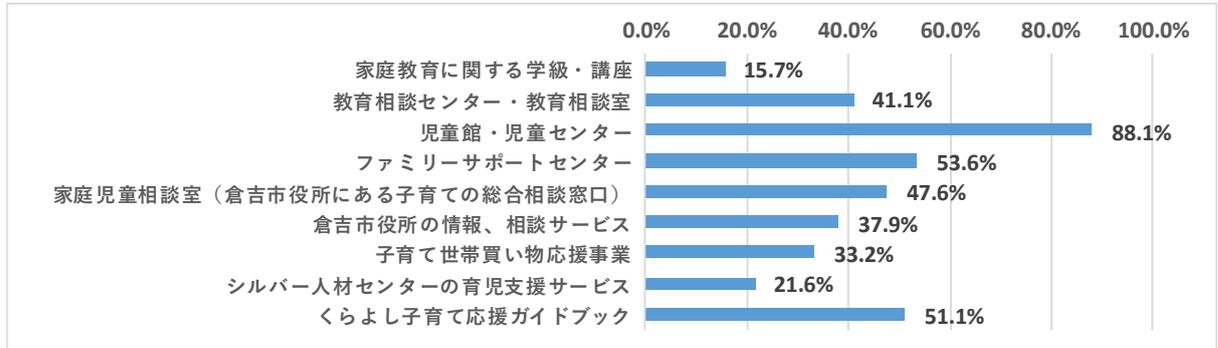


(5) 子育て全般

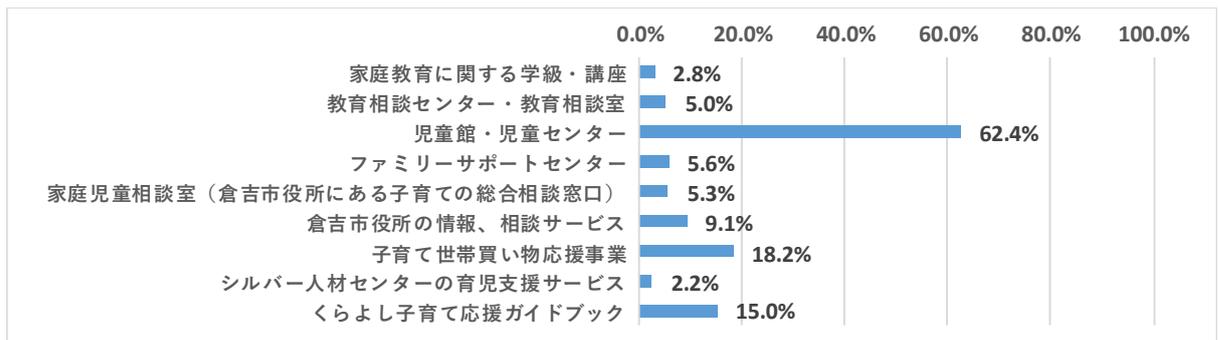
問20 子育て支援事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。（いくつでも）

「知っている」の平均は43.3%となっています。児童館・児童センターが88.1%でもっとも多くなっています。

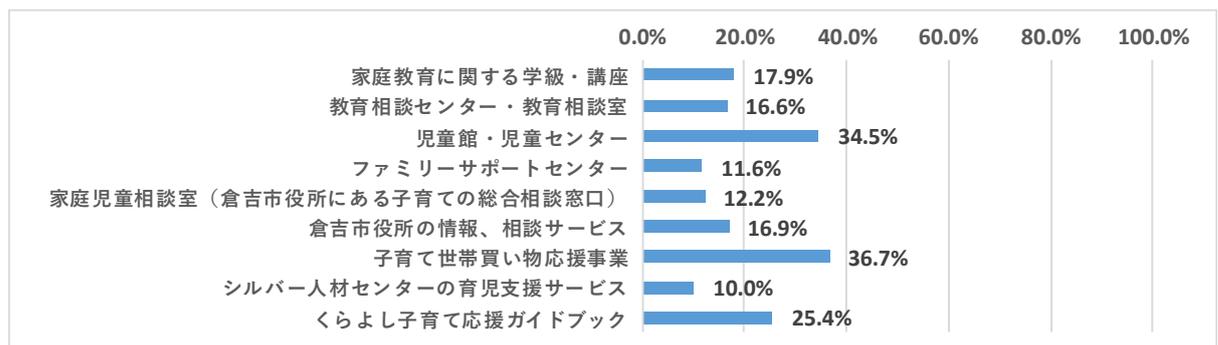
<知っている> (n=319)



<利用したことがある> (n=319)



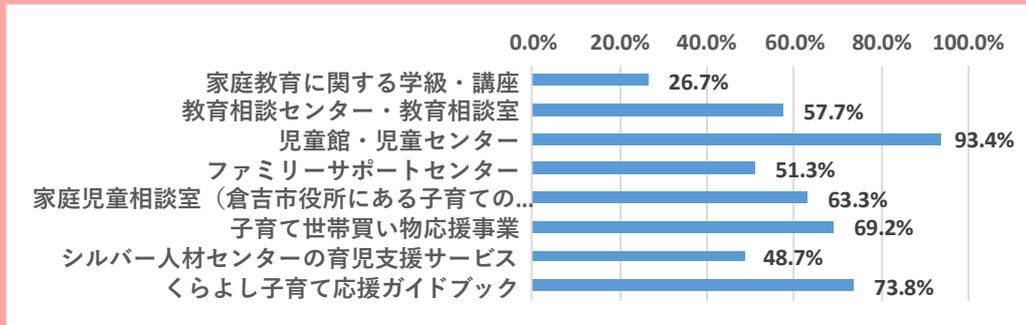
<今後利用したい> (n=319)



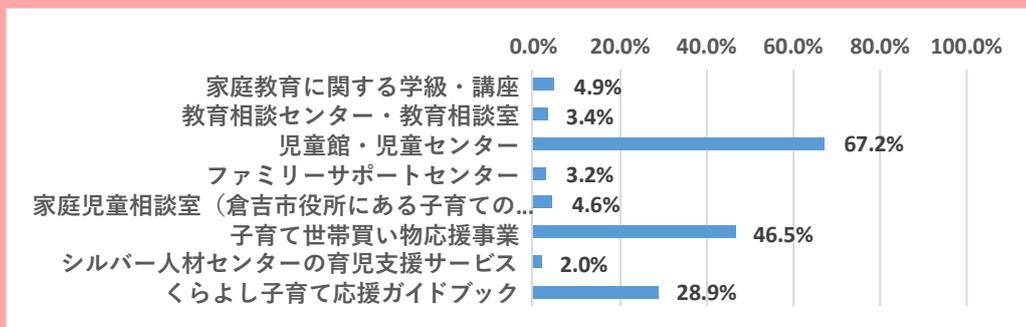
<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

「知っている」は全体的に減少しています。「利用したことがある」は全体的に減少しています。「今後利用したい」は全体的に減少しています。

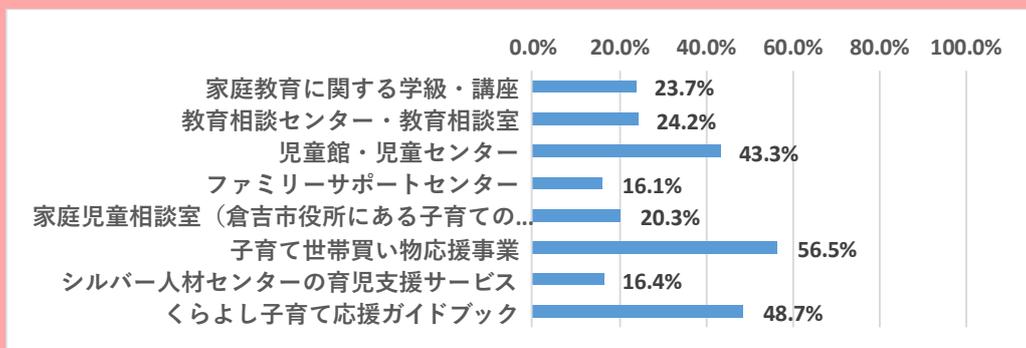
<知っている>



<利用したことがある>



<今後利用したい>

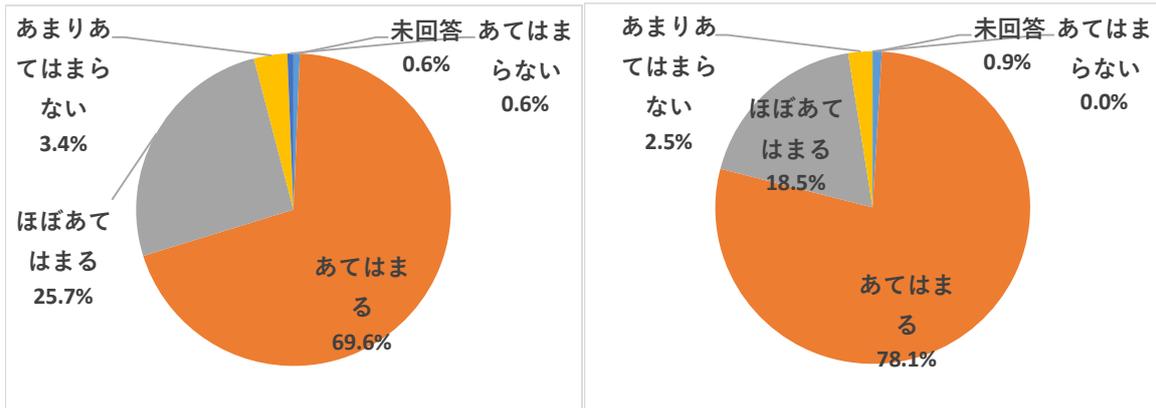


問21 子育てに関して普段感じていることについて、最もあてはまるものを選んでください。

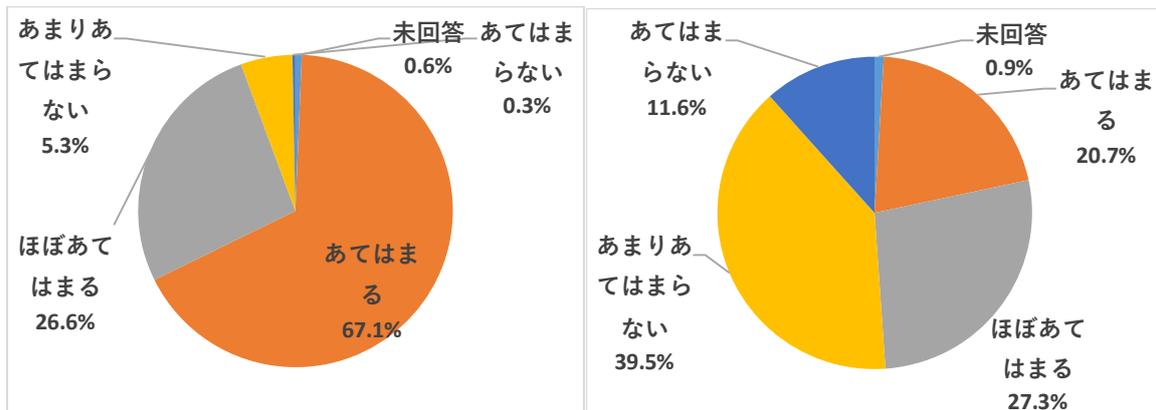
「①子どもがいると生活が楽しく豊かになる」「②子育てを通じて自分も成長すると思う」「③子どもは心のやすらぎや生きがいを与えてくれると思う」については、それぞれ「あてはまる」がもっとも多くなっています。

(n=319)

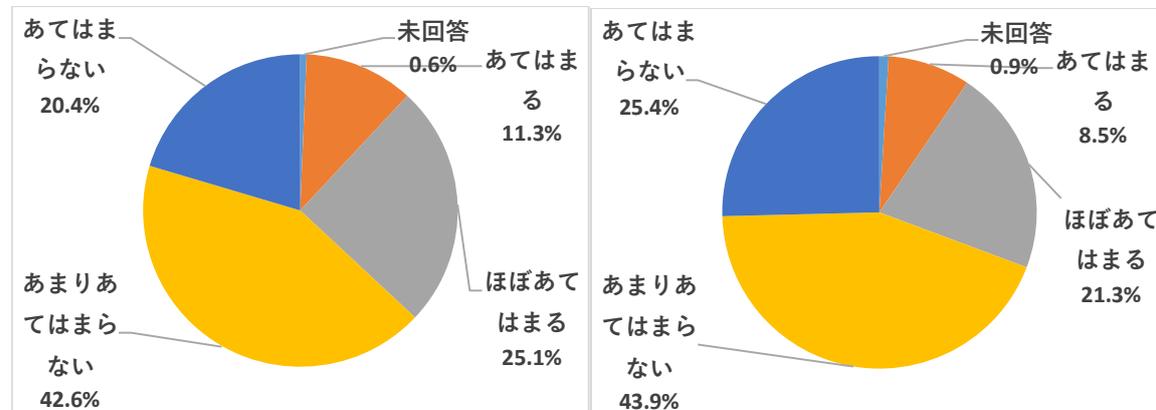
①子どもがいると生活が楽しく豊かになる ②子育てを通じて自分も成長すると思う



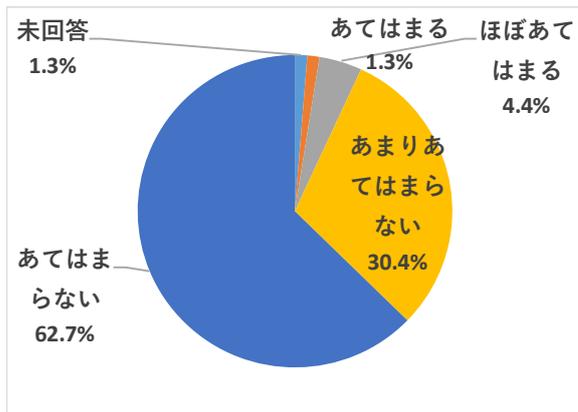
③子どもは心のやすらぎや生きがいを与えてくれると思う ④子育てに対して不安を感じている



⑤仕事や自分のやりたいことができない ⑥子どもがいると生活や気持ちにゆとりがなくなる

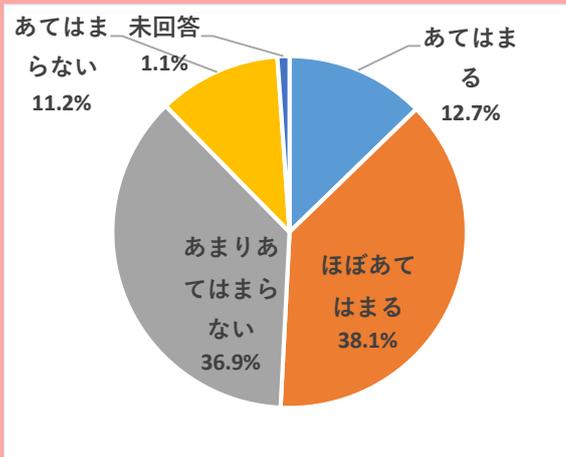


⑦子どもを虐待しているのではないかと思う



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

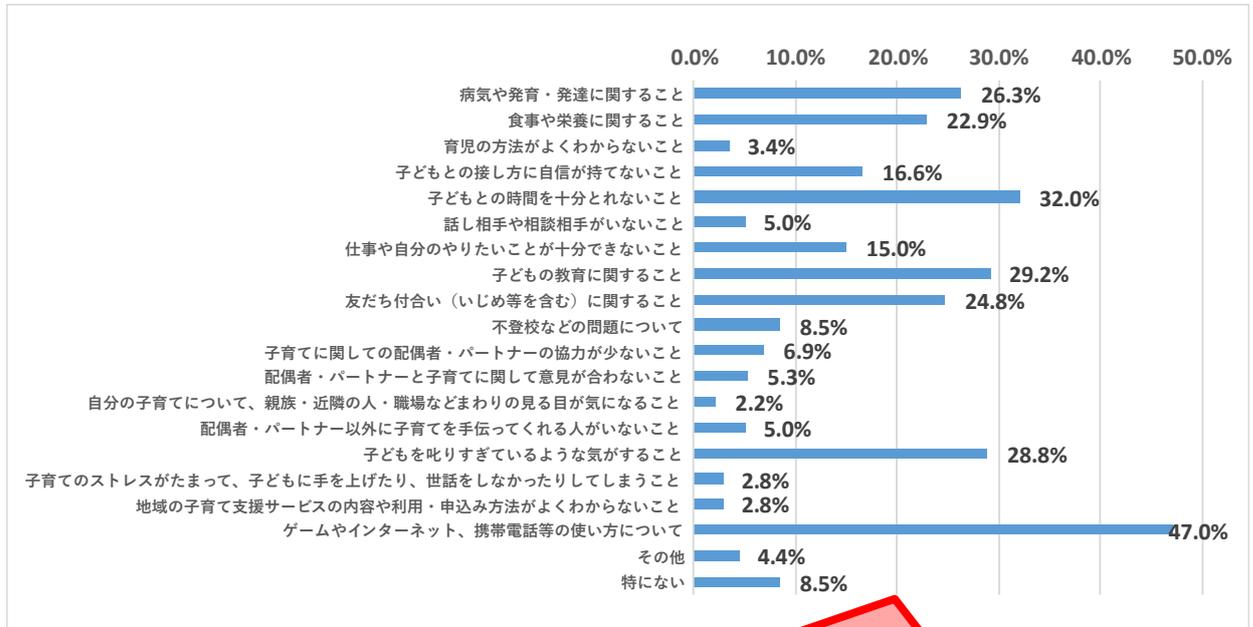
「④子育てに対して不安に感じている」は「あてはまる」「ほぼあてはまる」の合計が減少しています。



問22 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。（5つ以内）

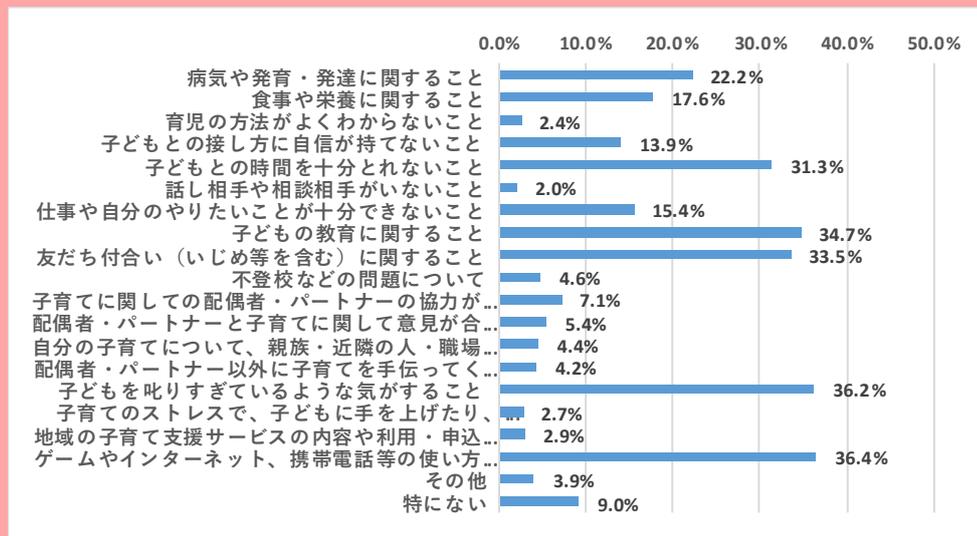
「ゲームやインターネット、携帯電話等の使い方について」が47.0%と最も多く、次いで「子どもとの時間を十分とれないこと」が32.0%となっています。

(n=319)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

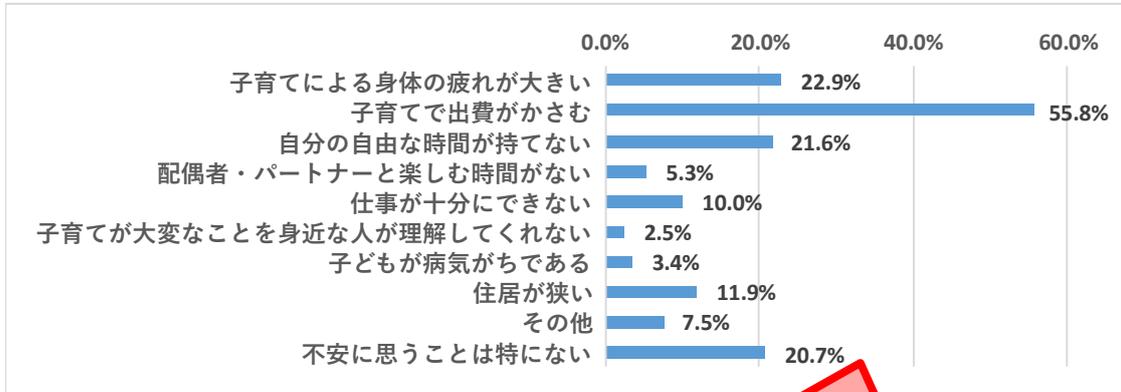
「子どもとの時間を十分とれないこと」「不登校の問題について」「ゲームやインターネット、携帯電話等の使い方について」が増加しています。



問23 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。（3つ以内）

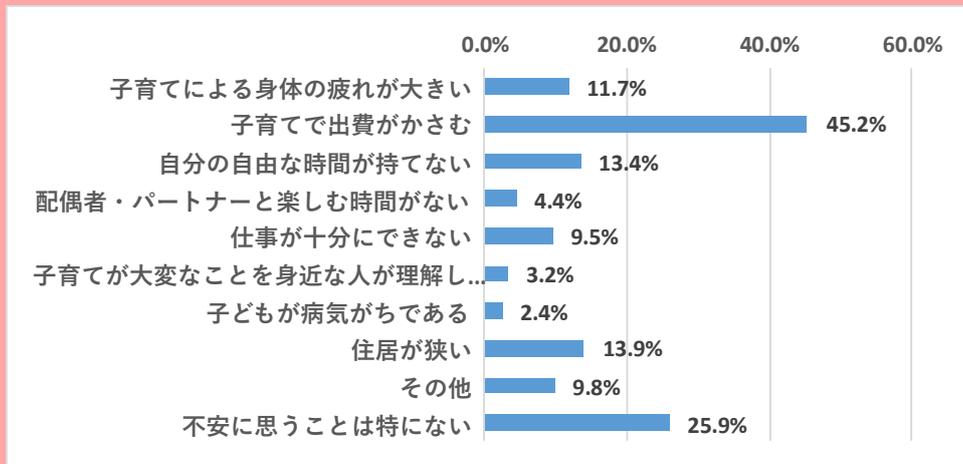
「子育てで出費がかさむ」が55.8%と最も多く、次いで「子育てによる身体の疲れが大きい」が22.9%となっています。

(n=319)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

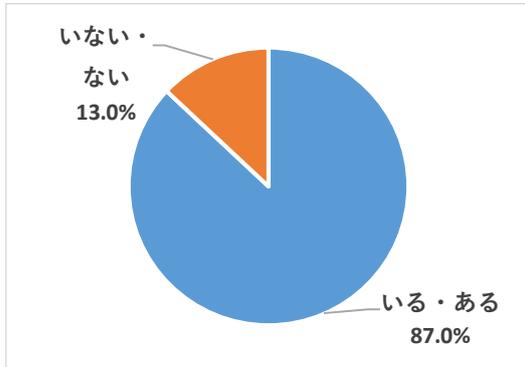
「子育てによる身体の疲れが大きい」「子育てで出費がかさむ」「自分の自由な時間が持てない」が増加しています。



問24 お子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人または、相談できる場所がありますか。

「いる・ある」が87.0%となっています。

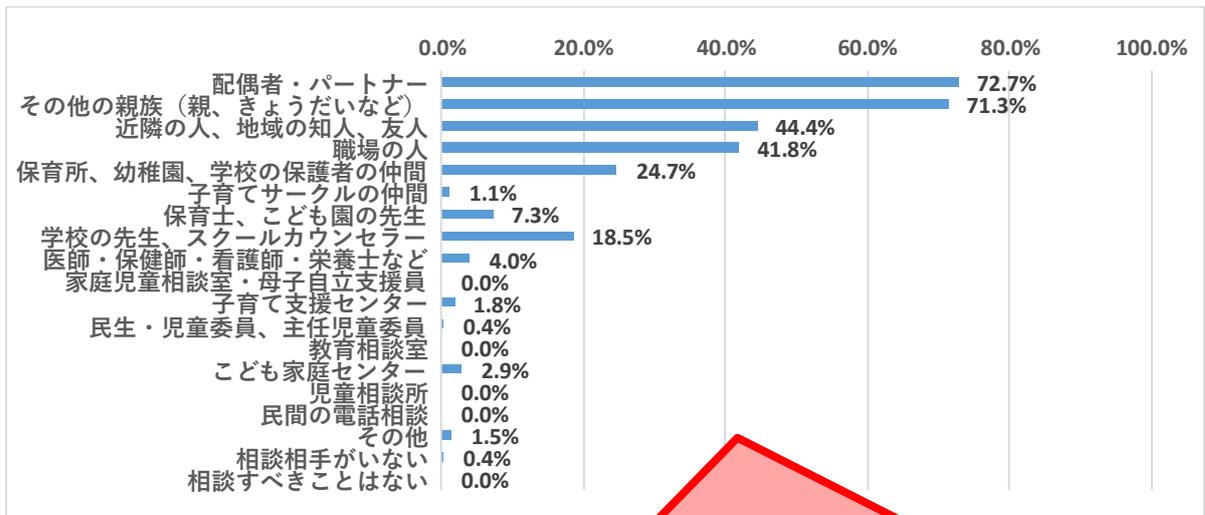
(n=319)



問25 問24で「いる・ある」と回答した方に伺います。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

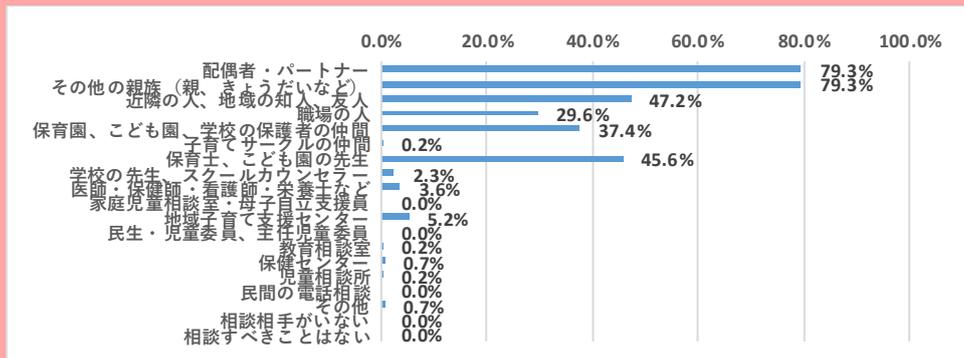
「配偶者・パートナー」が72.7%と最も多く、次いで「その他の親族（親、きょうだいなど）」が71.3%となっています。

(n=275)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

「配偶者・パートナー」「その他の親族」「保育士、こども園の先生」が減少しています。



問26 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。

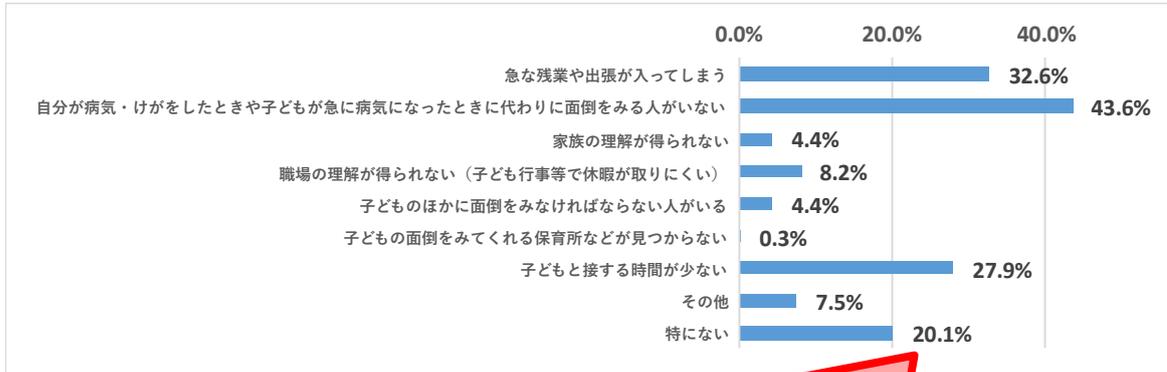
主なご意見を一部記載します。

- ・放課後児童クラブが、学校の児童数に応じた利用人数の設定ではなく、希望数に応じた利用ができる余裕のある人数設定にして欲しい。
- ・話を聞いてもらったり、子どもと親と第3者で話や活動して、親子関係についての意見やアドバイスがもらえたりするとういような気がします。
- ・夏休みにおける児童クラブや児童センターの給食サービスを利用できると夏休みの心配が減り、働くことをもう少し前向きに考えられると思う。
- ・児童クラブの開所時間の延長。全員ではなく、希望者だけでも事前申請で受け入れてもらえると思う。
- ・気軽に相談できる場所や、子どもと一緒に過ごせる場所があると良いです。
- ・平日のクラブ活動などの送迎
- ・夜に学校の役員の会の時は子どもが留守番になってしまう。習い事がある時に、子どものスケジュールが異なるので、1人は放置になってしまう。見てくれる方がいれば助かりますがお金がかかる。
- ・子育て世帯への経済的な支援（土地・家屋購入、定住に結びつくもの）
- ・県外から嫁いでいるため、結婚当初は友達と呼べる人はいなかったが、子どもが生まれ、子育て支援センターを利用したことで、多くの人と出会い、困ったときや悩んでいる時に助け合えたり、相談にのってもらったりしたのでとてもよかった。子どもたちがいる程度大きくなった今でも、その時のコミュニティーが続いているので、いざという時に頼ることができ、感謝している。
- ・放課後に近所で宿題をして帰れる場所と人的環境があればいいなと思います。
- ・発達障害がある子供の学校から学童への送り迎えがあるとありがたい。
- ・急用の時に預けれる場所があったらいいと思う
- ・子育て支援金があればありがたい。小学生以上のインフルエンザの予防接種の助成などをお願いしたい。
- ・子供との時間がとれるように大人の職場でふれあい休暇があるとよい。
- ・子どもの料理、ソーイング教室などがあるとありがたいです。
- ・塾や習い事のお金の支援。
- ・休日や夜間に公的（PTA、地域活動、子供会など）な集まりで呼び出すのを減らしたり、オンラインにしたりして欲しい。時間を奉仕で取られるのは非常に時代遅れと感じる。
- ・学校諸費の軽減、（給食費、学年費など）習い事などに出かける時の交通費の補助、中学に行くようになってバス、電車で出かけるしかないが交通費が高いので困る。中部は学力も低いと言われてるが、学力を高める手だてをしてほしい。
- ・不登校はお金と年月がかかるので、それを少しでも軽くできる制度と不登校の親の繋がりがほしいと感じます。
- ・児童館に子どもを遊ばせている間に、親は別室で過ごせるようにする（母親同士がコミュニケーションとれるような空間）。
- ・無料のイベントを休日にはたくさん行ってほしい。

問27 仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じるのはどのようなことですか。
(いくつでも)

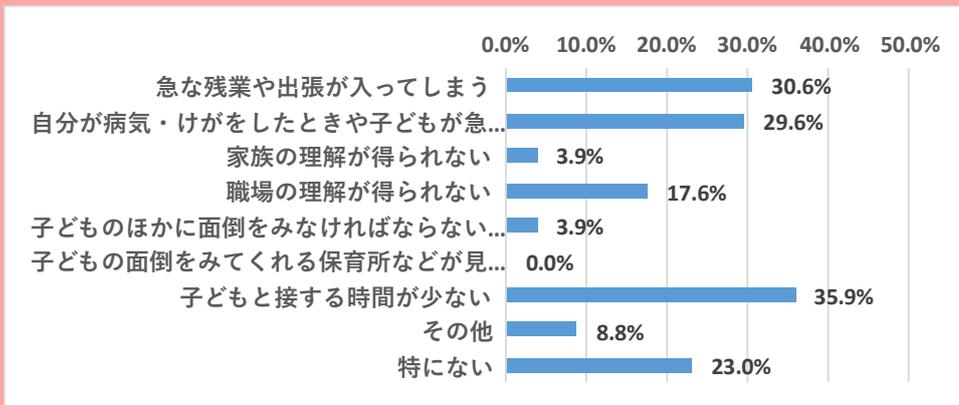
「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない」が43.6%ともっとも多く、次いで「急な残業や出張が入ってしまう」が32.6%となっています。

(n=319)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

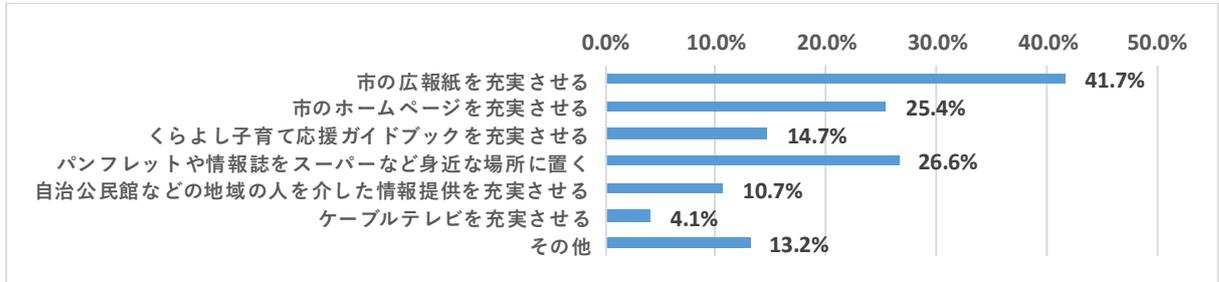
「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに代わりに面倒をみる人がいない」が増加しています。



問28 倉吉市の子育てに関する情報提供についてどのようにしたら届くと思われ
ますか。（いくつでも）

「市の広報紙を充実させる」が41.7%ともっとも多く、次いで「パンフレットや情報誌をスーパーなど身近な場所に置く」が26.6%となっています。

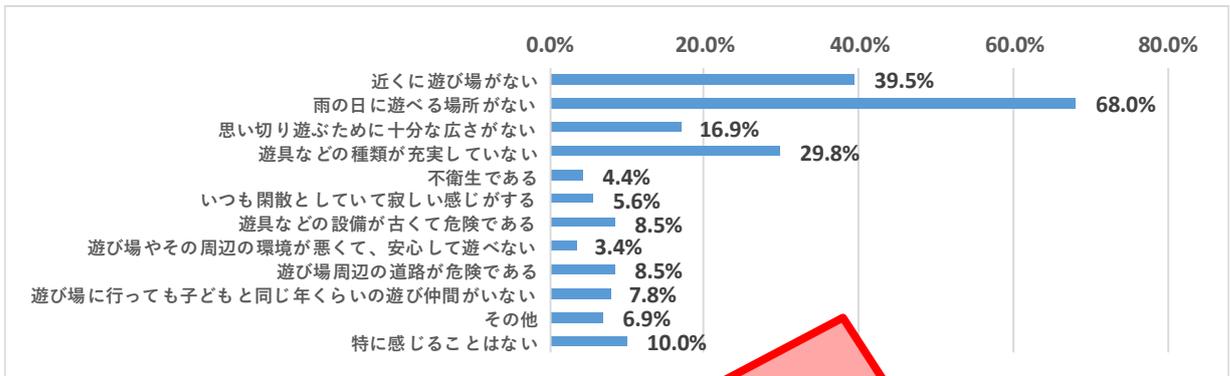
(n=319)



問29 家の近くの子どもの遊び場について日頃どのように感じていますか。（3つ以内）

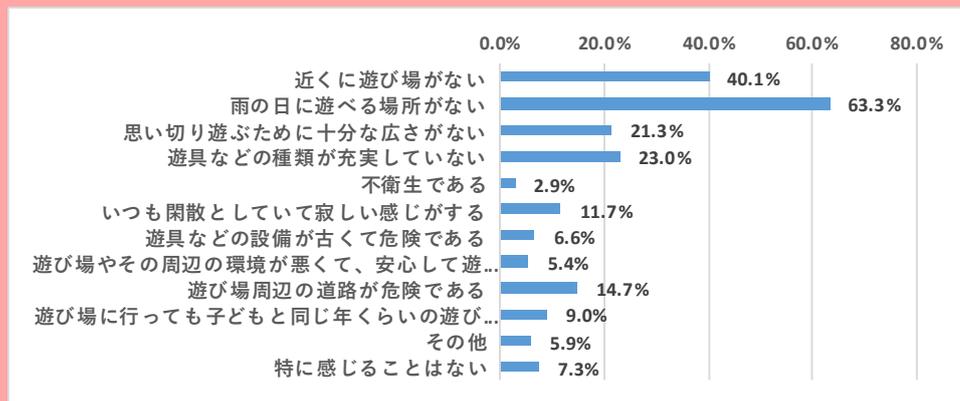
「雨の日に遊べる場所がない」が68.0%ともっとも多く、次いで「近くに遊び場がない」が39.5%となっています。

(n=319)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

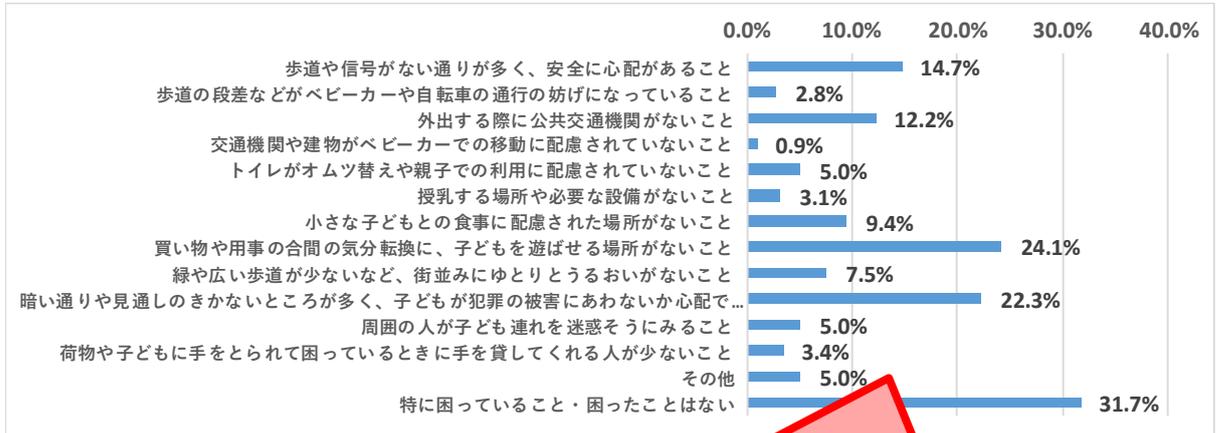
「近くに遊び場がない」が減少し、「雨の日に遊べる場所がない」「遊具などの設備が古くて危険である」が増加しています。



問30 子どもとの外出の際、困ること・不安なこと・心配なことはどのようなことですか。（3つ以内）

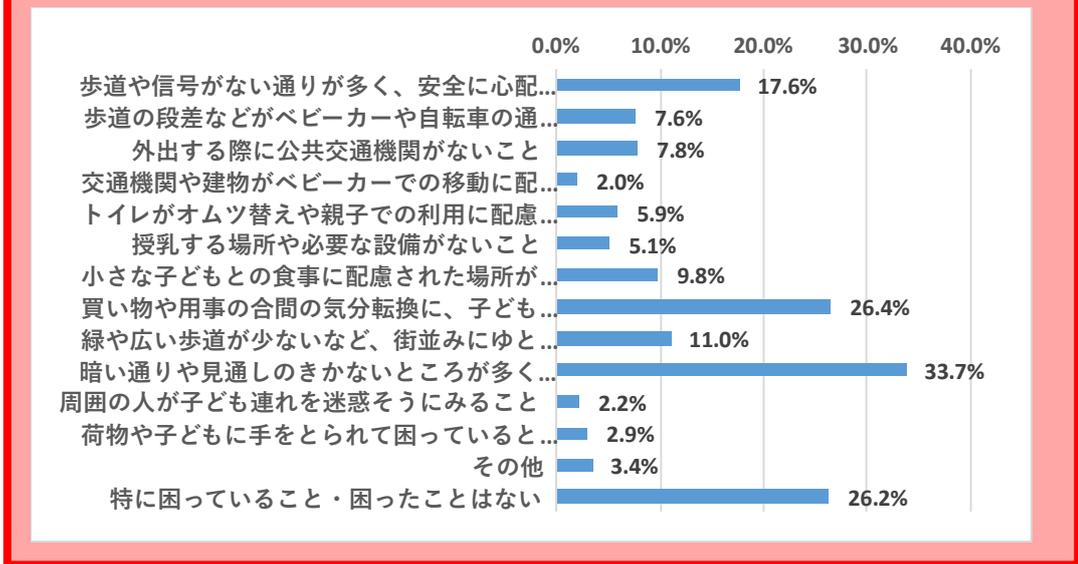
「特に困っていること・困ったことはない」が31.7%ともっとも多く、次いで「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」が24.1%となっています。

(n=319)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

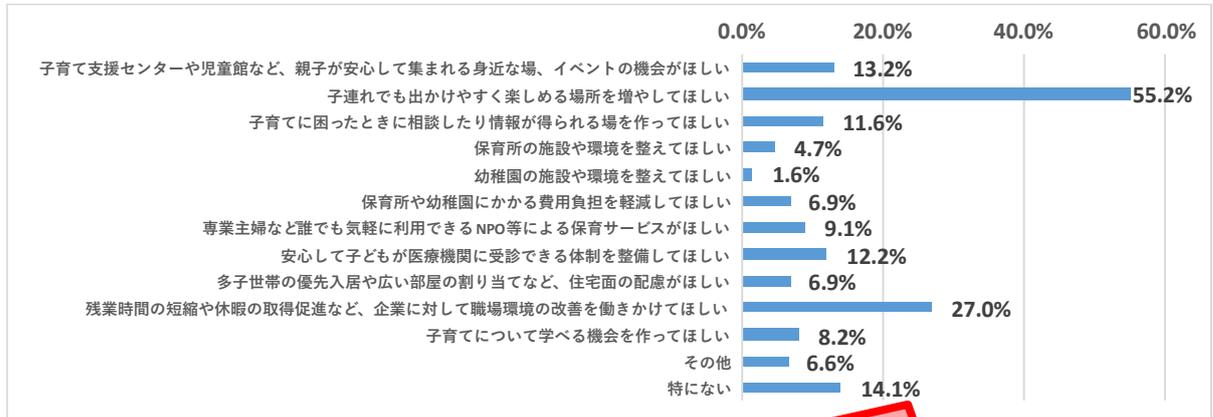
「外出する際に公共交通機関がないこと」が増加しています。



問3 1 倉吉市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと思いますか。（3つ以内）

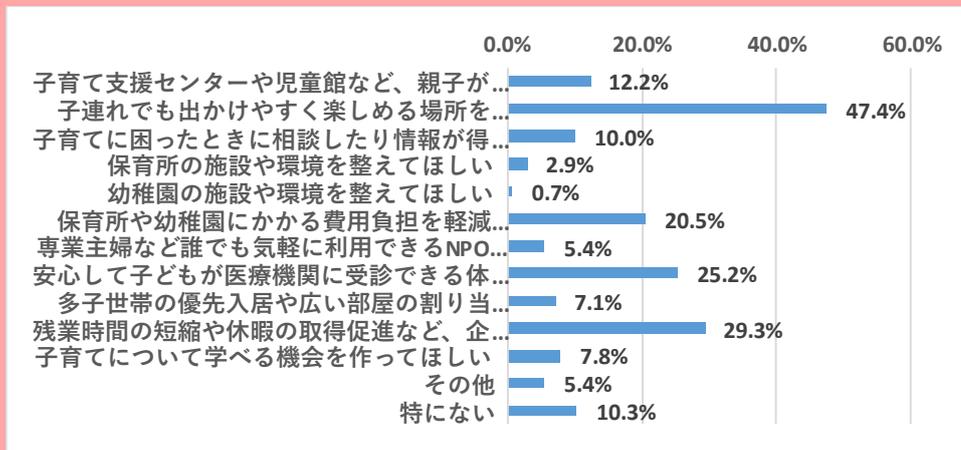
「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が55.2%ともっとも多く、次いで「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」が27.0%となっています。

(n=319)



<参考：平成25年10月のニーズ調査との比較>

「子育て支援センターや児童館など、親子が安心して集まれる場、イベントの機会がほしい」「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が増加しています。



問3 2 倉吉市の子育て支援等について感じていることがありましたらご自由にお書きください。

主なご意見を一部記載します。

- ・もっと子供が遊べる環境を作って欲しい。公園自体少ない。
- ・子育ての総合案内があると相談しやすいです。こんなことで相談していいのか迷う時があるので、気軽に聞ける窓口があると利用しやすくなると思います。

<つつき>

- ・子育て支援課にいくといつも優しく丁寧に接していただけるので嬉しいです。市職員にも子育て真っ最中の母親父親がたくさん居られるはず。そういう若い世代の意見やアイデアが通る職場にして欲しいです。
- ・医療の無料化は大変ありがたいです。
- ・田舎で暗くて外灯がない所が多い。
- ・子供だけでも安心して体験できるイベントや学びの場があればうれしい。
- ・企業に対して、社会に対して、もっと親子の時間を増やす取り組みをしてほしいです。
- ・家族と共に、家族以外の地域の皆で子どもを育てていく仕組みを作って欲しい。
- ・働きたいのに、子供がまだ小さいから～と働くことに制限をかけられる感じがどうかと思う。
- ・保育園や小学校の再編については、より迅速に思い切った舵切りが必要だと思う。
- ・湯梨浜町みたいに、子育てに特化した経済支援、政策、補助金制度をもっと充実するべき。
- ・色々情報を発信してくださってますが、自分が必要とする子育ての情報が、なかなか探せない事があるので、もっと検索しやすいようにしていただけると助かります。
- ・妊娠時や出産後のサポートはあったが死産時にはなかった。相談出来る相手もなく、市役所へ届出た際にカウンセラーなど相談窓口の案内があれば良いと思う。
- ・物価もどんどん高騰しているのに給料はあまり上がらず、育ち盛りの子どもを育てるのは正直しんどいです。児童扶養手当の収入対象ラインを引き下げただけだとありがたいです。
- ・図書館や児童館など利用しやすく助かっています。このようなアンケートをして声を聞こうとしてもらえることに感謝しております。ありがとうございます。

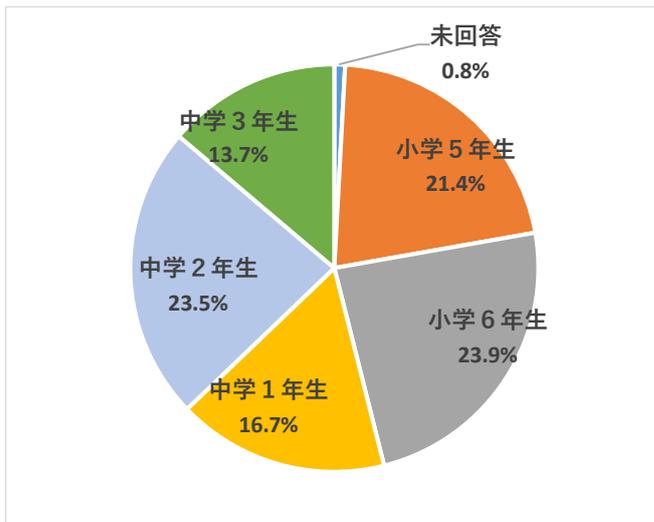
3 こどもの意見を聞くためのアンケート調査

(1) 回答者の属性

問1 あなたの学年をえらんでください。

「小学6年生」が23.9%ともっとも多く、次いで「中学2年生」が23.5%となっています。

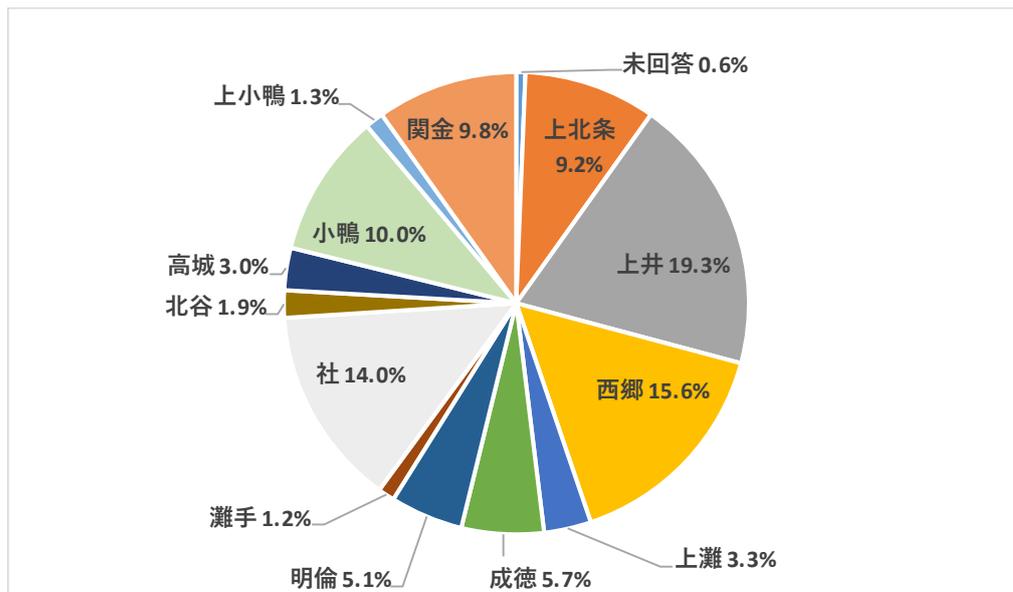
(n=946)



問2 あなたの住んでいる地区はどこですか。

「上井地区」が19.3%ともっとも多く、次いで「西郷地区」が15.6%となっています。

(n=946)

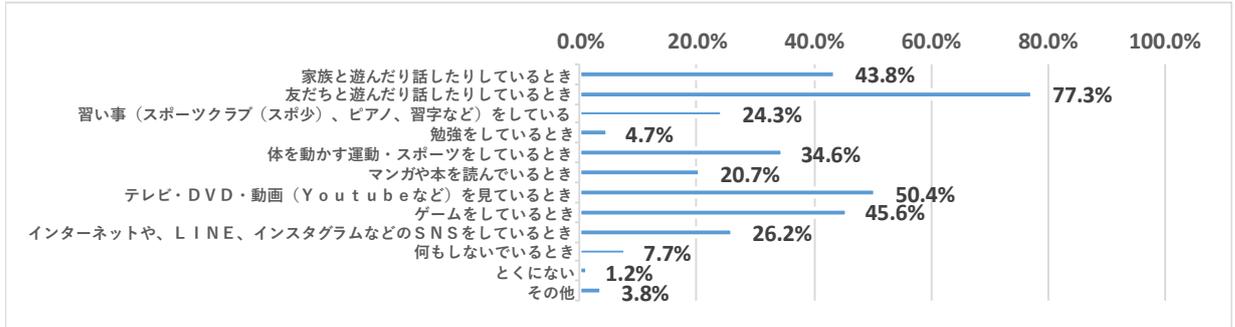


(2) 生活状況

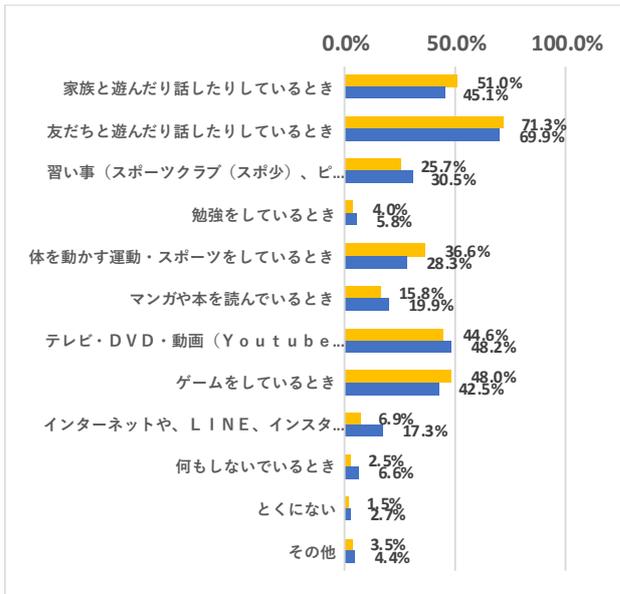
問3 毎日の生活の中で楽しいと思うときはどんなときですか。(3つまで)

「友だちと遊んだり話したりしているとき」が77.3%と最も多く、次いで「テレビ・DVD・動画（Youtubeなど）を見ているとき」が50.4%となっています。学年別にみても、同様の傾向があります。

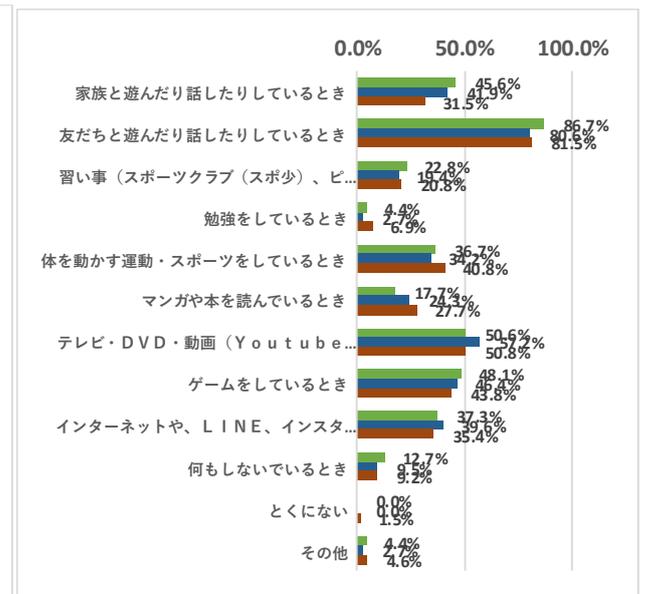
(n=946)



<小学生> (上から5、6年生)



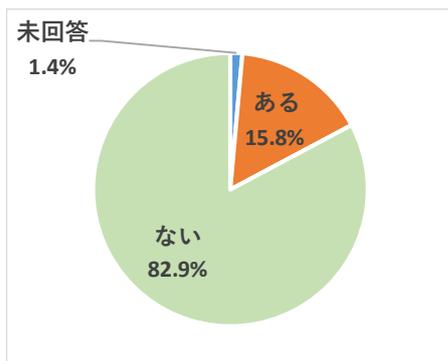
<中学生> (上から1, 2, 3年生)



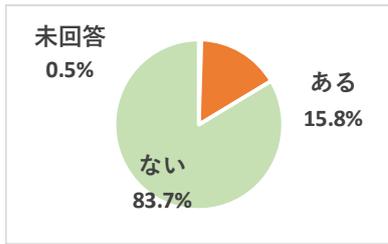
問4 今、こまっていることや、なやんでいることはありますか。

「ない」が82.9%と最も多くなっています。学年別でみると、「ある」と回答した割合が最も多かったのは中学2年生となっています。

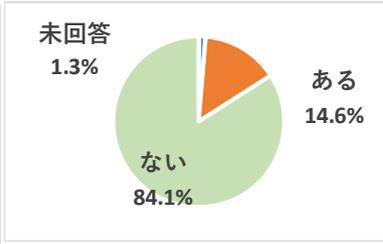
(n=946)



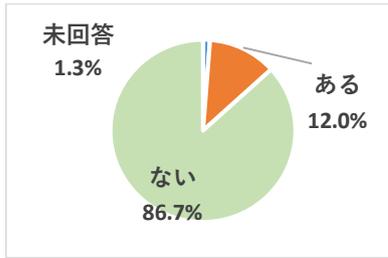
<小学5年生>



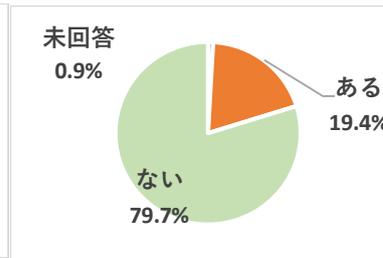
<小学6年生>



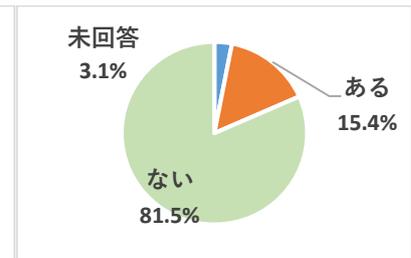
<中学1年生>



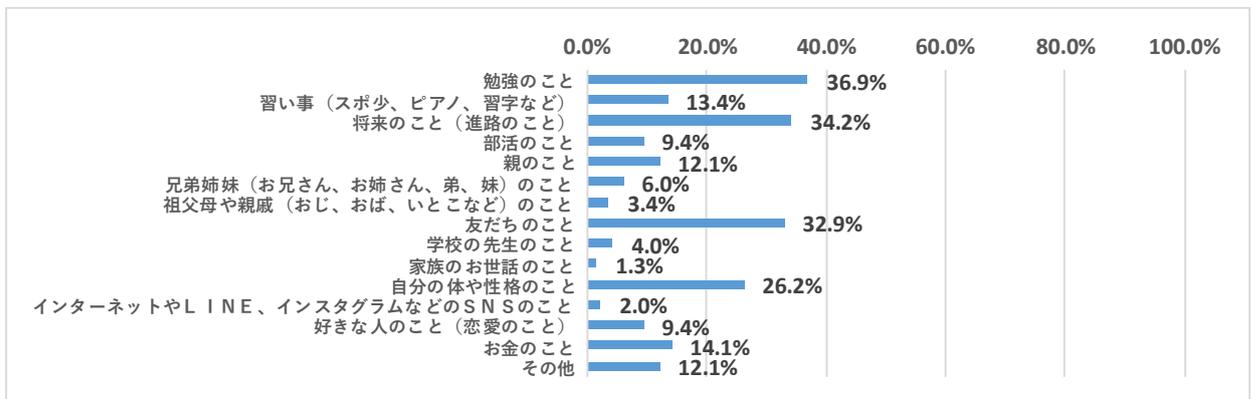
<中学2年生>



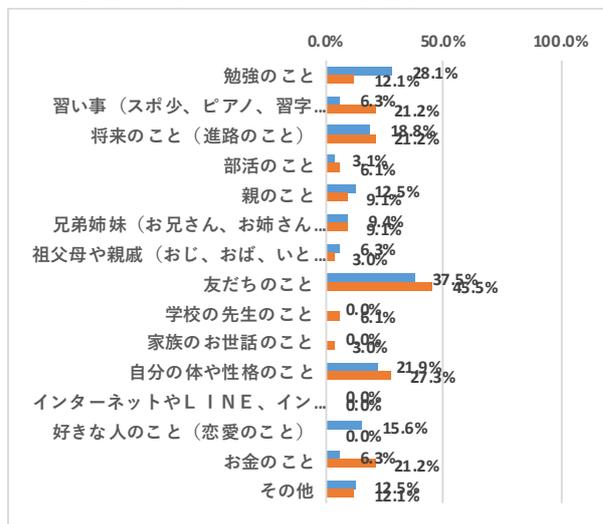
<中学3年生>



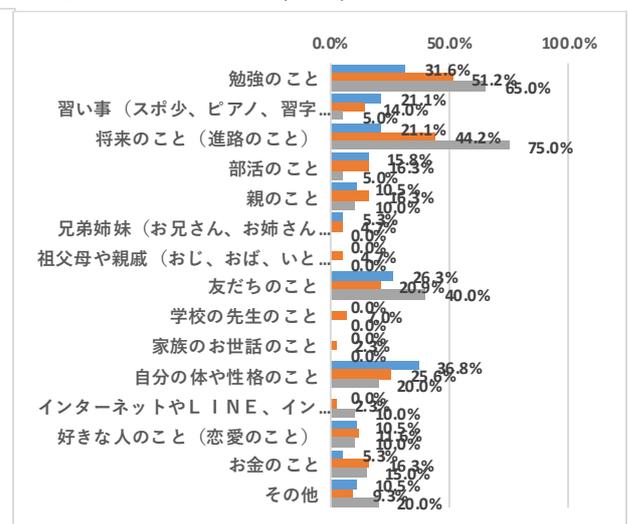
問5 問4で「ある」と答えた方にうかがいます。それはどんなことですか。(3つまで)
「勉強のこと」が36.9%ともっとも多くなっています。学年別でみると、小学生は「友だちのこと」がもっとも多く、中学生は「勉強のこと」が多くなっています。
(n=149)



<小学生> (上から5、6年生)



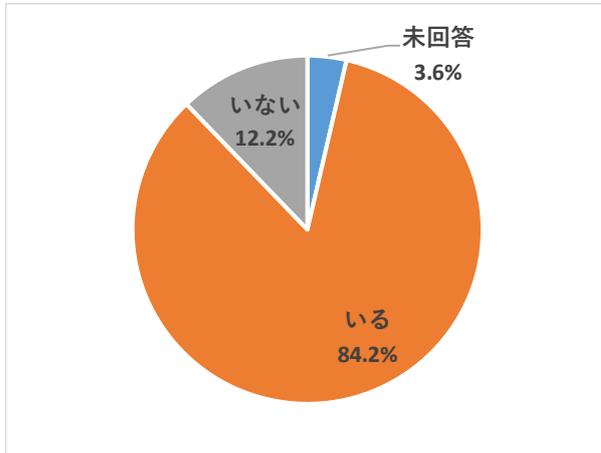
<中学生> (上から1、2、3年生)



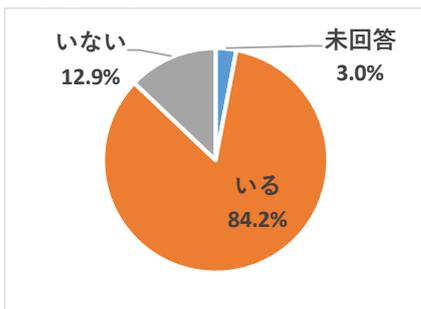
問6 こまっている時や、なやんでいる時に相談できる人はいますか。

「いる」が84.2%となっています。学年別でみると、「いる」と回答した割合がもっとも多かったのは中学1年生となっています。

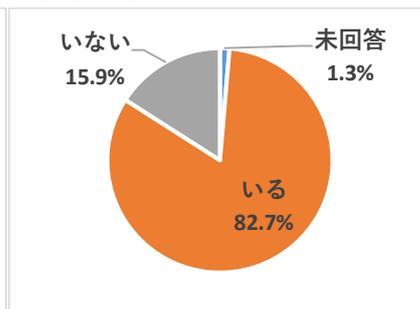
(n=946)



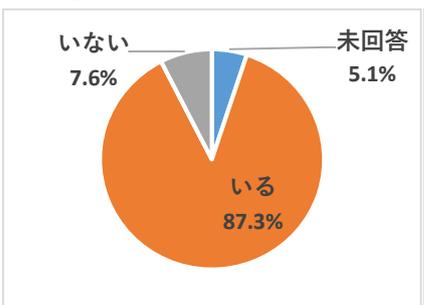
<小学5年生>



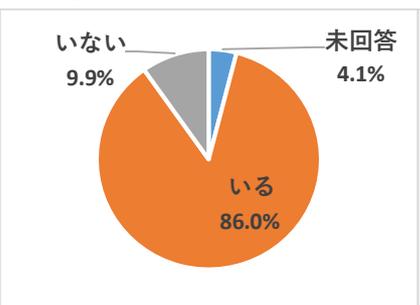
<小学6年生>



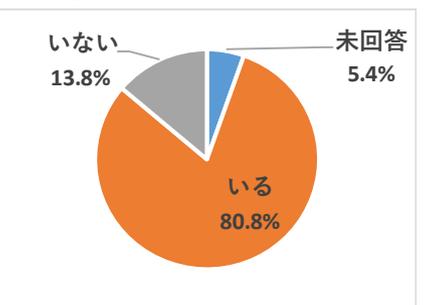
<中学1年生>



<中学2年生>



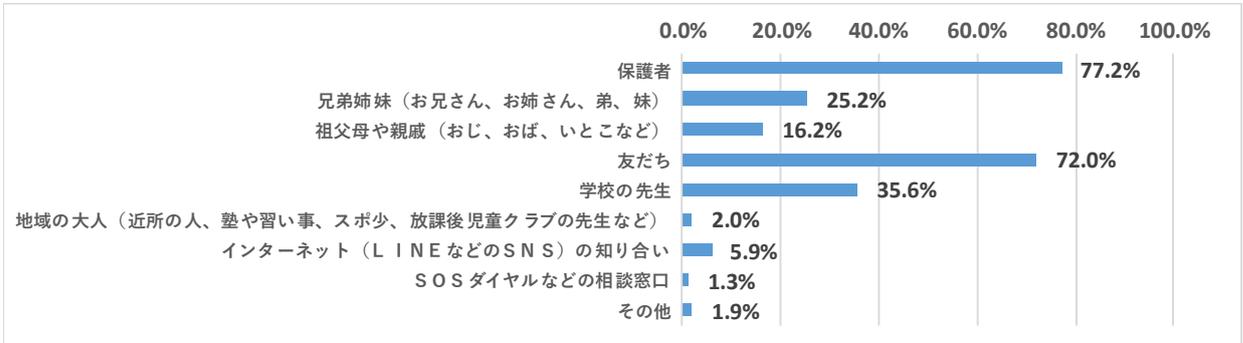
<中学3年生>



問7 問6で「いる」と答えた方にうかがいます。それはだれですか。(3つまで)

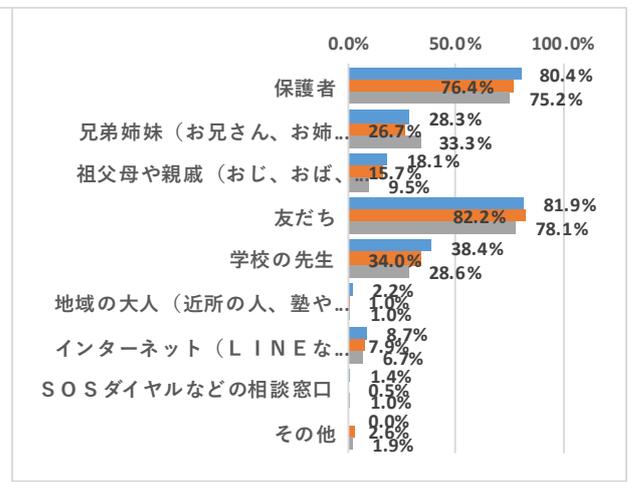
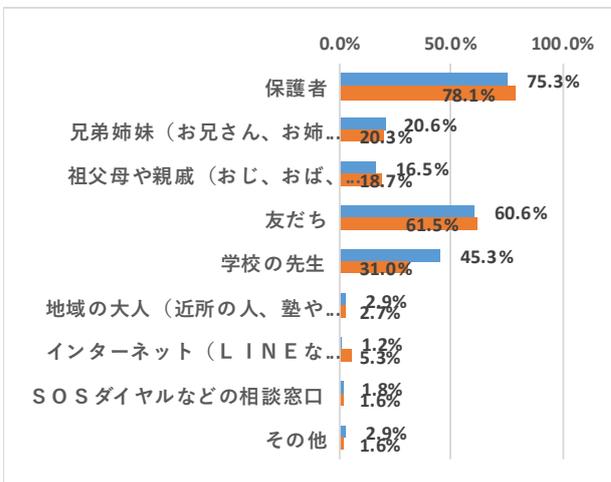
「保護者」が77.2%ともっとも多くなっています。学年別でみると、小学生は「保護者」がもっとも多く、中学生は「保護者」「友だち」が多くなっています。

(n=797)



<小学生> (上から5、6年生)

<中学生> (上から1, 2, 3年生)

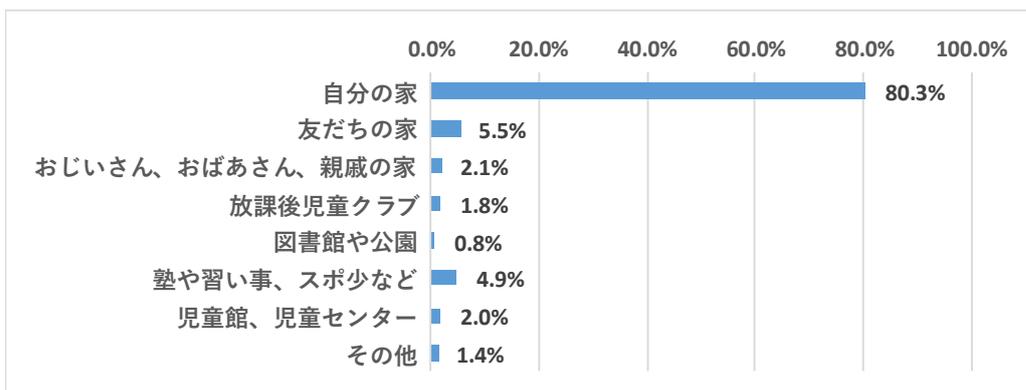


(3) 放課後の過ごし方

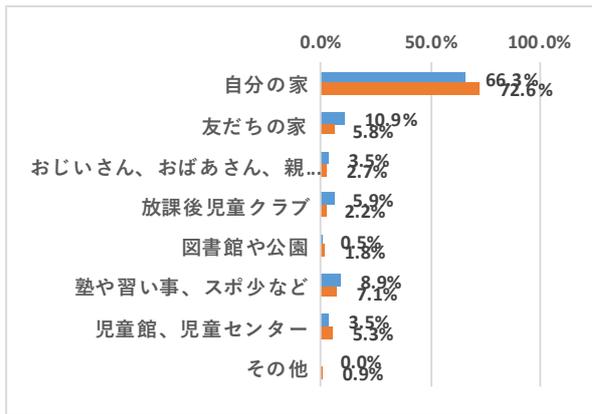
問8 学校がおわった後はどこで、何をしてすごしていますか。(3つまで)

「自分の家」が80.3%ともっとも多くなっています。学年別でみると、「自分の家」の割合は中学2年生がもっとも多くなっています。

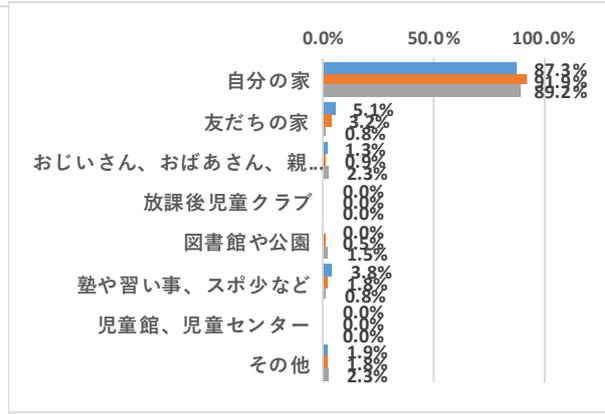
【どこで】(n=946)



<小学生> (上から5、6年生)

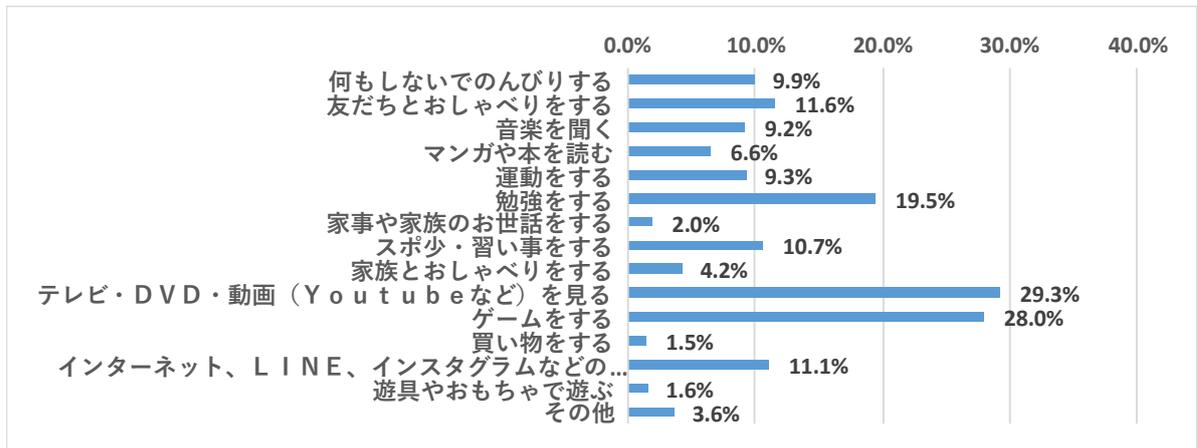


<中学生> (上から1, 2, 3年生)

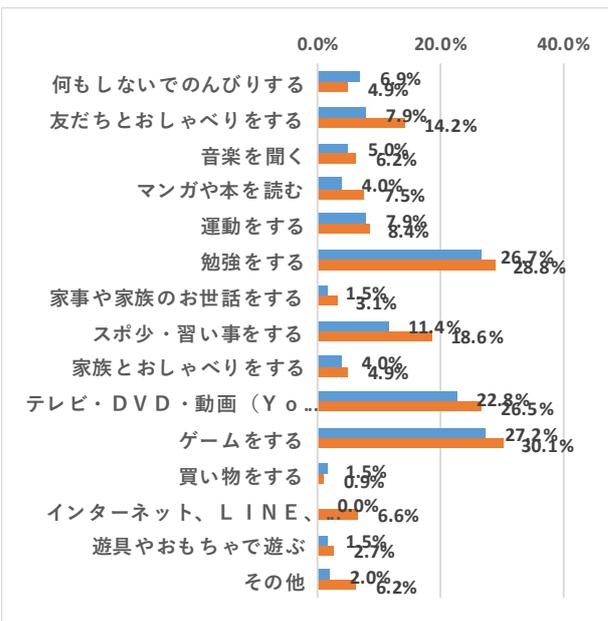


「テレビ・DVD・動画（Youtubeなど）を見る」が29.3%と最も多くなっています。学年別でみると、小学生は「ゲームをする」、中学生は「テレビ・DVD・動画（Youtubeなど）を見る」の割合が最も多くなっています。

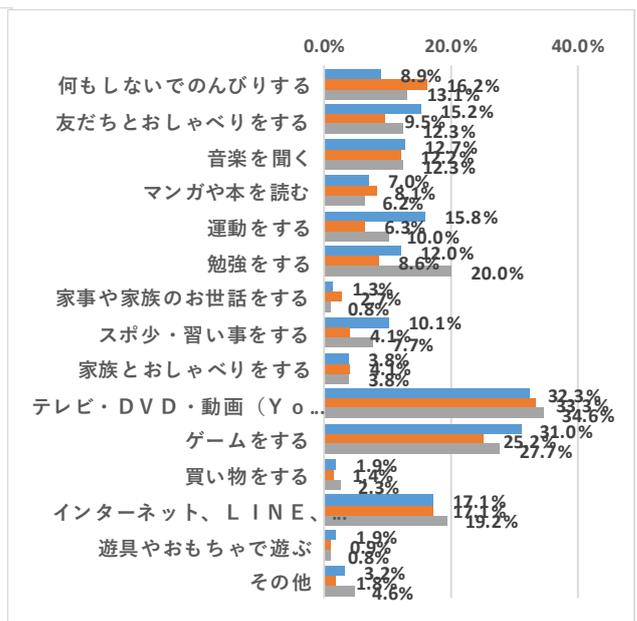
【なにを】(n=946)



<小学生> (上から5、6年生)



<中学生> (上から1, 2, 3年生)

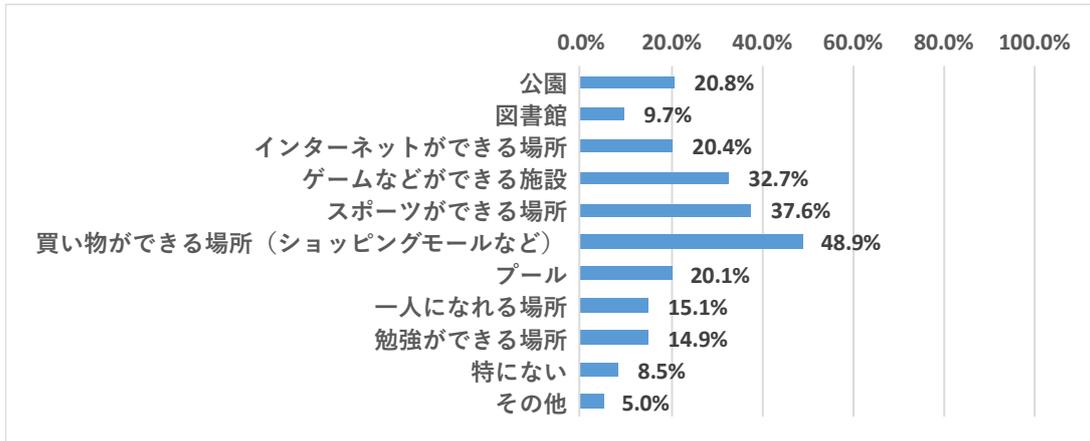


(4) こどもの居場所

問9 「こんな場所、ものがあっていいな」と思うことがあれば教えてください。(3つまで)

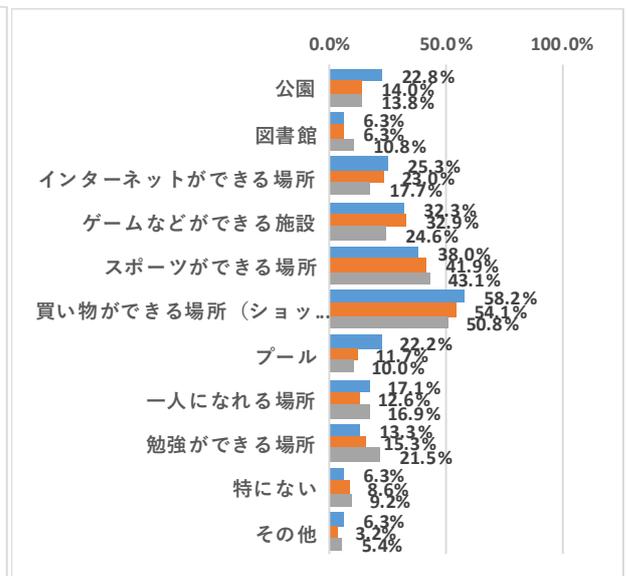
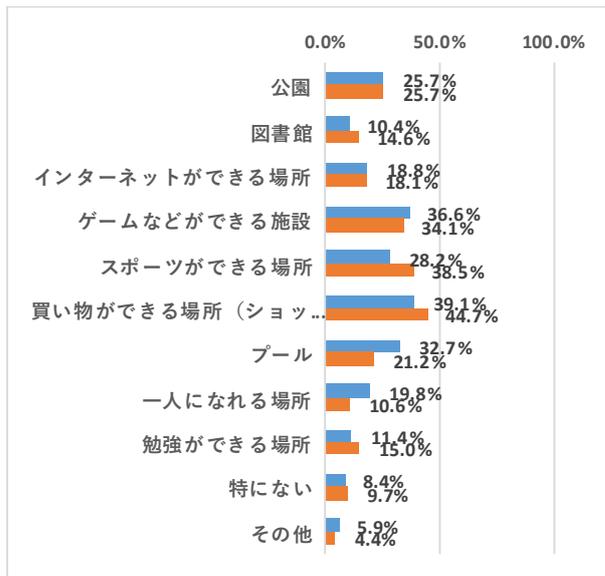
「買い物ができる場所(ショッピングモールなど)が48.9%と最も多く、次いで「スポーツができる場所」が37.6%となっています。

(n=946)



<小学生> (上から5、6年生)

<中学生> (上から1、2、3年生)

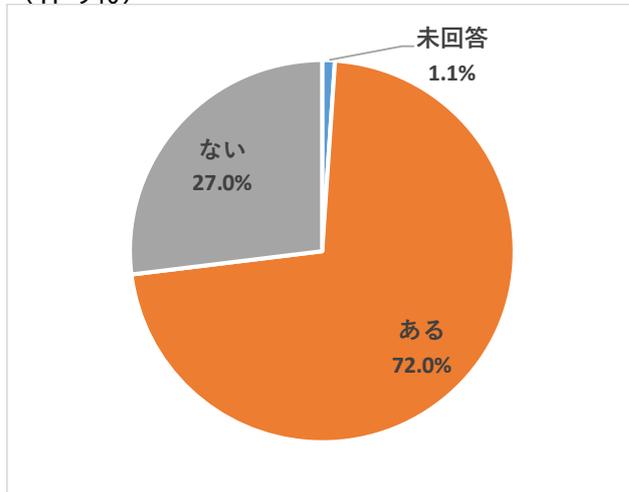


(5) 将来のこと

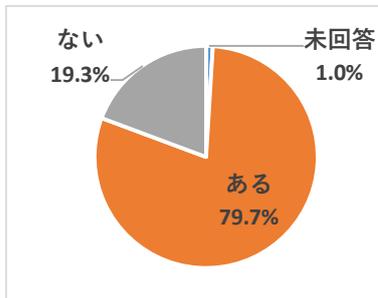
問10 しょうらいこんなことがしたい、こんな人になりたい、こうなりたいというゆめがありますか

「ある」が72.0%となっています。学年別でみると、「ある」と回答した割合がもっとも多かったのは小学5年生となっています。

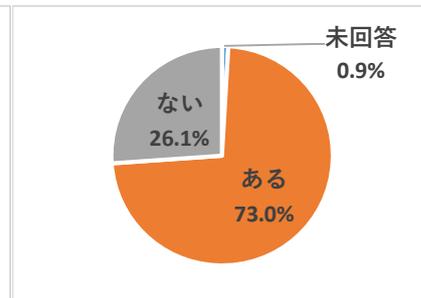
(n=946)



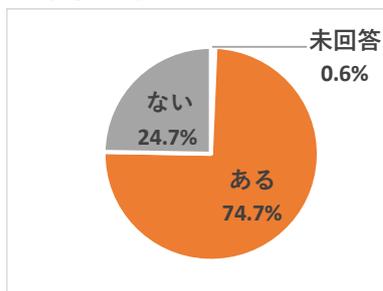
<小学5年生>



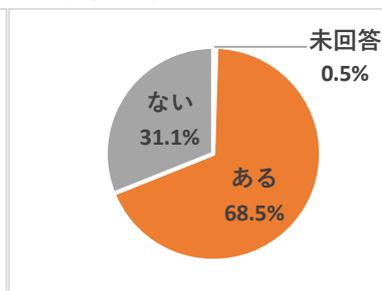
<小学6年生>



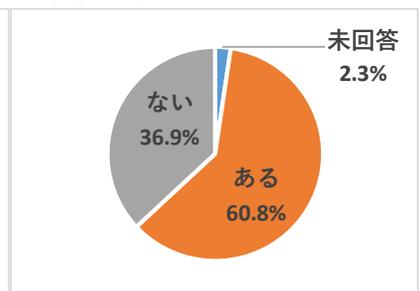
<中学1年生>



<中学2年生>

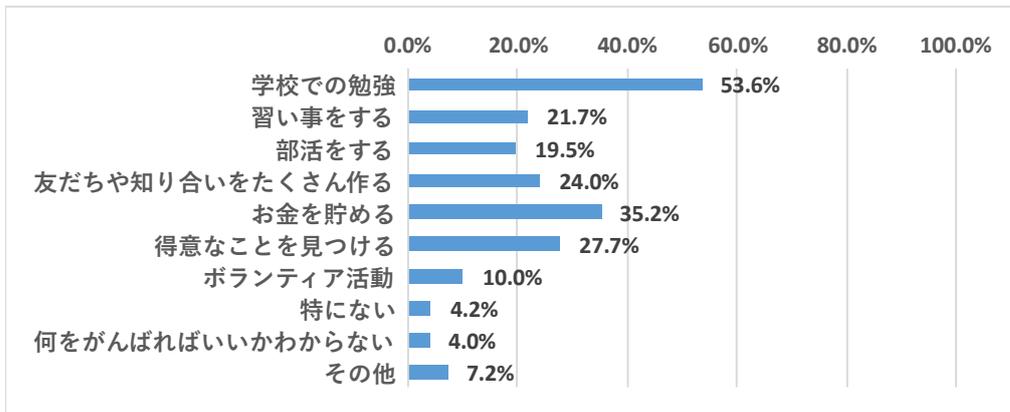


<中学3年生>



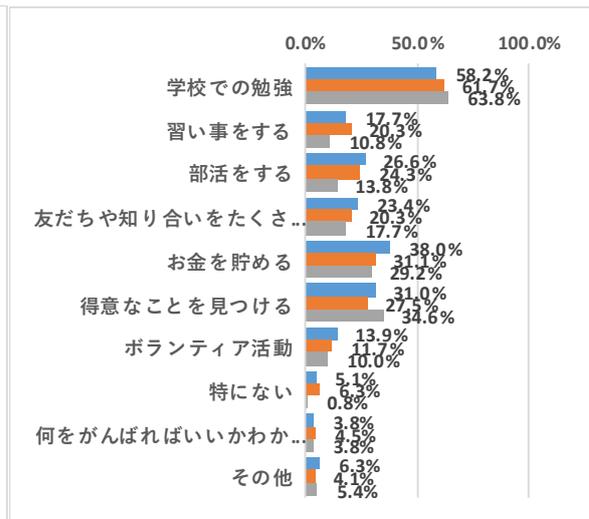
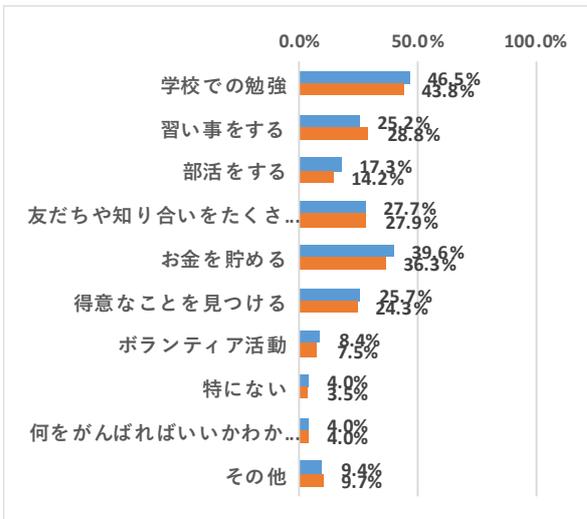
問11 しょうらいになりたいもののために、どんなことをがんばろうと考えていますか
(3つまで)

「学校での勉強」が53.6%でもっとも多く、次いで「お金を貯める」が35.2%となっています。
(n=946)



<小学生> (上から5、6年生)

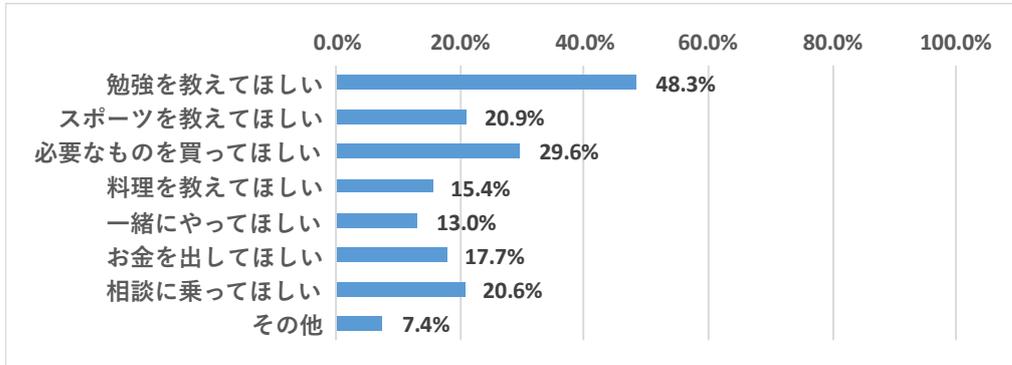
<中学生> (上から1, 2, 3年生)



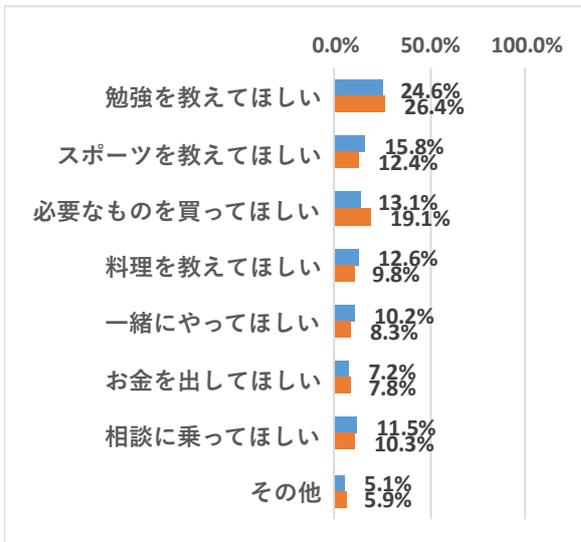
問12 しょうらいになりたいもののために、親や学校の先生などの大人の人にどんなことを手伝ってもらいたいですか(3つまで)

「勉強を教えてほしい」が48.3%でもっとも多く、次いで「必要なものを買ってほしい」が29.6%となっています。

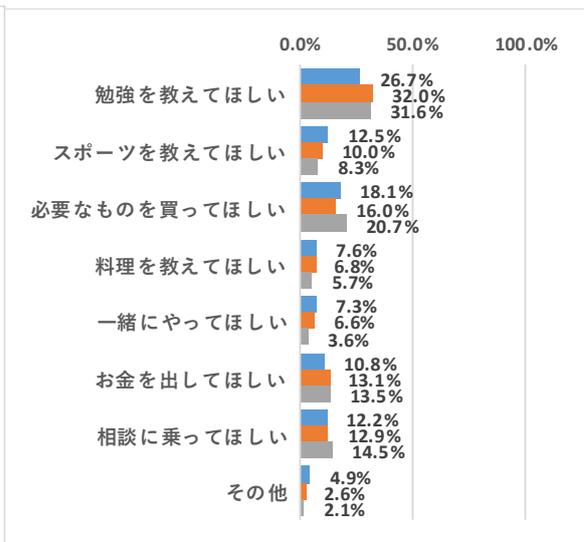
(n=946)



<小学生> (上から5、6年生)



<中学生> (上から1、2、3年生)

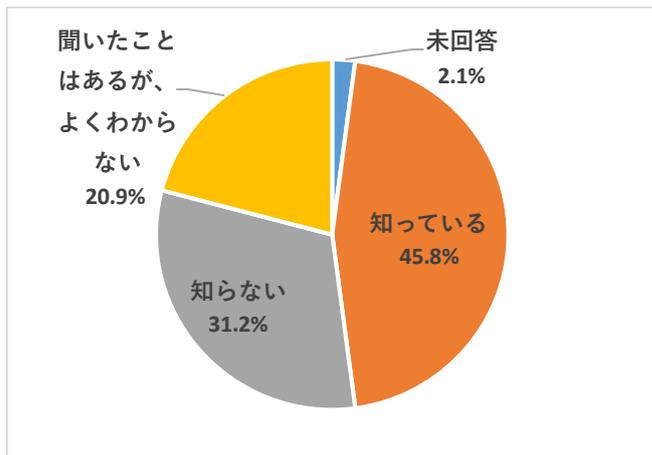


(6) 意見

問13 あなたは、すべてのこどもには「意見を表すことができる権利」があることを知っていますか。

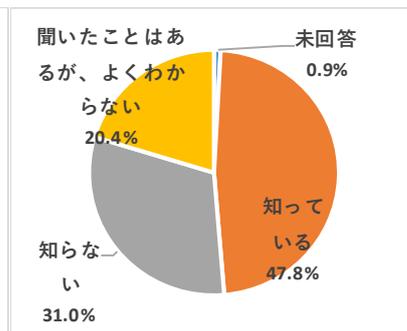
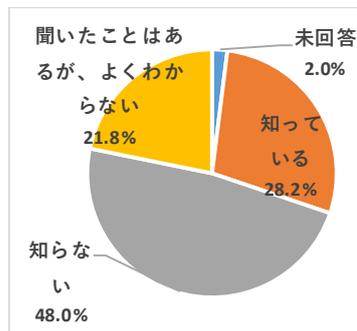
「知っている」が45.8%でもっとも多く、次いで「知らない」が31.2%となっています。学年別でみると、「知っている」と回答した割合がもっとも多かったのは中学1年生となっています。

(n=946)



<小学5年生>

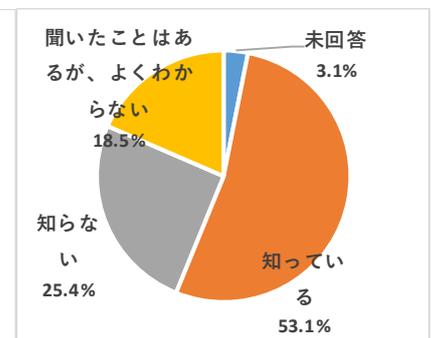
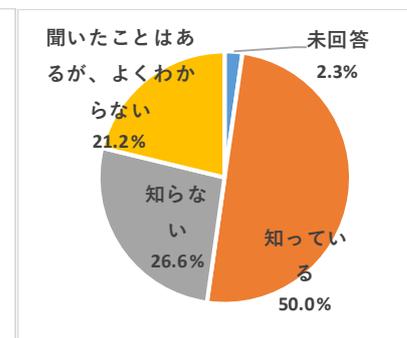
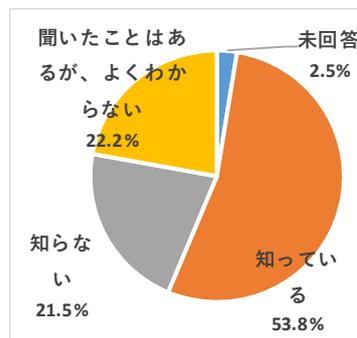
<小学6年生>



<中学1年生>

<中学2年生>

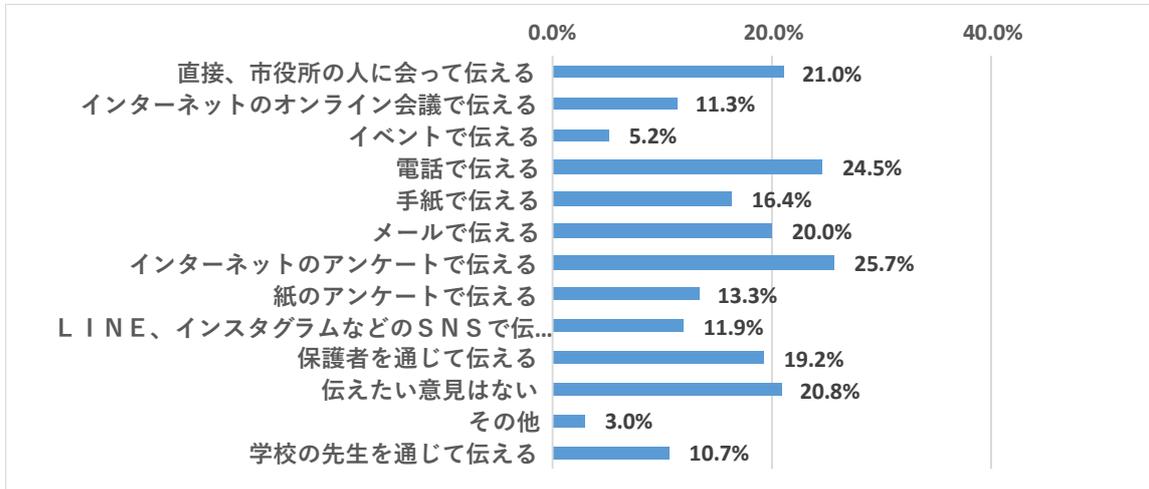
<中学3年生>



問14 あなたが倉吉市役所に伝えたい意見があるとき、どういった方法があれば伝えやすいと思いますか。(3つまで)

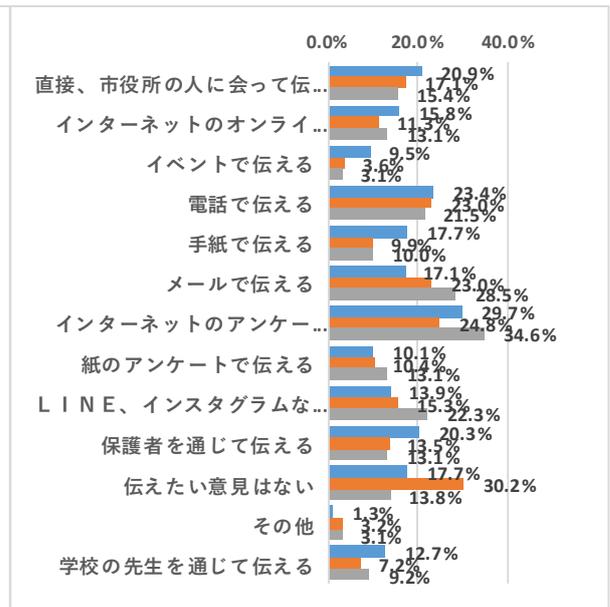
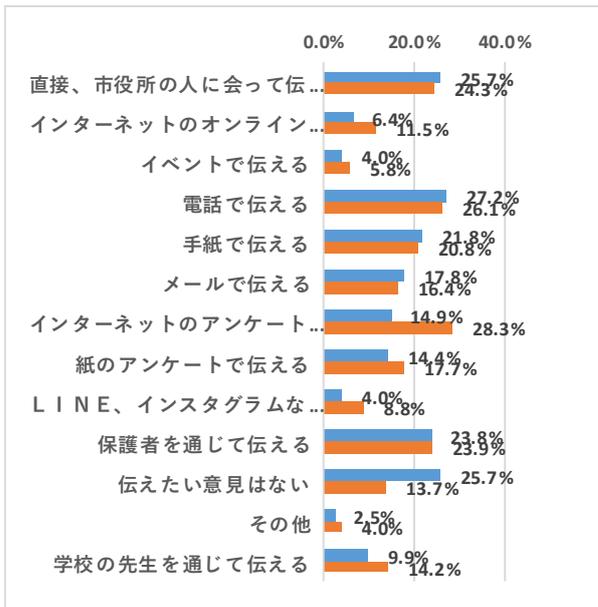
「インターネットのアンケートで伝える」が25.7%でもっとも多く、次いで「電話で伝える」が24.5%となっています。

(n=946)



<小学生> (上から5、6年生)

<中学生> (上から1, 2, 3年生)



問15 倉吉市役所に伝えたいことはありますか。(自由記載)

主な意見を一部記載します。

- ・できればイオンモールのようなショッピングモールを立ててくれたらとても便利だなと思います。
- ・バスケットゴールをふやしてほしい
- ・広い公園がほしい
- ・もっと、小さい子が年中遊べる場所を作ってほしい
- ・いつも楽しく勉強をしています。静かに勉強ができる場所が欲しいです。
- ・誰もが本などインターネットで調べられるスペースを作って欲しいです。
- ・私たちの見えないところで私たちの暮らしを支えてくださりありがとうございます。そのおかげで楽しい学校生活が送れています。
- ・大きい公園や、プールを作ってください。大人の方からお年寄りまで楽しめるような大きい公園や、プールを作ってください。
- ・登校時や下校時のときに自転車で通るみちが草や泥で通れないところがあるから、どうにかしてほしい。
- ・子どもたちの読書離れが著しいと云うので、子どもたち、そして大人も本に興味を持って読むことのできるような取り組みをお願いしたいと思います。
- ・自由に使えるサッカー場を作って欲しいです。
- ・大きな倉吉市市民体育館を新しく作ってほしい
- ・鴨川中学校の制服をピンクから青にして欲しい
- ・他の学校の人と触れ合えるイベントを開催してほしいです。
- ・学校に怪我をした人用のエレベーターを作って欲しいです。
- ・みんなが使いやすい図書館を作ってください。
- ・もっと倉吉市を元気ある街にしてください。今のままでは寂れて廃れてさみしい雰囲気です。学生である僕らが遊べる施設がないのは味気ないし、面白くないと感じる人も少なからずいると思います。
- ・友達と一緒にゆっくり落ち着いて勉強ができる場所が欲しいです。
- ・広いホールや遊ぶ道具がたくさんおいてある建物が欲しいです。

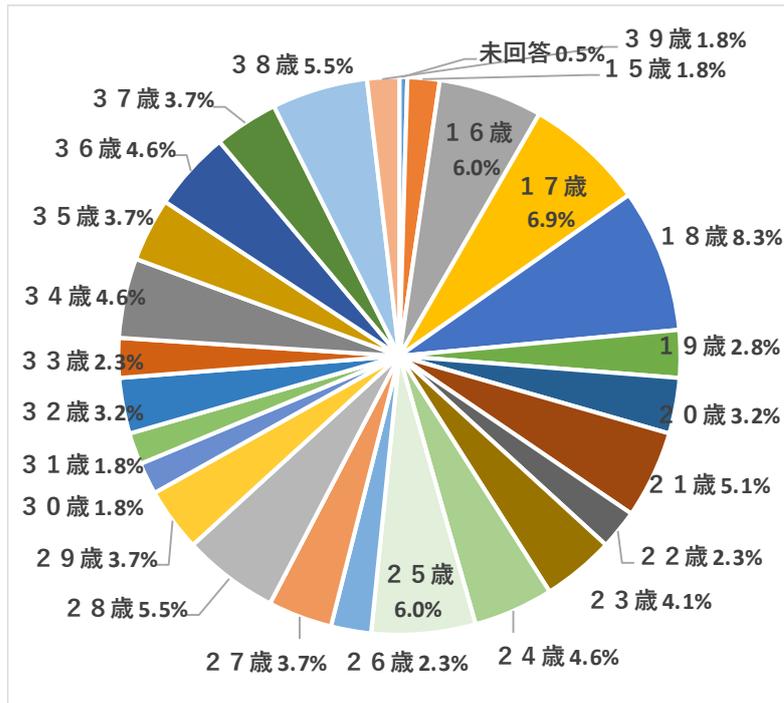
4 若者の意見聴取アンケート調査

(1) 回答者の属性

問1 現在のあなたの年齢を選んでください。

「18歳」が8.3%でもっとも多く、次いで「17歳」が6.9%となっています。

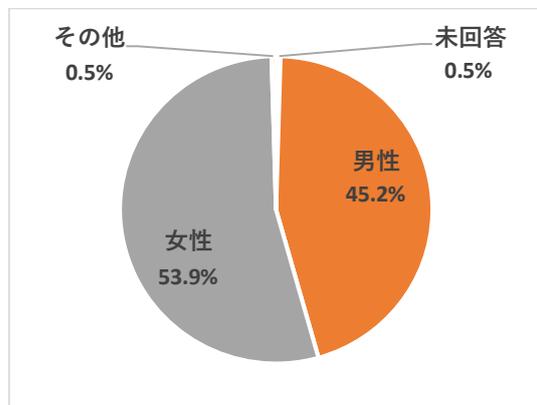
(n=218)



問2 あなたの性別を選んでください。

「女性」が53.9%、「男性」が45.2%となっています。

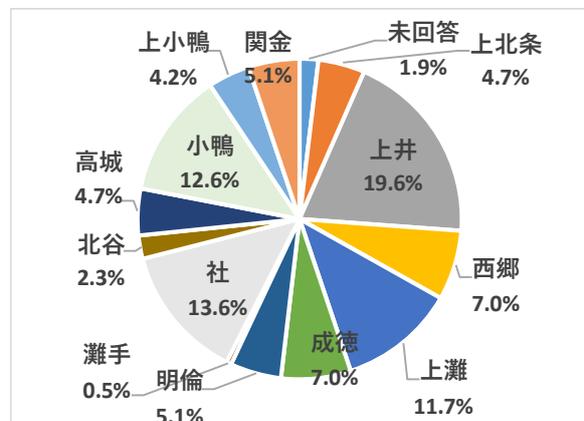
(n=218)



問3 あなたの住んでいる地区はどこですか。

「上井地区」が19.6%でもっとも多く、次いで「社地区」が13.6%となっています。

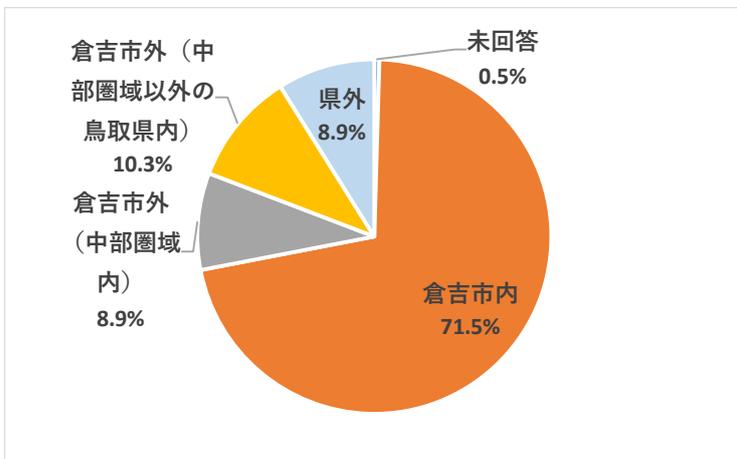
(n=218)



問4 今までで一番長く住んでいた地域はどこですか。

「倉吉市内」が71.5%でもっとも多く、次いで「倉吉市外（中部圏域以外の鳥取県内）」が10.3%となっています。

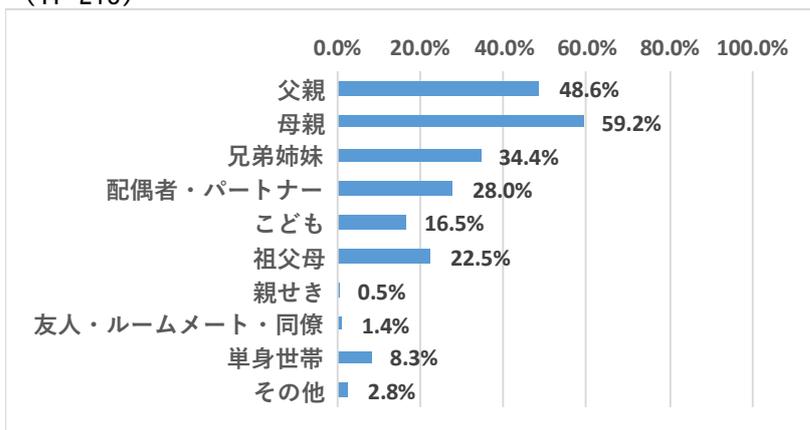
(n=218)



問5 一緒に住んでいる人を選んでください。(いくつでも)

「母親」が59.2%でもっとも多く、次いで「父親」が48.6%となっています。

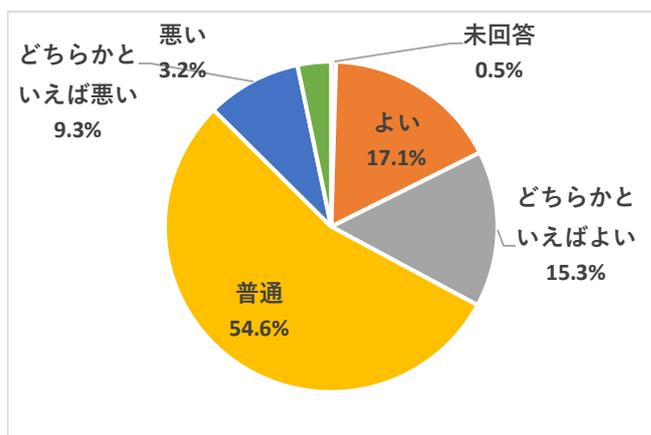
(n=218)



問6 あなたの生活水準（衣食住などの暮らし向き）は、世間一般と比べて、どれにあてはまりますか。

「普通」が54.6%でもっとも多く、次いで「よい」が17.1%となっています。

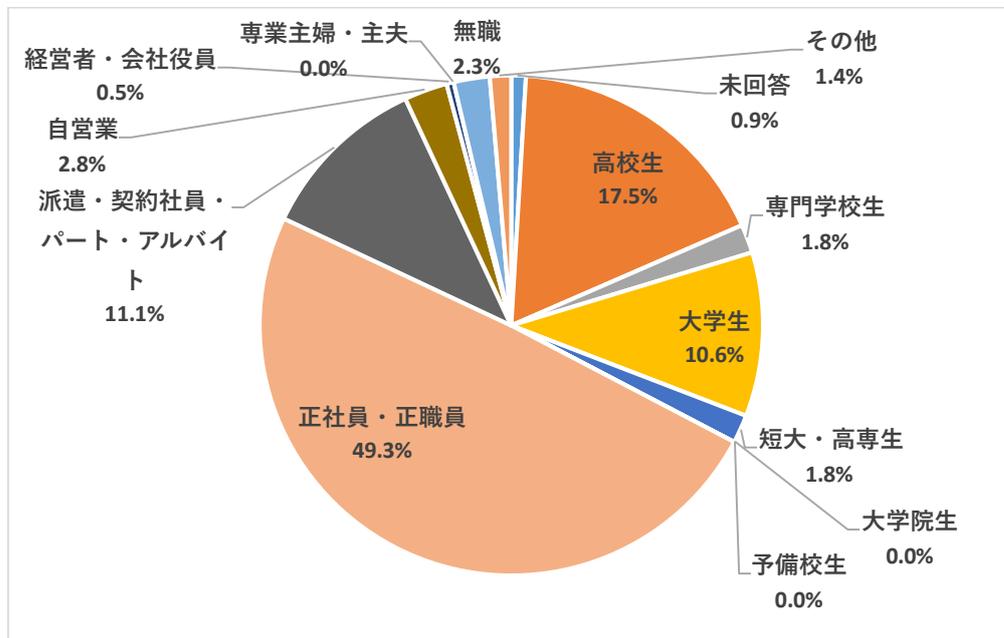
(n=218)



問7 あなたの職業を教えてください。

「正社員・正職員」が49.3%でもっとも多く、次いで「高校生」が17.5%となっています。

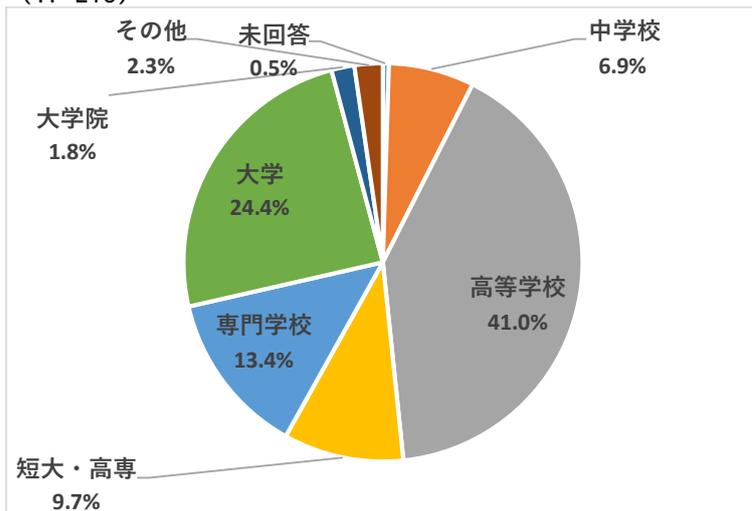
(n=218)



問8 あなたが最後に卒業した学校はどちらですか。在学中の方は、現在在学している学校を選んでください。

「高等学校」が41.0%でもっとも多く、次いで「大学」が24.4%となっています。

(n=218)

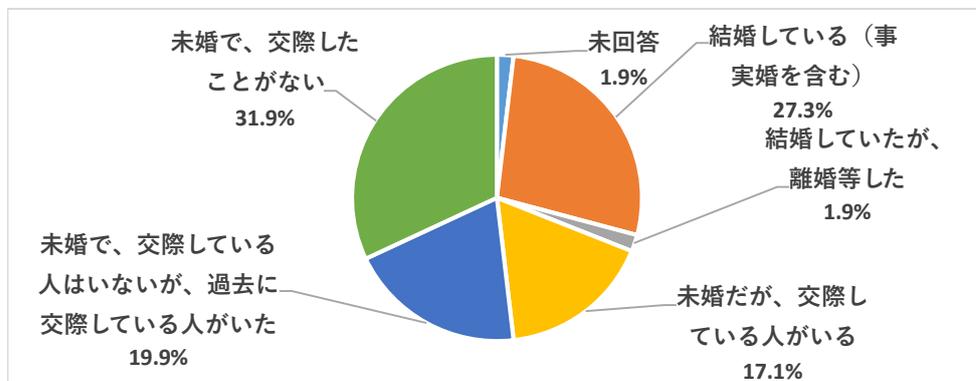


(2) 結婚について

問9 あなたは現在、結婚または交際されていますか。

「未婚で、交際したことがない」が31.9%でもっとも多く、次いで「結婚している（事実婚を含む）」が27.3%となっています。

(n=218)

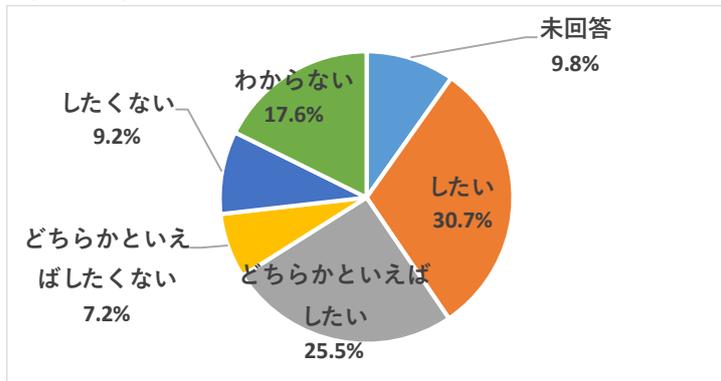


問10 問9で「結婚している（事実婚を含む）」以外を選んだ方にうかがいます。

将来、結婚したいと思いますか。

「したい」が30.7%でもっとも多く、次いで「どちらかといえばしたい」が25.5%となっています。

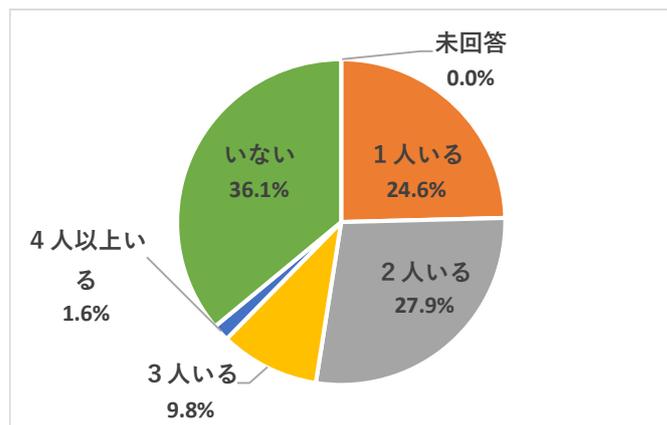
(n=153)



問11 問9で「1. 結婚している（事実婚を含む）」を選んだ方にうかがいます。お子さんはいますか。

「いない」が36.1%でもっとも多く、次いで「2人いる」が27.9%となっています。

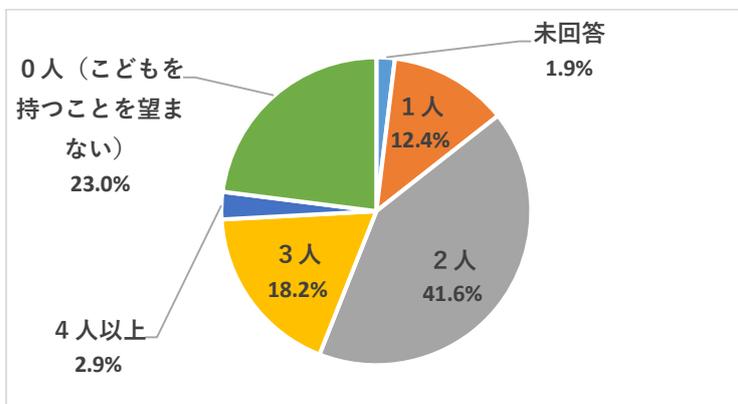
(n=59)



問12 将来、子どもは何人ほしいと思いますか。現在、お子さんがおられる場合は、その子も含めた人数をお答えください。

「2人」が41.6%でもっとも多く、次いで「0人（子どもを持つことを望まない）」が23.0%となっています。

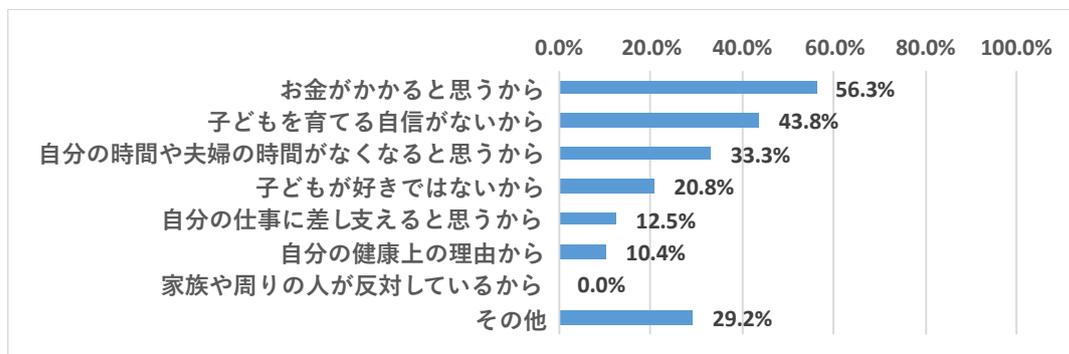
(n=218)



問13 問12で「0人（子どもを持つことを望まない）」を選んだ方にうかがいます。その理由をお答えください。（3つまで）

「お金がかかると思うから」が56.3%でもっとも多く、次いで「子どもを育てる自信がないから」が43.8%となっています。

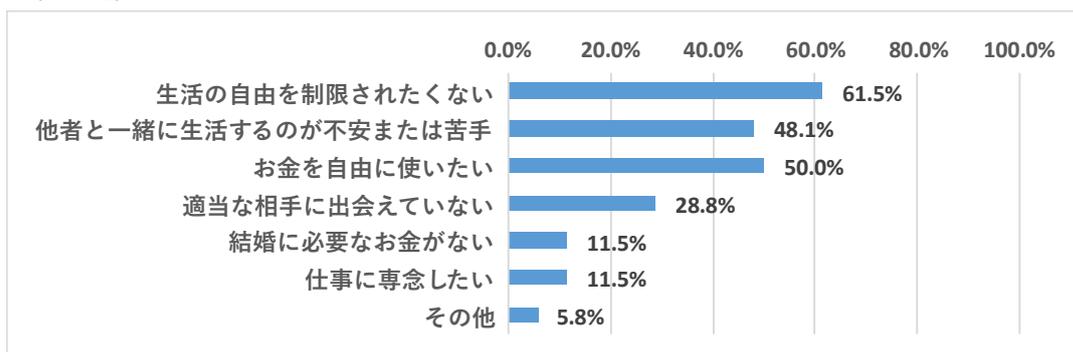
(n=48)



問14 問10で「3. どちらかといえばしたくない」、「4. したくない」、「5. わからない」を選んだ方にうかがいます。結婚したくない理由をお答えください。（3つまで）

「生活の自由を制限されたくない」が61.5%でもっとも多く、次いで「お金を自由に使いたい」が50.0%となっています。

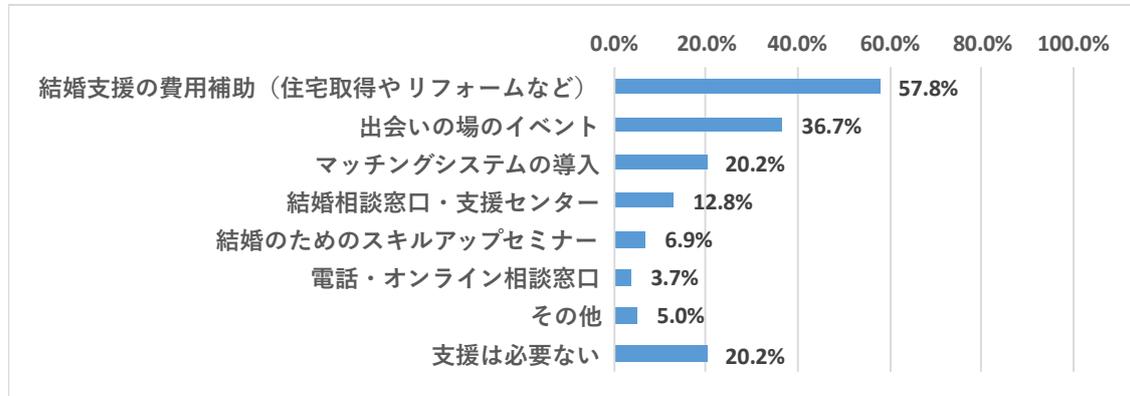
(n=52)



問15 出会いや結婚支援にどのような施策が必要だと思いますか。(3つまで)

「結婚支援の費用補助(住宅取得やリフォームなど)」が57.8%でもっとも多く、次いで「出会いの場のイベント」が36.7%となっています。

(n=218)

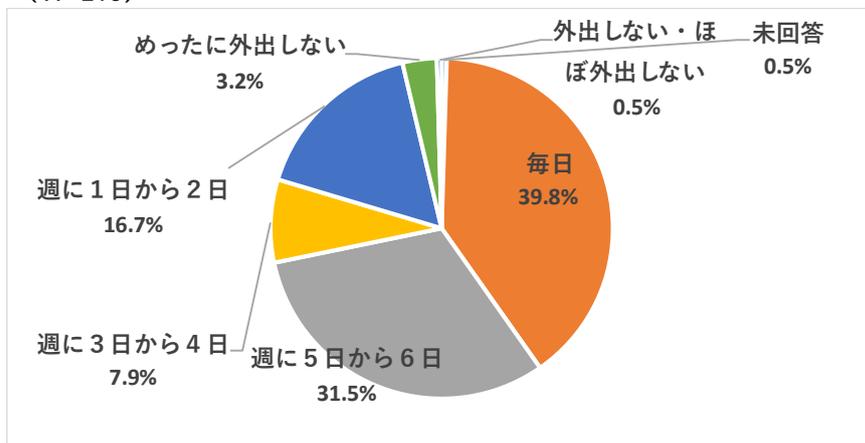


(3) 外出について

問16 あなたは普段、どのくらい外出されますか。

「毎日」が39.8%でもっとも多く、次いで「週に5日から6日」が31.5%となっています。

(n=218)

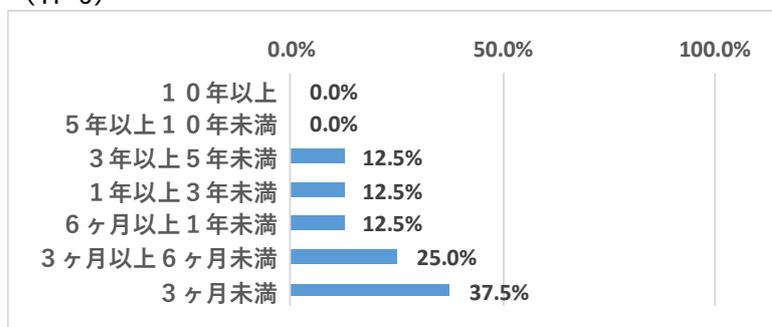


問17 問16で「5. めったに外出しない」または「6. 外出しない・ほぼ外出しない」を選んだ方にうかがいます。

(1) 現在の外出頻度になってから、どのくらい経ちますか。

「3ヶ月未満」が37.5%でもっとも多く、次いで「3ヶ月以上6ヶ月未満」が25.0%となっています。

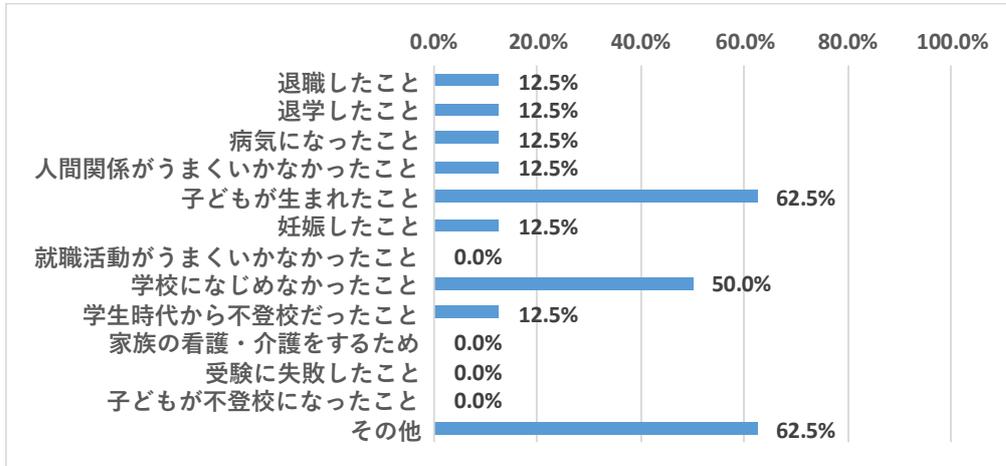
(n=8)



(2) 現在の外出頻度になったきっかけは何ですか。(3つまで)

「子どもが生まれたこと」「その他」が62.5%でもっとも多くなっています。

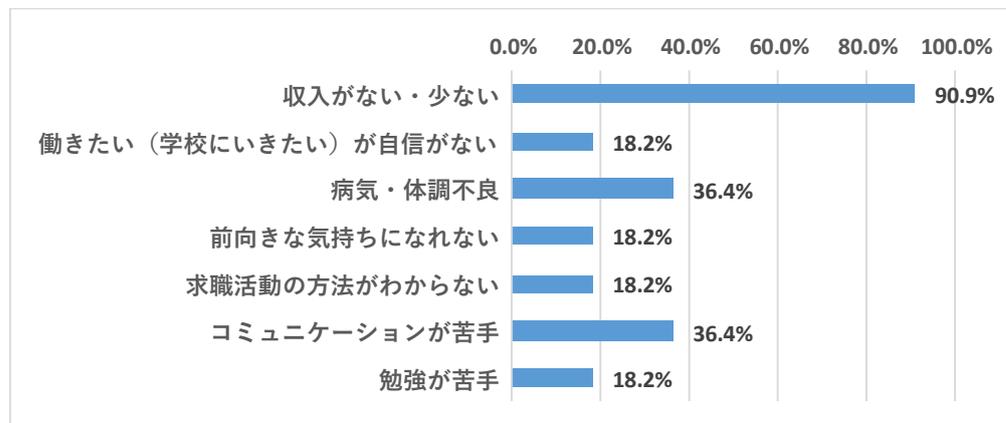
(n=8)



(3) 現在の外出頻度になって悩んでいることはありますか。(3つまで)

「収入がない・少ない」が90.9%でもっとも多くなっています。

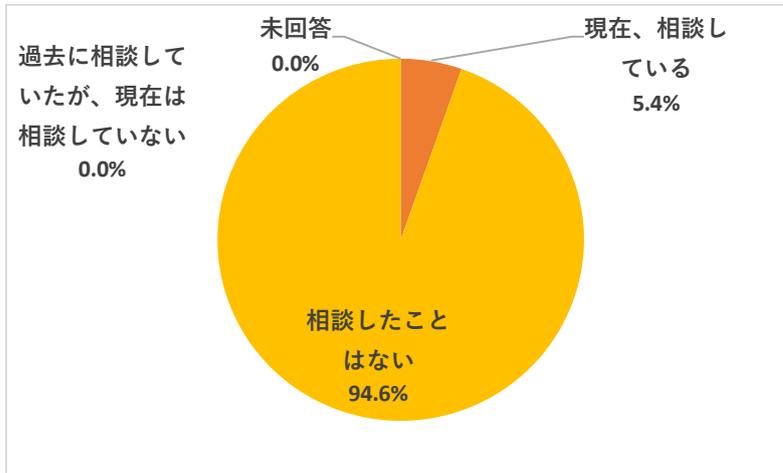
(n=8)



(4) 現在の外出頻度になってから、相談機関等に相談したことはありますか。現在、相談されていますか。

「相談したことはない」が94.6%でもっとも多くなっています。

(n=8)



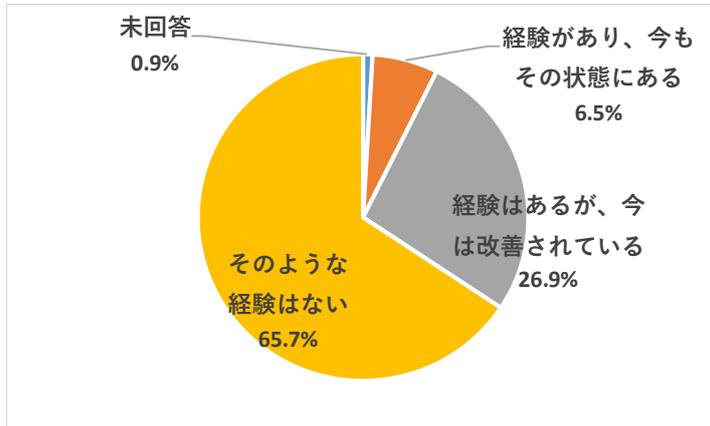
(4) 相談について

問18 今までの生活に支障をきたした経験についてうかがいます。

(1) あなたは今までに、社会生活や学校生活、日常生活を円滑に送ることができなくなった経験はありますか。

「そのような経験はない」が65.7%でもっとも多くなっています。

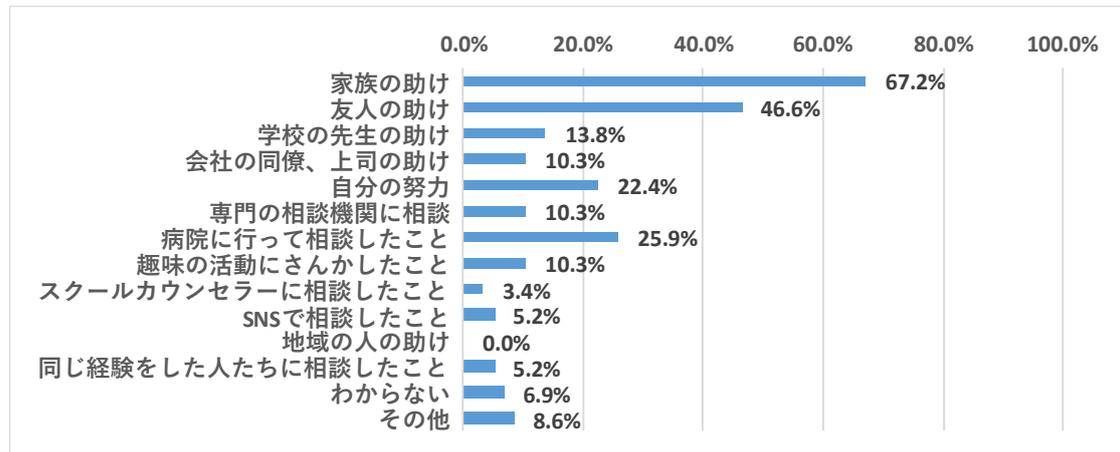
(n=218)



(2) (1)で「経験はあるが、今は改善されている」を選んだ方にうかがいます。改善に役立ったことは何ですか。(3つまで)

「家族の助け」が67.2%でもっとも多く、次いで「友人の助け」が46.6%となっています。

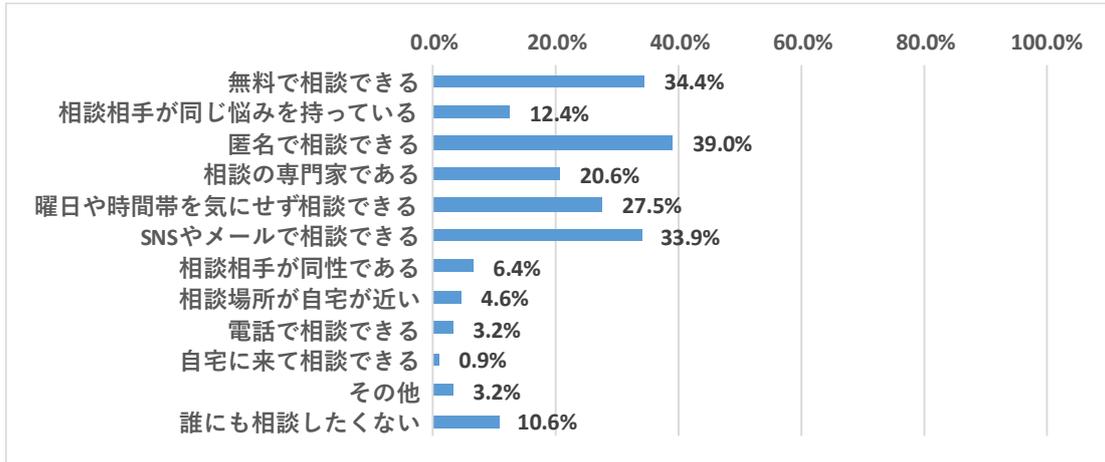
(n=58)



(3) あなたが社会生活や学生生活、日常生活を円滑に送ることができなくなったときに、家族や友人以外で、どのような条件があれば相談したいと思いますか。(3つまで)

「匿名で相談できる」が39.0%でもっとも多く、次いで「無料で相談できる」が34.4%となっています。

(n=218)



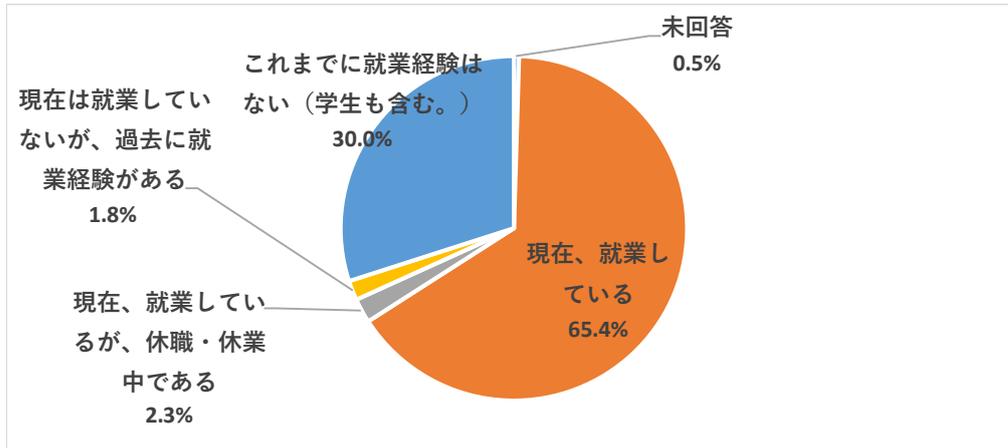
(5) 就業について

問19 あなたの就業状況についてうかがいます。

(1) あなたは現在、就業していますか。

「現在、就業している」が65.4%でもっとも多く。次いで「これまでに就業経験はない(学生も含む。)」が30.0%となっています。

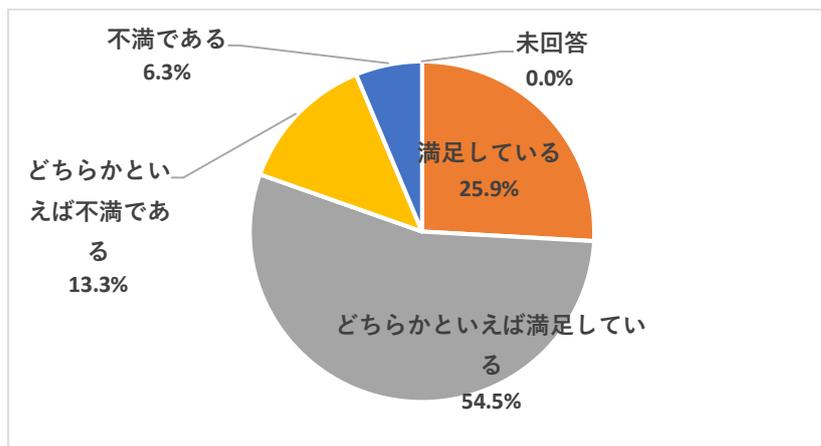
(n=218)



(2) (1)で「現在、就業している」を選んだ方にうかがいます。あなたが働いている職場に、どの程度満足していますか。

「どちらかといえば満足している」が54.5%でもっとも多く。次いで「満足している」が25.9%となっています。

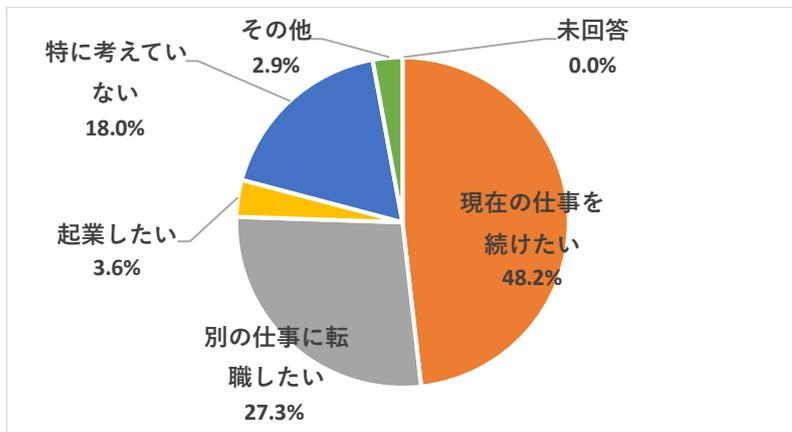
(n=142)



(3) (1) で「現在、就業している」を選んだ方にうかがいます。あなたの今後の就業について、あてはまるものを選択してください。

「現在の仕事を続けたい」が48.2%でもっとも多く。次いで「別の仕事に転職したい」が27.3%となっています。

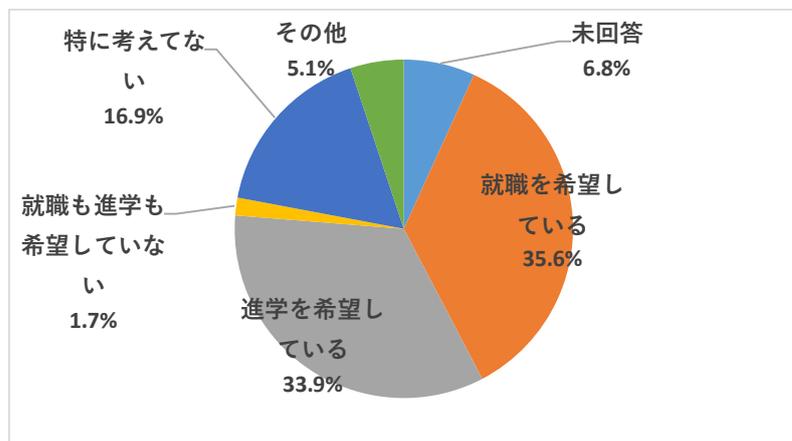
(n=142)



(4) (1) で「現在は就業していないが、過去に就業経験がある」または「これまでに就業経験はない(学生も含む。)」を選んだ方にうかがいます。あなたは現在、就職を希望していますか。

「就職を希望している」が35.6%でもっとも多く。次いで「進学を希望している」が33.9%となっています。

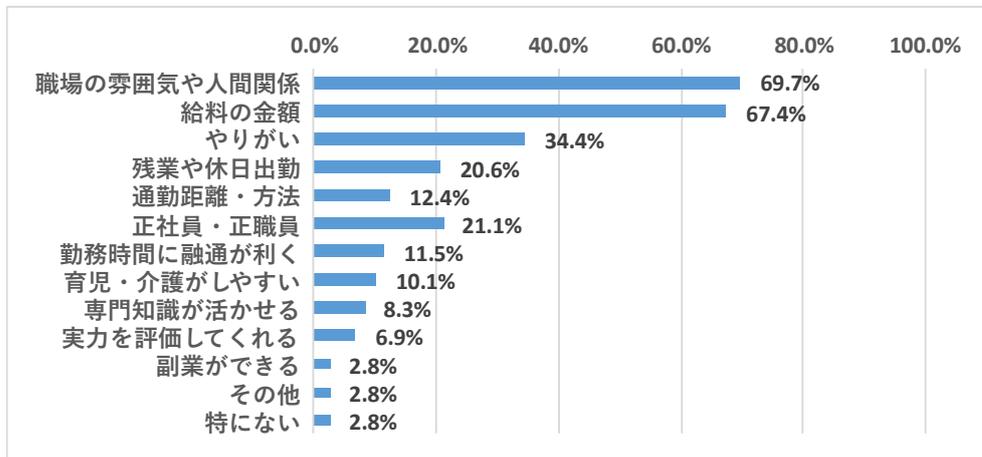
(n=69)



(5) あなたが仕事を選ぶ上で、重視していることはどのようなことですか（どのようなことでしたか）。（3つまで）

「職場の雰囲気や人間関係」が69.7%でもっとも多く、次いで「給料の金額」が67.4%となっています。

(n=218)



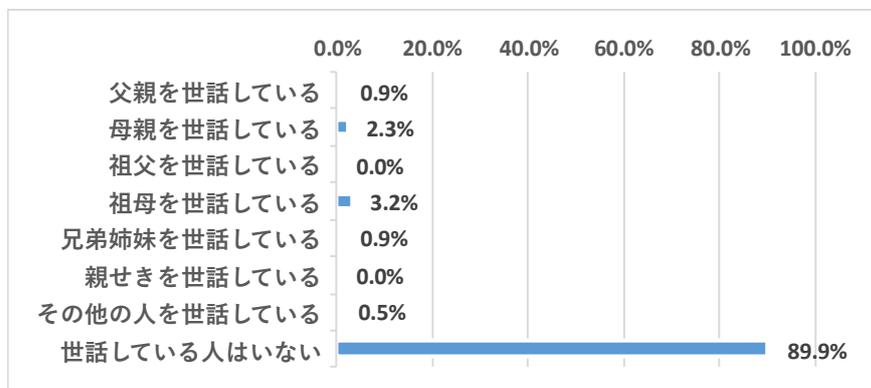
(6) ヤングケアラーについて

問20 あなたの家族についてうかがいます。

(1) 家族の中に、現在、あなたがお世話している人はいますか。(いくつでも)

「世話をしている人はいない」が89.9%でもっとも多くなっています。

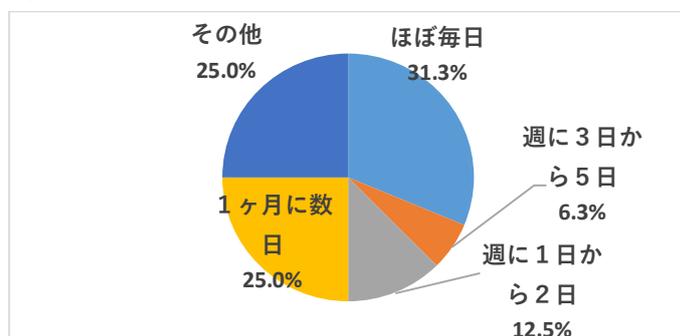
(n=218)



(2) (1)で「世話している人はいない」以外を選んだ方にうかがいます。お世話している頻度はどのくらいですか。

「ほぼ毎日」が31.3%でもっとも多く、次いで「1ヶ月に数日」「その他」が25.0%となっています。

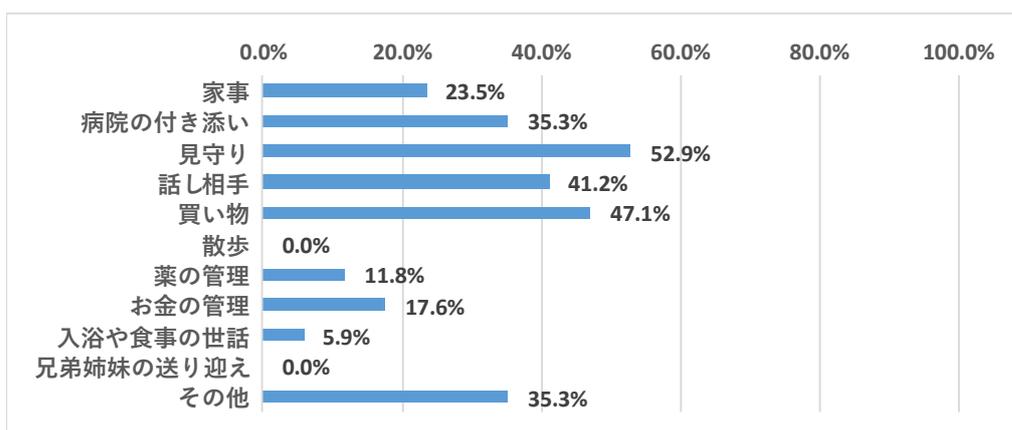
(n=17)



(3) (1)で「世話している人はいない」以外を選んだ方にうかがいます。お世話の内容はなんですか。(いくつでも)

「見守り」が52.9%でもっとも多く、次いで「買い物」が47.1%となっています。

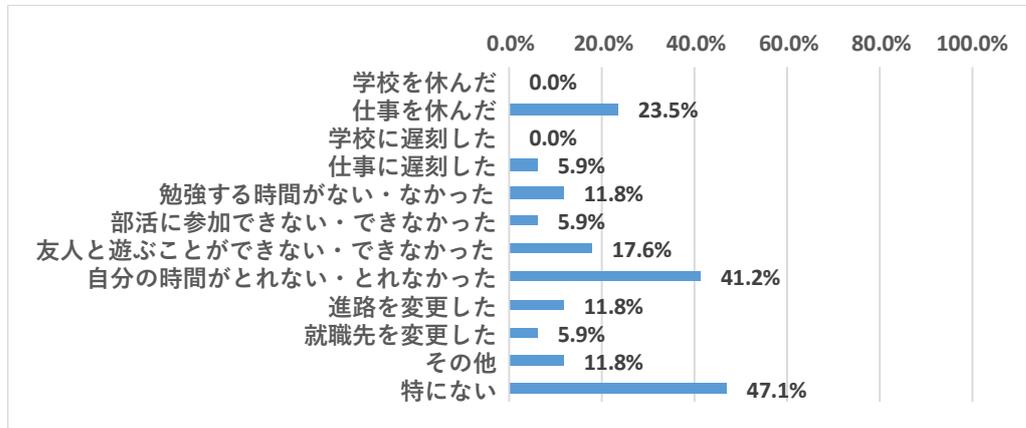
(n=17)



(4) (1) で「世話している人はいない」以外を選んだ方にうかがいます。お世話していることで経験したことはありますか。(いくつでも)

「特にない」が 47.1%でもっとも多く、次いで「自分の時間がとれない・とれなかった」が 41.2%となっています。

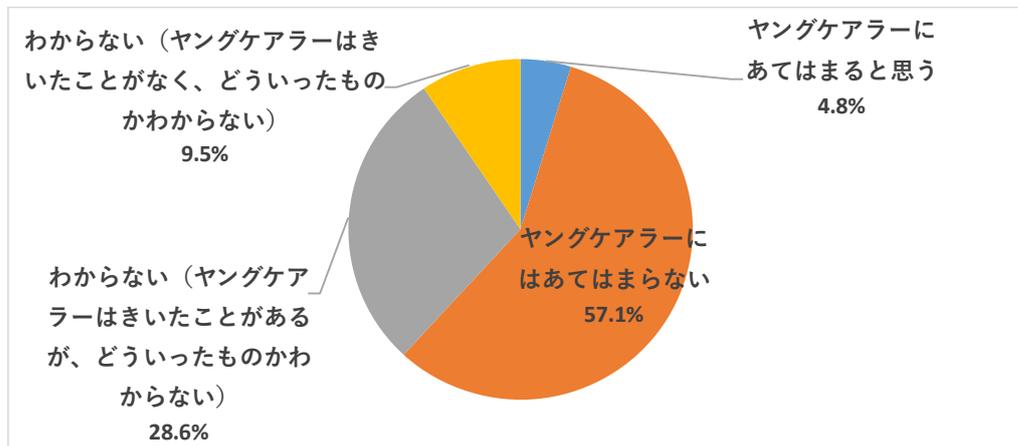
(n=17)



(5) (1) で「世話している人はいない」以外を選んだ方にうかがいます。あなたは自分が「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。

「ヤングケアラーにはあてはまらない」が 57.1%でもっとも多く、次いで「わからない(ヤングケアラーはきいたことがあるが、どういったものかわからない)」が 28.6%となっています。

(n=17)



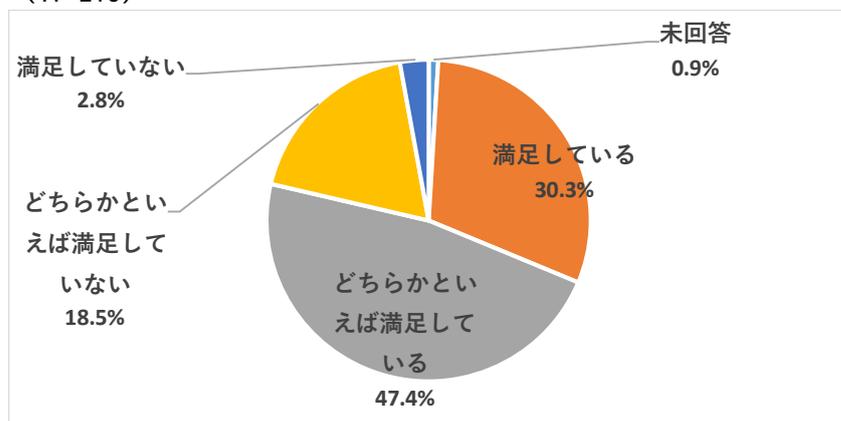
(7) 生活の満足度

問21 現在の生活の満足度についてうかがいます。

(1) あなたは今の生活に満足していますか。

「どちらかといえば満足している」が47.4%でもっとも多く、次いで「満足している」が30.3%となっています。

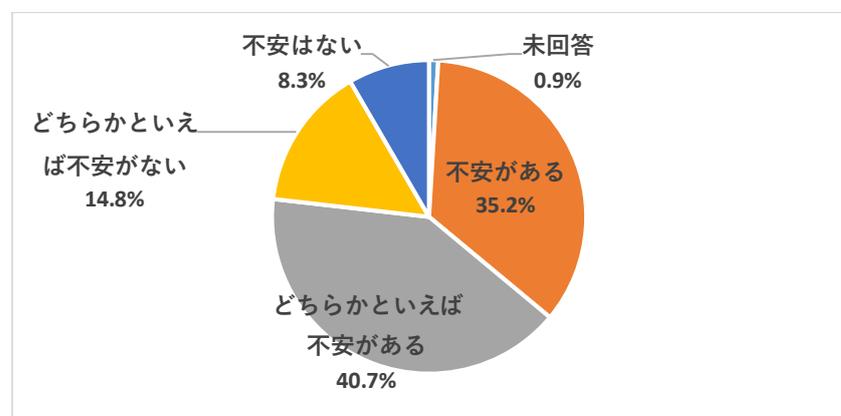
(n=218)



(2) あなたは将来に対する不安がありますか。

「どちらかといえば不安がある」が40.7%でもっとも多く、次いで「不安がある」が35.2%となっています。

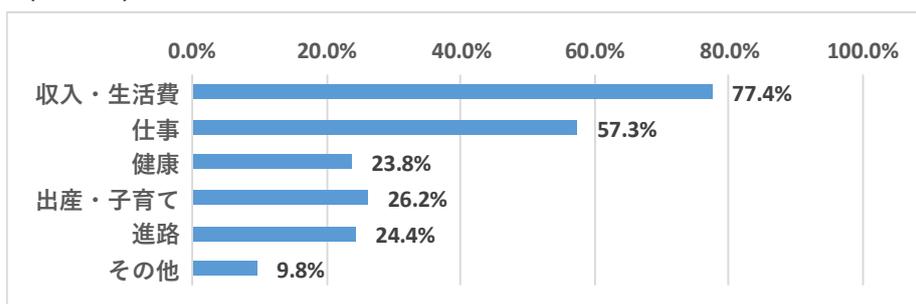
(n=218)



(3) (2)で「不安がある」または「どちらかといえば不安がある」と答えた方にうかがいます。不安の内容は何ですか。(3つまで)

「収入・生活費」が77.4%でもっとも多く、次いで「仕事」が57.3%となっています。

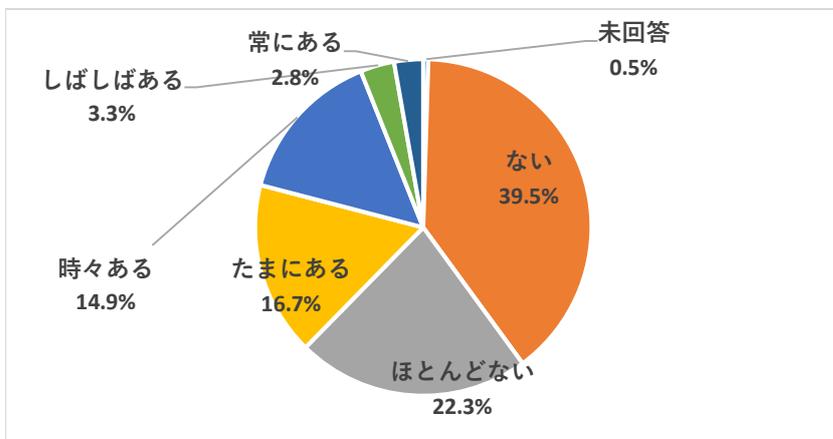
(n=164)



(4) あなたは今、孤独感がありますか。

「ない」が39.5%でもっとも多く、次いで「ほとんどない」が22.3%となっています。

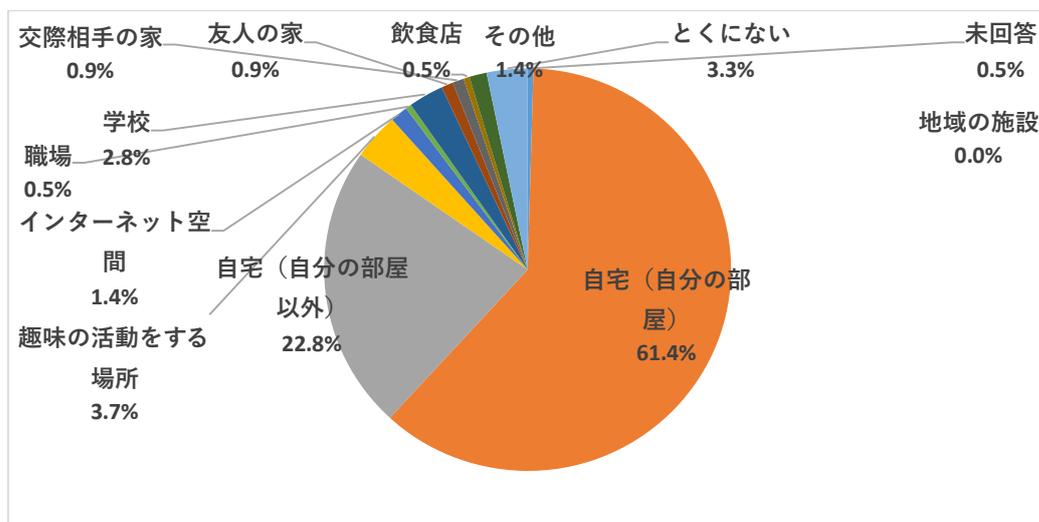
(n=218)



(5) あなたが一番落ち着ける居場所、自分らしくいられる居場所はどこですか。

「自宅（自分の部屋）」が61.4%でもっとも多く、次いで「自宅（自分の部屋以外）」が22.8%となっています。

(n=218)

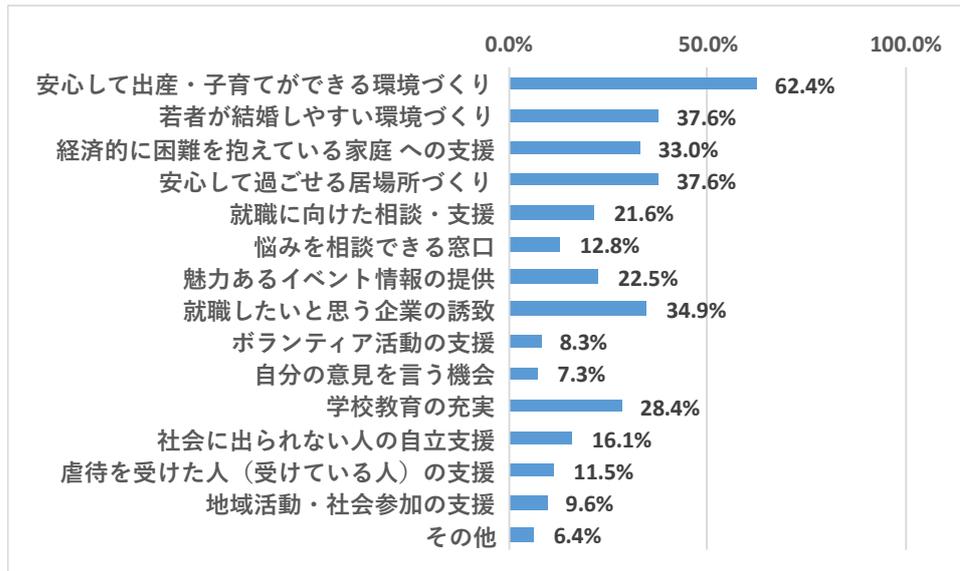


(8) 意見

問22 倉吉市で取り組むこともや若者の施策に望むことは何ですか。(いくつでも)

「安心して出産・子育てができる環境づくり」が62.4%でもっとも多く、次いで「若者が結婚しやすい環境づくり」「安心して過ごせる居場所づくり」が37.6%となっています。

(n=218)



問23 あなたの倉吉市への要望や意見、あなたのやりたいことなどがあれば、お書きください。(自由記述)

主なご意見を一部記載します。

- ・金銭的な子育て支援をもう少し強化していただきたいです。
- ・精神科病院でなく、鬱病など精神的に悩んでいる人などの話を聞いてくれる場所があればいいと思う。
- ・私を含め周りの友人のからの意見として、遊ぶ場所が少ないかと感じます。(ゲームセンター、ボーリング場など)昔のほてい堂、サンピアなどのデパートが1つでも増えたら嬉しいです。
- ・将来を担っていく子どもたちがのびのびと過ごせる社会であってほしい。
- ・バスの便を増やして欲しい
- ・はたちの集う会の代表スピーチをやりたい
- ・今回のような電子申請サービスや公式LINEで、以前よりかなり市の情報を拾いやすくなりました。困っていることに対して、そもそもどこに相談すればいいのかが分かりやすくなると嬉しいです。
- ・お金がないと結婚・出産も人生の選択肢として選択しづらいので、お給料が上がると本当に嬉しいです。

<つづき>

- ・若者が一度は倉吉市から離れても、また帰ってきて地域に貢献できるようなイベントなどがあればもっと倉吉が良くなると考えています。
- ・図書館や公共施設の自習スペースをもっと増やしてほしいです。夏休みに友達と図書館に行ったら休館日（月曜日）で使えなくて残念でした。
- ・琴浦町や湯梨浜町のように町営のトレーニング施設が欲しい
- ・空き家が多く、家があった土地は駐車場などの土地になっており、そこに戻ってこようと思える昔と違い魅力はあまり感じられないです。
- ・地域を盛り上げていくために、住民が仲良く暮らしていくために地域の伝統文化を継続的に維持していくことは欠かすことのできない部分だと思う。
- ・買い物にはさほど困らないが、フラッと寄れるカフェなどが、少ない(時間が限られている)ため、結局東西部に出かけてしまう。
- ・教育の充実と、まちづくりに力を入れて頂きたいと思います。
- ・非正規雇用ですが、年齢的にも子供を考えなくてはいけない時期で子供を産んでからの生活が心配です。
- ・今の時代共働きでないと不安定なので、産後の仕事探しや育てながら仕事などが不安です。産後の女性の支援があると嬉しいです。
- ・2歳の子供がいるが、夏場は暑すぎて公園で遊べないため、室内に遊具がある施設を造って欲しい。
- ・このような取り組みはとても大切であると思います。

Ⅲ. おわりに

本調査は、「倉吉市子ども計画」を策定するにあたり、当事者である子ども、若者、保護者の実態や意識、ニーズを把握するために実施したものです。

調査結果から、保護者に関しては、過去の調査と比較したところ、子育てに関する不安感はやや減少しているものの、子育て支援に関する施策に対する認知度はやや減少しているということがわかりました。子どもに対するアンケート調査では、悩みを抱えながらも相談相手がない子どもが少なからずあることがわかりました。そのほかには、放課後の過ごし方や、居場所に関するニーズを把握することができました。若者に対するアンケート調査では、ヤングケアラーと思われるケースがあることがわかりました。

子どもや若者に対するアンケート調査は、本市では初めて実施したものです。今後、必要な施策を検討、実施した上で、時期をみて再度調査し、効果を検証するための基準として活用します。

今後は、様々な子ども・子育て施策を展開する中で、子どもの成長過程や状況に応じながら、切れ目なくかつきめ細かく支援していくことが求められます。「倉吉市子ども計画」の策定を機に、これまで以上に庁内の関係課や関係機関、団体、事業者、地域が連携し、あらゆる子ども施策を総合的かつ一体的に実施することで、「一人ひとりの子どもがいいきと健やかに育つまち くらよし」を実現していきます。

【作成】

倉吉市役所 健康福祉部子育て支援局
(こども家庭センター・こども支援課)

電話：0858-22-8100

FAX：0858-22-8135

mail：kodomo@city.kurayoshi.lg.jp